

函 企 画

函 企 計

令和 6 (2024)年 1 1 月 2 8 日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

1 配付資料

- ・「函館市人口ビジョン（令和 6 年改訂版）」（骨子案）
- ・第 3 期函館市活性化総合戦略（骨子案）
- ・令和 6 年度 地方創生に関するアンケート調査，地域幸福度（Well-Being）指標に関するアンケート調査 結果報告書

（企画管理課 移住・人口減担当）

（計画推進室計画調整課）

# 「函館市人口ビジョン（令和6年改訂版）」（骨子案）

## 1 位置付け

- 本ビジョンは、本市の地方版総合戦略である「函館市活性化総合戦略」の基礎資料等として2015年度（平成27年度）に策定し、2019年度（令和元年度）に改訂したものである。
- 今回、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）から新たな地域別将来推計人口（令和5年推計），内閣府地方創生推進室から「地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き（令和6年6月版）」が示されたことから、本市の人口減少対策として効果的な施策を企画立案するため本ビジョンを改訂し、本市の人口の現状分析と将来推計を示すものである。

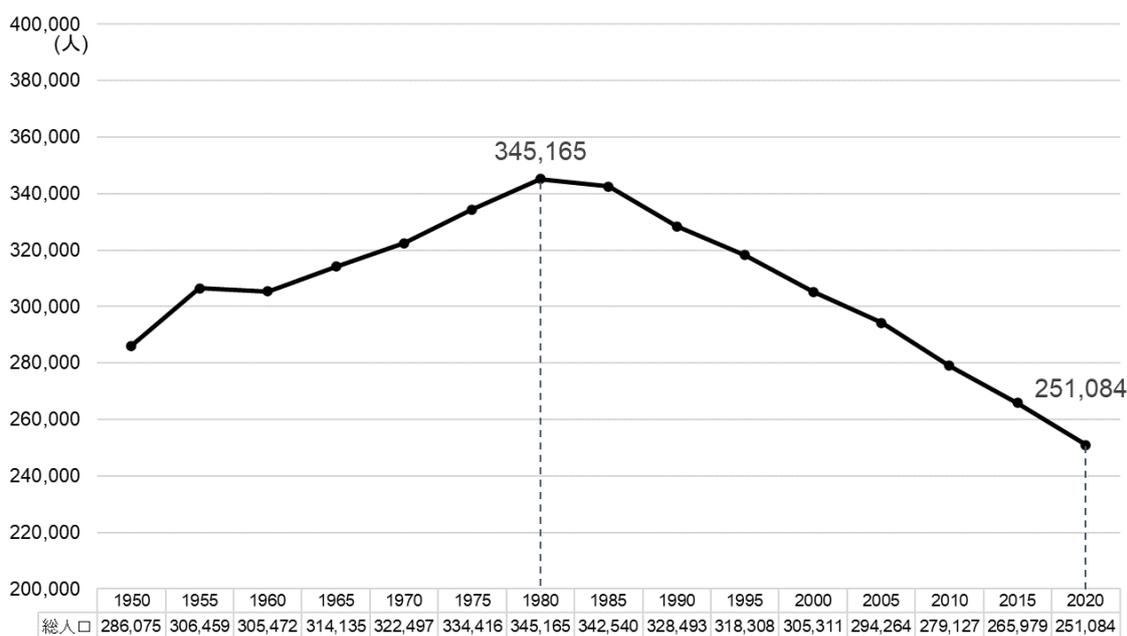
## 2 人口の現状分析

### (1) 人口の推移

#### ア 総人口の推移

- 総人口は、1980年（昭和55年）の345,165人をピークに減少し、2020年（令和2年）の国勢調査においては251,084人となり、2023年（令和5年）9月末時点の住民基本台帳人口は241,184人となっている。

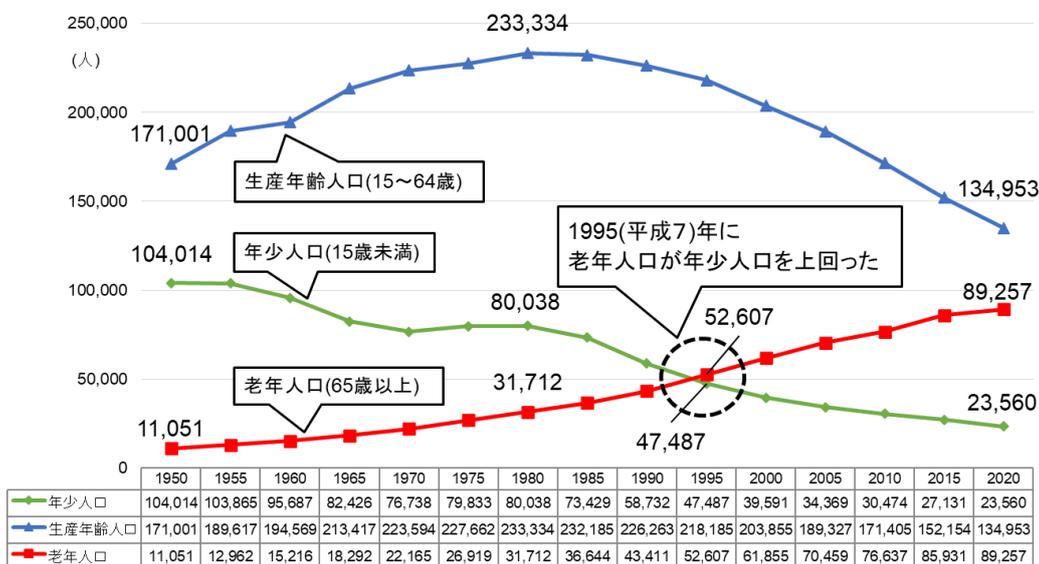
【図1 総人口の推移】



（出典）総務省「国勢調査」

- 年齢3区分別人口は、1980年（昭和55年）以降、生産年齢人口（15～64歳）および年少人口（15歳未満）がともに減少を続けている。
- 老年人口（65歳以上）は増加を続けており、1995年（平成7年）からは老年人口が年少人口を上回っている。

【図2 年齢3区分別人口の推移】

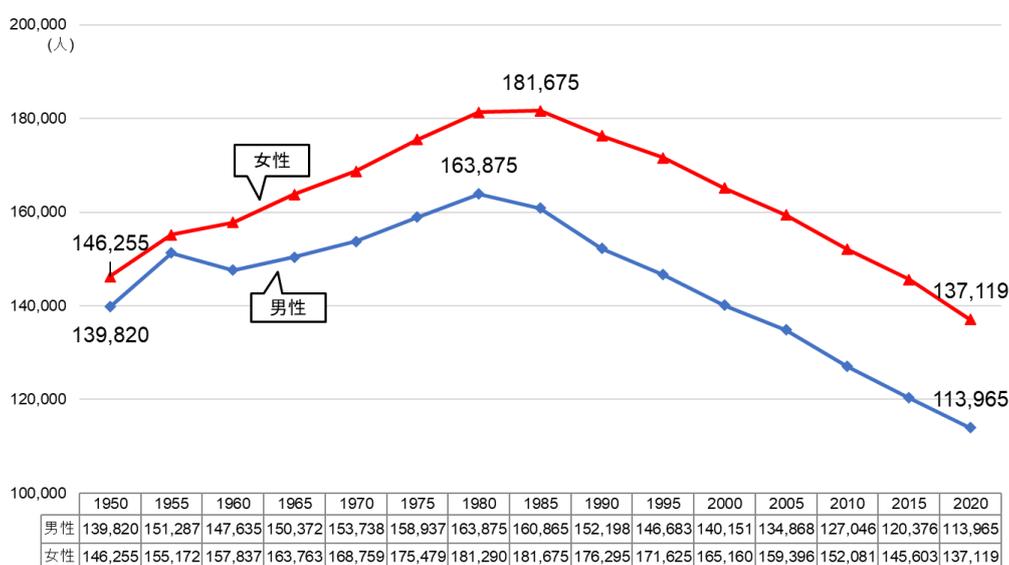


（出典）総務省「国勢調査」

## イ 男女別人口の推移

- 男性人口は1980年（昭和55年）の163,875人をピークに減少し、2020年（令和2年）においては113,965人となっている。一方、女性人口は1985年（昭和60年）の181,675人をピークに減少し、2020年（令和2年）においては137,119人となっている。

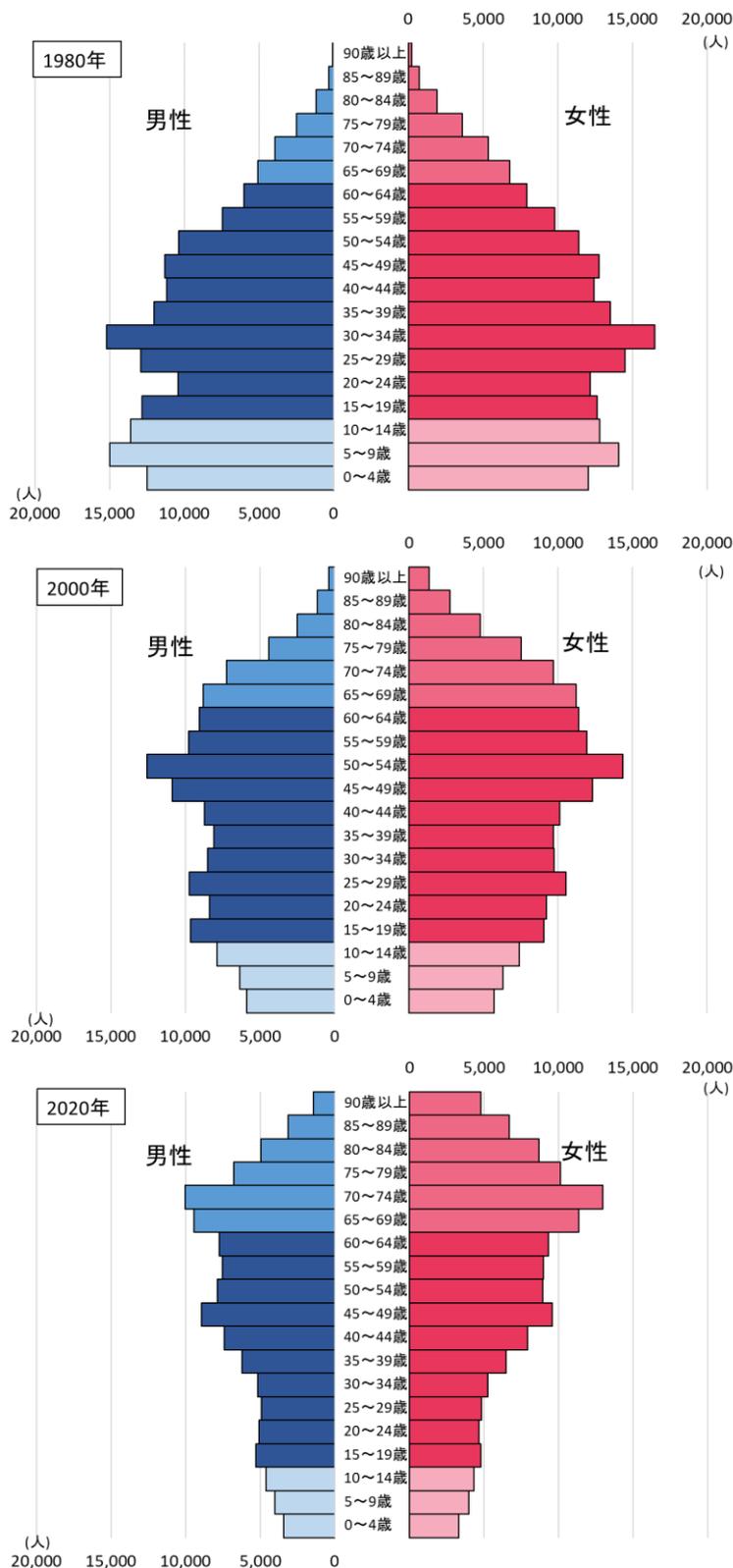
【図3 男女別人口の推移】



（出典）総務省「国勢調査」

- 1980年（昭和55年）には、30歳前後の団塊世代と10歳前後の団塊ジュニア世代の2つのピークがあり、2000年（平成12年）には、団塊世代がピークを維持している一方で、団塊ジュニア世代は明瞭なピークが見られない。2020年（令和2年）には、団塊世代がほぼ同数を維持しながら70歳前後に到達している。

【図4 男女別年齢階級別人口】

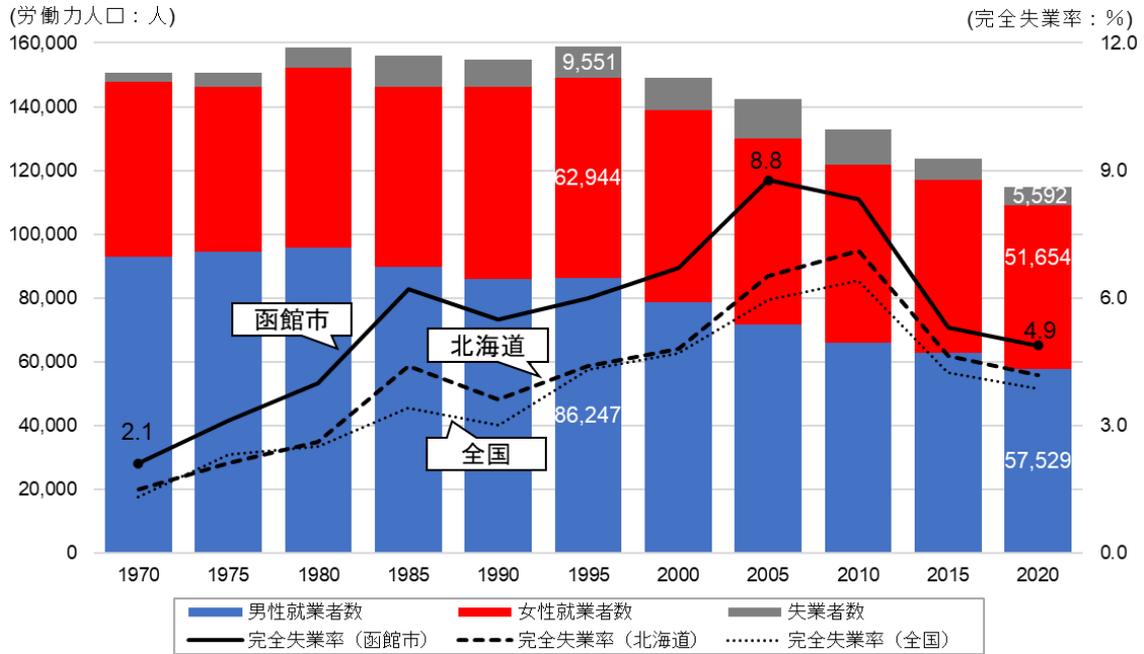


(出典) 総務省「国勢調査」

## ウ 労働力人口の推移

- 労働力人口(※1)は、1995年(平成7年)以降は減少を続けているが、本市の完全失業率は、全国、北海道を上回って推移している。

【図5 労働力人口と完全失業率の推移】



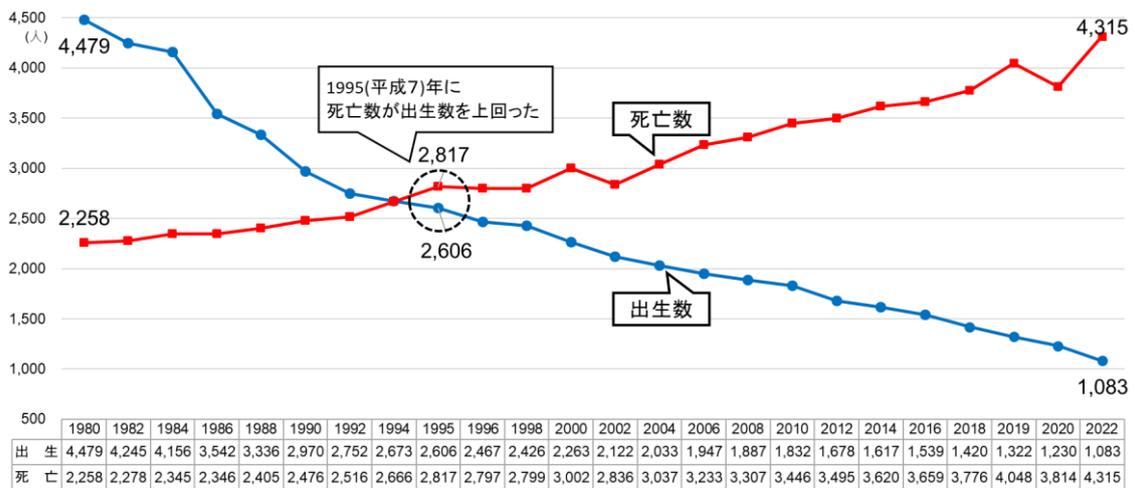
(出典) 総務省「国勢調査」

※1 労働力人口：15歳以上の人口のうち「就業者」と「完全失業者」を合わせたもの

## (2) 自然増減数・社会増減数の推移

- 1995年（平成7年）を転機に出生数が死亡数を上回る自然増から、死亡数が出生数を上回る自然減に転じ、以降、自然減が拡大している。
- 出生数は、1980年（昭和55年）に4,479人だったが、その後減少を続け、2022年（令和4年）には1,083人となり42年間で7割以上減少した。
- 死亡数は、1980年（昭和55年）の2,258人から、2022年（令和4年）には4,315人と2倍近くに増加している。

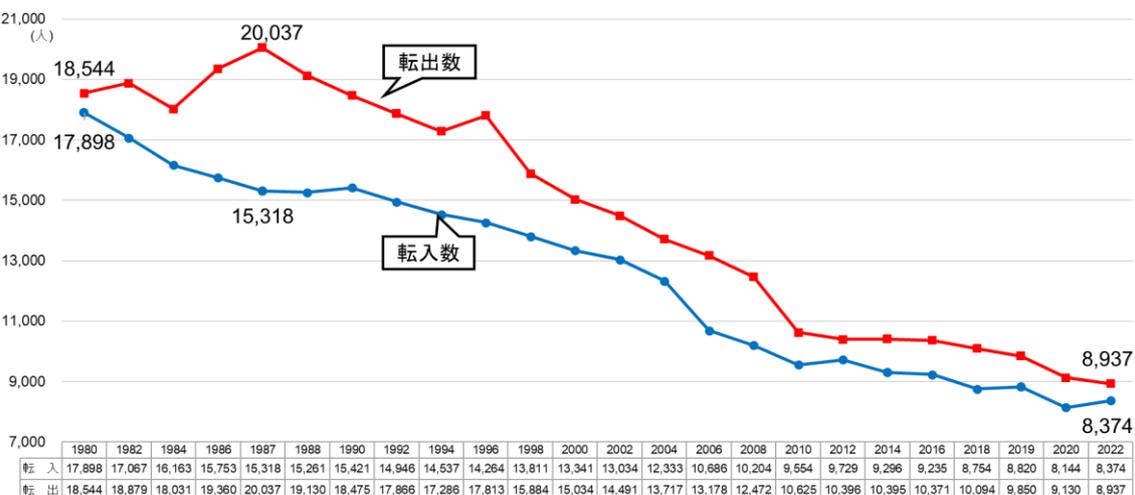
【図6 出生数と死亡数の推移】



（出典）函館市「住民基本台帳」

- 転入数と転出数はともに減少傾向にあり、転出数が転入数を上回る社会減が続いている。なお、近年は、その差が縮まってきている。

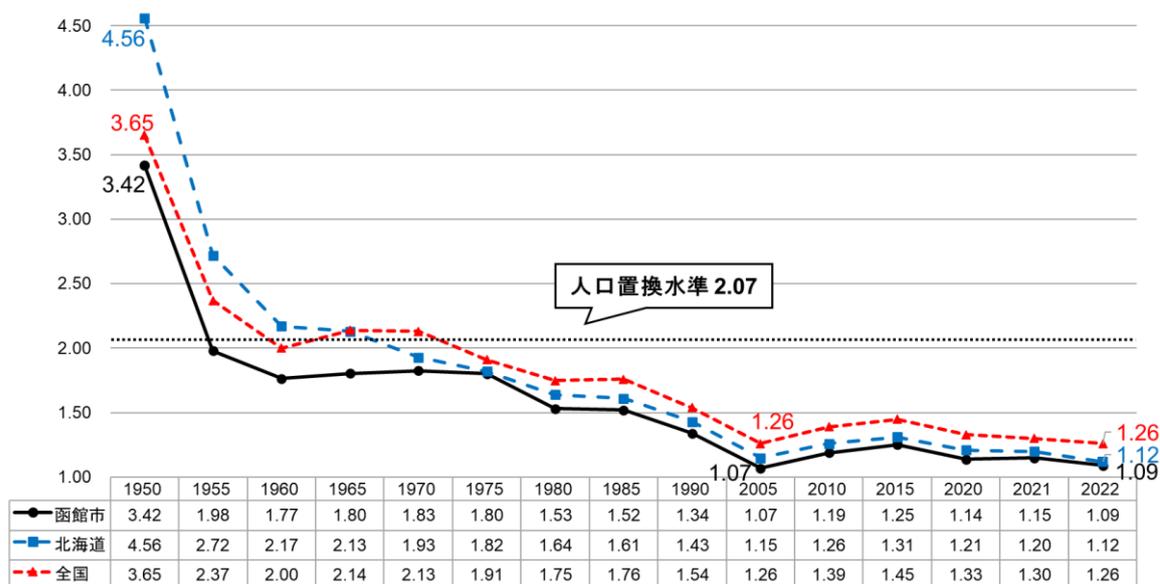
【図7 転入数と転出数の推移】



（出典）函館市「住民基本台帳」

- 本市の合計特殊出生率(※2)は、全国、北海道を下回って推移しており、2005年(平成17年)には、1.07まで下がっている。近年、わずかに増加したが、人口置換水準(※3)である2.07を大きく下回る状況が続いている。

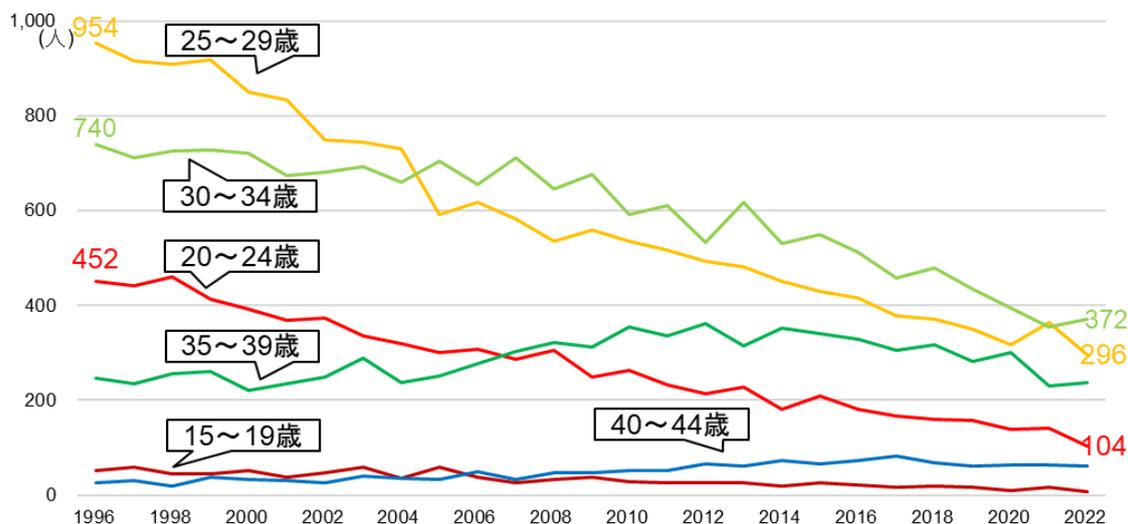
【図8 合計特殊出生率の推移】



(出典) 総務省「人口統計動態」・函館市「令和5年(2023年)版保健所事業概要」

- 母の年齢階級別でみた出生数は、20～24歳および25～29歳での減少が著しく、2005年(平成17年)以降は30～34歳が最も多くなっている。

【図9 出生数の推移(母の年齢5歳階級別)】



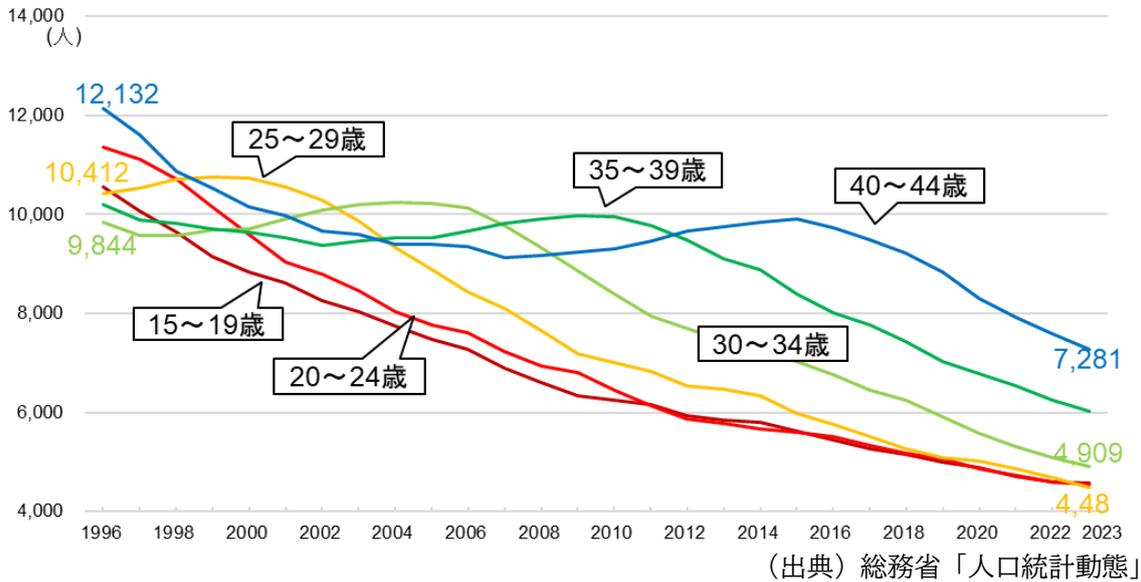
(出典) 総務省「人口統計動態」

※2 合計特殊出生率：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当する数値

※3 人口置換水準：人口規模が長期的に維持される合計特殊出生率の水準

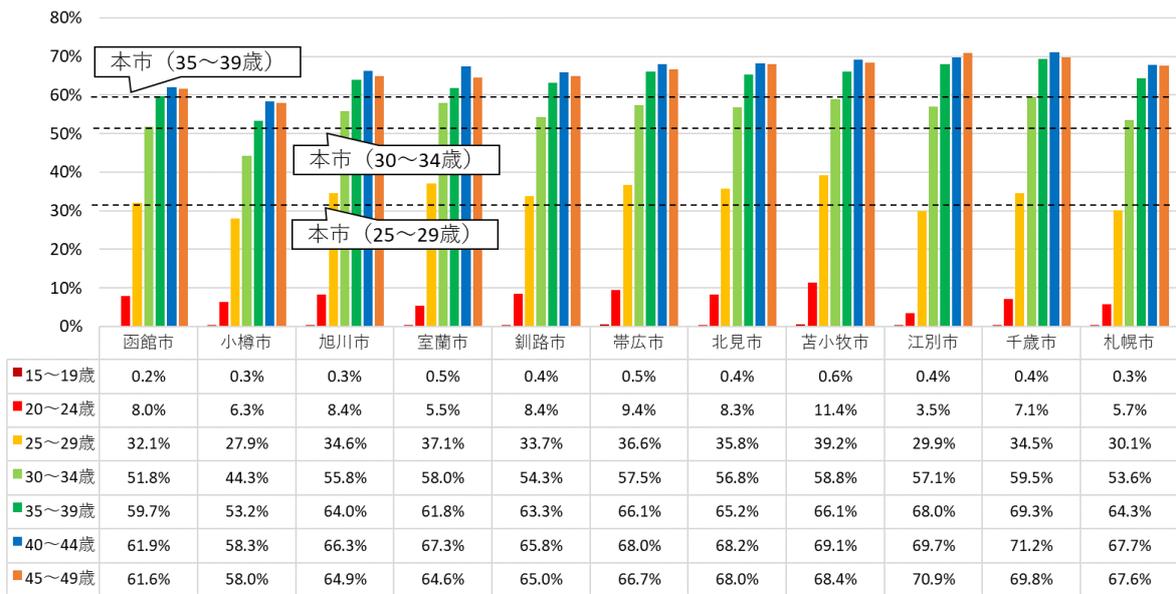
- 15～44歳の女性人口は、すべて減少傾向にあり、2023年（令和5年）では、年代が下がるに従い人口が少なくなっている。子どもを産み育てる世代の人口が減っていることから、合計特殊出生率が増加しても必ずしも出生数が増加しない状況にある。

【図10 15～44歳の女性人口の推移】



- 本市の有配偶率を北海道内10市と比較すると、25～29歳は4番目に低く、30～34歳より上の年代ではいずれも2番目に低くなっており、20代以降は年齢が上昇するとともに低くなる傾向にある。

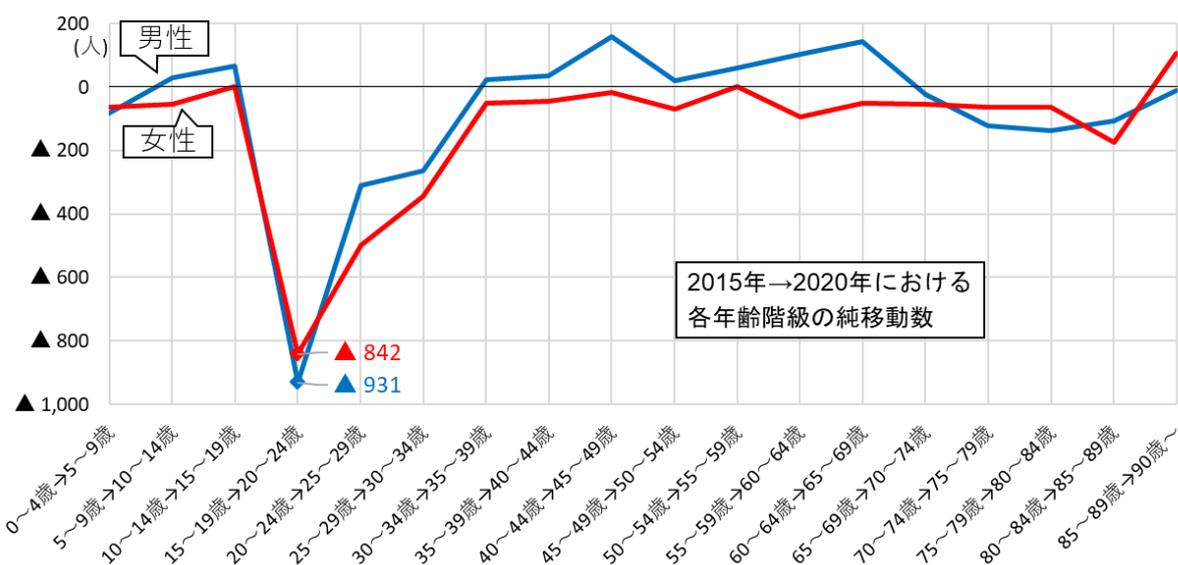
【図11 有配偶率の道内10市との比較】



(出典) 総務省「令和2年国勢調査」

- 年齢階級別純移動数(※4)は、男女とも15～19歳→20～24歳に極端な転出超過となっている。

【図12 男女別年齢5歳階級別純移動数】



(出典) 地域経済分析システム「RESAS」

※4 年齢階級別純移動数：5歳階級毎にその階級の人口における5年後の人口を差し引いた純移動数

- 住民基本台帳移動報告による本市に対する転出入超過の状況では、青森県と道南圏の市町村からの転入超過が多い一方、札幌市および東京圏などへの転出が超過している傾向が見られる。

【表1 本市への転入超過ランキング】

区分	転入超過数(人)	
第1位	青森県	133
第2位	森町	80
第3位	北斗市	76
第4位	八雲町	75
第5位	七飯町	52
第6位	江差町	24
第7位	登別市	19
第8位	稚内市	14
第8位	せたな町	14
第10位	浦河町	13

【表2 本市からの転出超過ランキング】

区分	転出超過数(人)	
第1位	札幌市	822
第2位	東京都	149
第3位	神奈川県	57
第4位	宮城県	55
第5位	恵庭市	46
第6位	江別市	39
第7位	北広島市	27
第8位	千葉県	24
第8位	愛知県	23
第10位	室蘭市	15

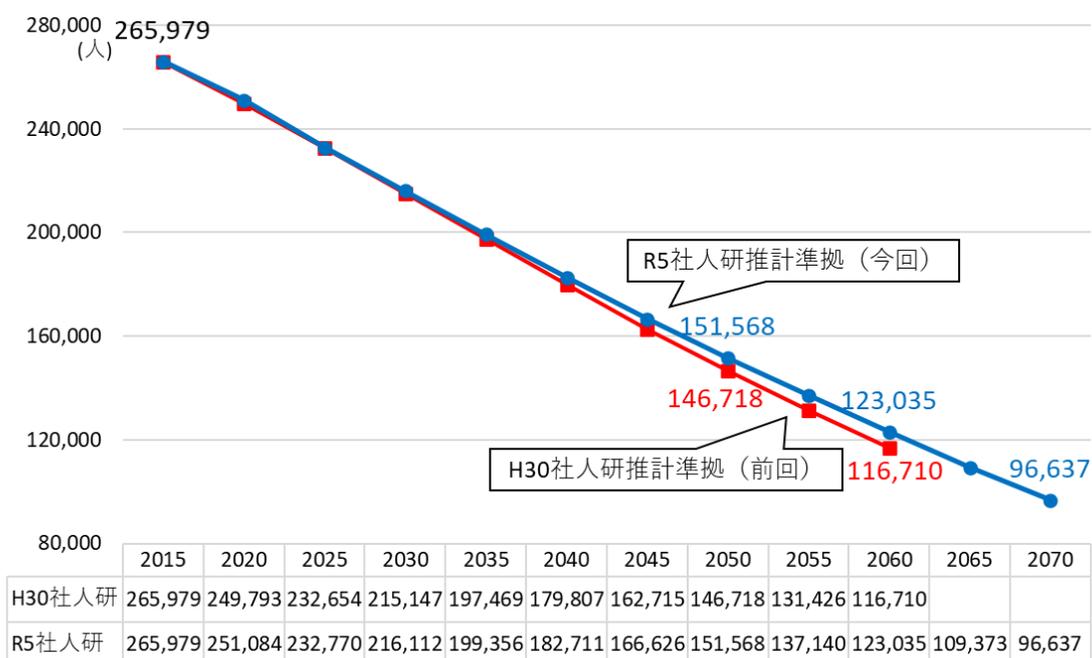
(出典) 総務省「令和5年住民基本台帳移動報告」

### 3 人口の将来推計

#### (1) 総人口推計の比較

- 2020年（令和2年）の人口（実数値）は251,084人であり、2018年（平成30年）に公表された国立社会保障・人口問題研究所による人口推計値（以下「社人研推計」という。）を上回っている。また、2023年（令和5年）に公表された社人研推計は、2018年（平成30年）の推計値よりも2050年（令和32年）に4,850人、2060年（令和42年）では6,325人多くなると見込まれている。

【図13 前回人口推計と現時点の人口の比較】



（出典）社人研「日本の地域別将来推計人口」（平成30年推計・令和5年推計）

※H30社人研推計：2015年は実数値で、2020年から2060年は推計値。

R5社人研推計：2015年、2020年は実数値で、2025年から2070年は推計値。

## (2) 推計の考え方

- 低位推計 合計特殊出生率，純移動率とも現状のまま推移すると仮定
- 中位推計 2070年（令和52年）に合計特殊出生率が，本市独自に算出した市民の希望出生率となる1.77を実現し，純移動率を1980年（昭和55年）以降の実績の最高値を達成すると仮定
- 高位推計 2050年（令和32年）までに中位推計の2070年（令和52年）の状況を達成し，かつ2070年（令和52年）までに合計特殊出生率が人口置換水準である2.07，純移動率のマイナスが解消すると仮定（この水準を維持し続けた場合，2100年代に7万人程度でほぼ横ばい）

【表3 推計の考え方】

区分		推計方法		
		市独自推計		
		低位	中位	高位
合計特殊出生率	2025～2050年	2025年の水準で一定 (※5)	1.77(希望出生率)(※7) まで徐々に増加	1.77(希望出生率) まで徐々に増加
	2055～2070年			2.07(人口置換水準) まで徐々に増加
純移動率	2025～2050年	2025年の水準で一定 (※6)	実績の最高値(※8) まで徐々に増加	実績の最高値まで 徐々に増加
	2055～2070年			徐々に増加し 2070年にマイナスを解消

※5 2025年（令和7年）の合計特殊出生率：2019年（令和元年）から2022年（令和4年）の平均値1.14人と算出したもの

※6 2025年（令和7年）の純移動率：国勢調査人口の2015年（平成27年）と2020年（令和2年）から純移動数と純移動率を算出したもの

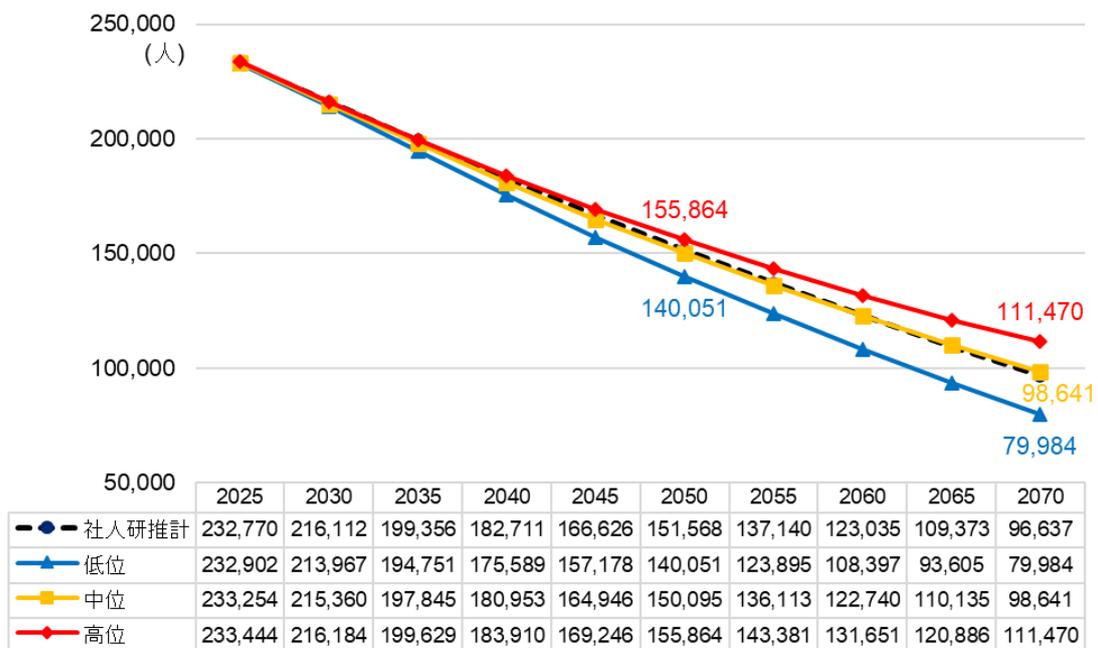
※7 希望出生率：令和6年度地方創生に関するアンケート調査の結果をもとに，既婚者および未婚者の理想とする子どもの数と未婚者の結婚の可能性，実際の有配偶率を勘案して，20～49歳における希望出生数を1.77としたもの

※8 実績の最高値：1980年（昭和55年）から2020年（令和2年）までの国勢調査による5歳階級毎の純移動率から，最も高い値を抽出し反映させたもの

### (3) 総人口の推移と比較（社人研・低位・中位・高位）

- 社人研推計では、2050年（令和32年）に総人口が151,568人となり、社人研推計に準拠して推計した2070年（令和52年）の総人口は96,637人になる。
- 低位推計では、2050年（令和32年）に総人口が140,051人となり、2070年（令和52年）には79,984人と2020年（令和2年）に比べて総人口が約68%減少する。
- 中位推計では、2050年（令和32年）に総人口が150,095人となり、2065年（令和47年）には社人研推計を上回るが、2070年（令和52年）には98,641人と2020年（令和2年）に比べて総人口が約61%減少する。
- 高位推計では、2050年（令和32年）に総人口が155,864人となり、2070年（令和52年）には111,470人と2020年（令和2年）に比べて総人口が約56%減少する。

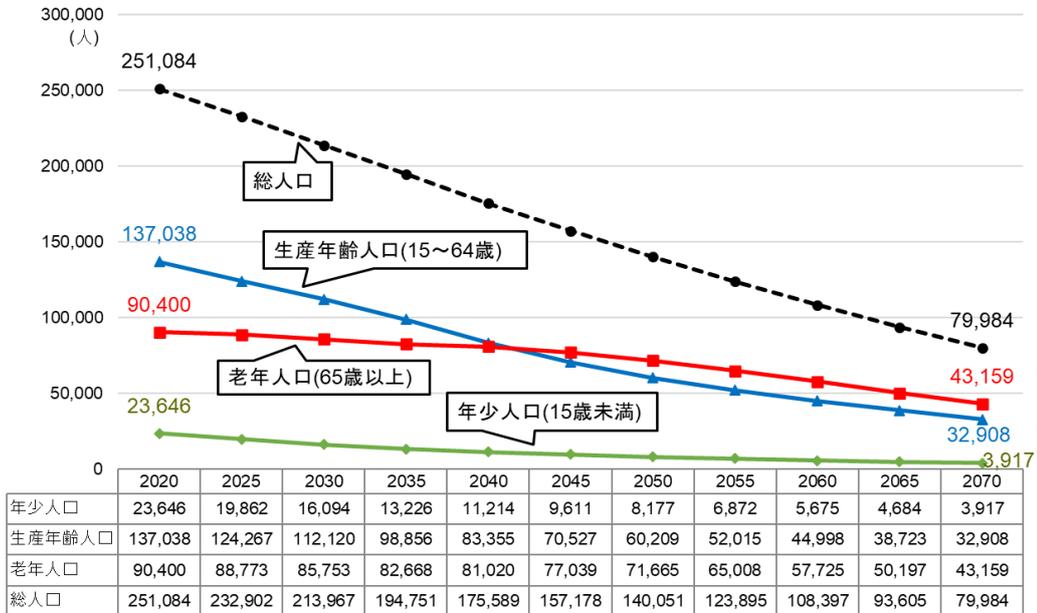
【図14 総人口の推移と比較】



#### (4) 各推計による人口構成

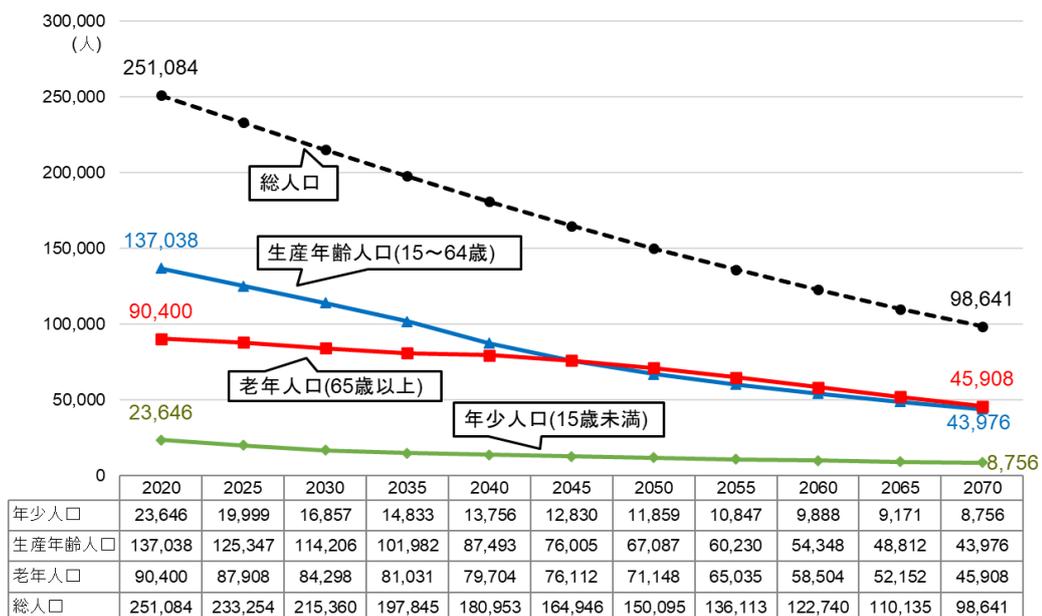
- 低位推計では、2040年（令和22年）から2045年（令和27年）の間に生産年齢人口（15～64歳）が老年人口（65歳以上）を下回り、2050年（令和32年）以降はほぼ一定の差を維持しながら推移する。年少人口（15歳未満）は、2070年（令和52年）に3,917人まで減少する。

【図15 年齢3区分別人口の推移（低位）】



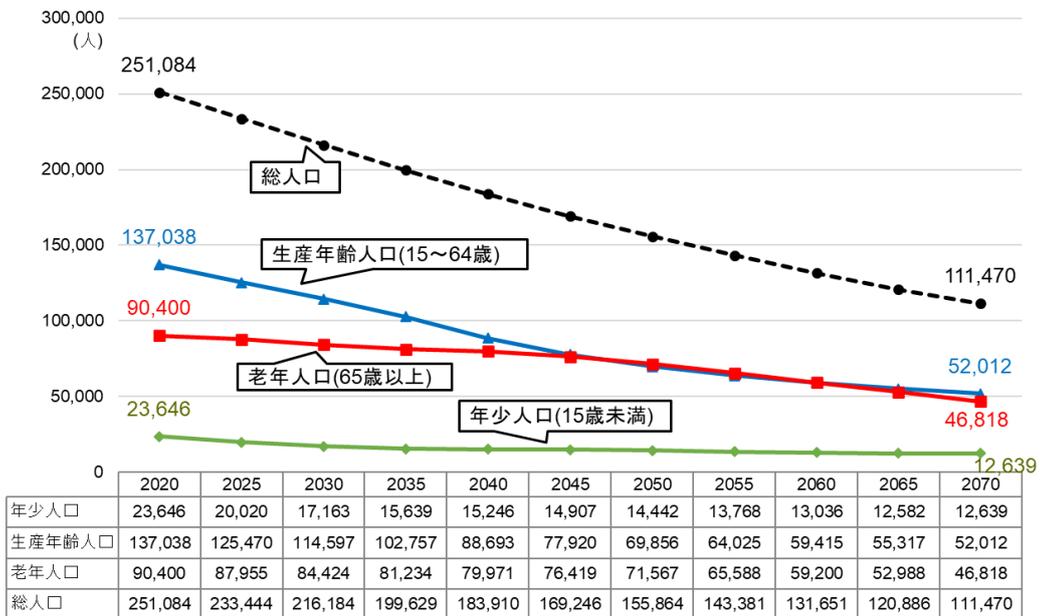
- 中位推計では、2045年（令和27年）に生産年齢人口（15～64歳）が老年人口（65歳以上）を下回るが、その後は差が広がらず、2070年（令和52年）までほぼ同数で推移する。年少人口（15歳未満）は、2035年（令和17年）以降は減少数が緩やかになり、2070年（令和52年）に8,756人となる。

【図16 年齢3区分別人口の推移（中位）】



- 高位推計では、2050年（令和32年）および2055年（令和37年）は生産年齢人口（15～64歳）が老年人口（65歳以上）を下回るが、2060年（令和42年）に生産年齢人口（15～64歳）が老年人口（65歳以上）を再び上回る。年少人口（15歳未満）は、2030年（令和12年）以降は減少数が緩やかになり、2070年（令和52年）に12,639人となる。

【図17 年齢3区分別人口の推移（高位）】



# 第3期函館市活性化総合戦略 (骨子案)

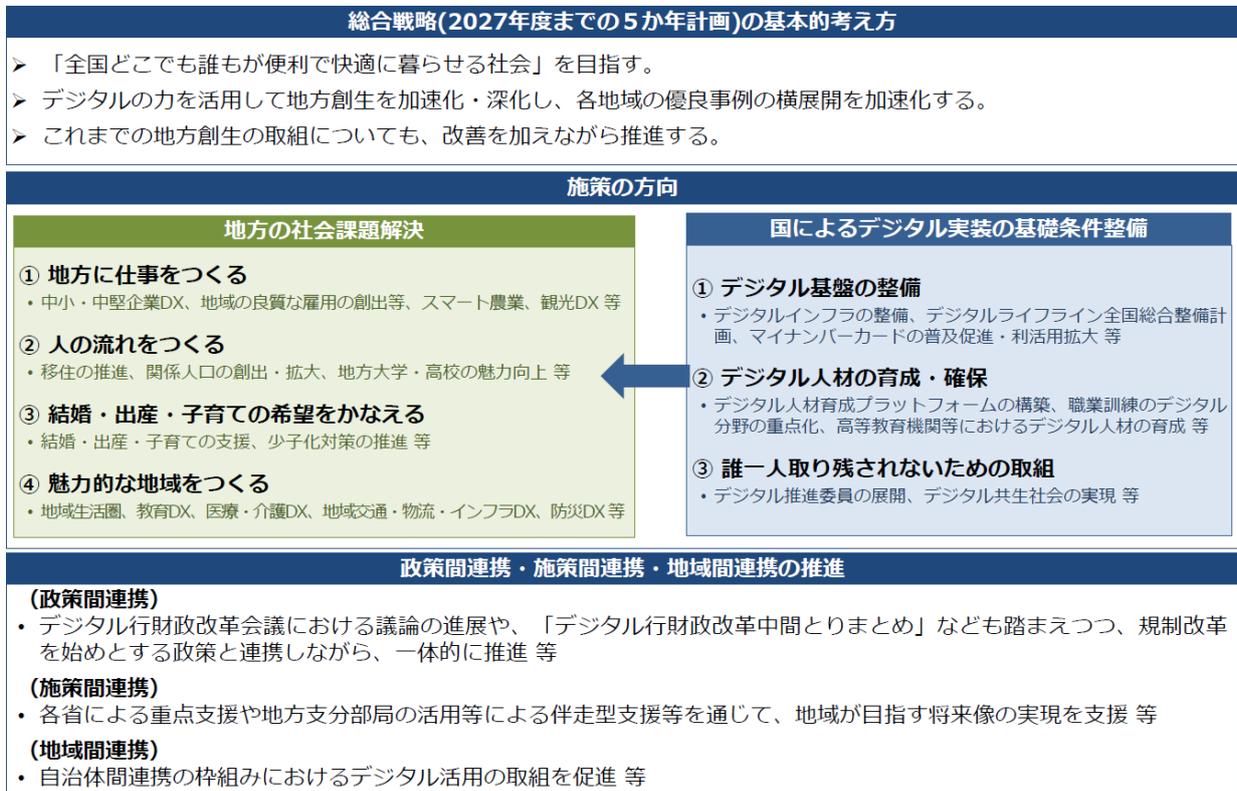
令和6(2024)年11月  
函館市

# I 策定にあたっての考え方

## 1 策定の背景・趣旨

- 国では、急速に進む少子高齢化と人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域社会を維持することを目的として、平成26(2014)年にまち・ひと・しごと創生法を施行、同年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。  
その後、デジタル技術を活用して地方の社会課題を解決し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」をめざす「デジタル田園都市国家構想」の実現を目的として、令和4(2022)年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。(令和5(2023)年12月改訂。)
- 本市においても、平成27(2015)年10月に「函館市活性化総合戦略」を策定、令和2(2020)年3月に改訂し、人口減少のスピードを少しでも緩やかにするとともに誰もがいつまでも暮らし続けたい、再び訪れたいと思うまちづくりを進めてきたところである。
- このたび、第2期活性化総合戦略の計画期間が満了することから、引き続き国や北海道の方針を踏まえつつ、社会経済情勢の変化や価値観の多様化に適切に対応し、総合的かつ計画的に施策を推進するため、「第3期函館市活性化総合戦略」を策定する。

(参考：デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)の全体像



## 2 計画の位置づけ

- ・ 本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に規定される「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付ける。
- ・ 本戦略は、「函館市総合計画基本構想実施計画」として位置付ける。

## 3 本戦略におけるデジタル活用の考え方について

- ・ 国では、デジタルの力を活用して地方創生の取組を加速化・深化させることを基本的な考え方としている。これを踏まえ、本市においては、デジタル技術やデータを活用することで地域課題の解決や新しい価値の創出につなげ、誰もが便利で快適な住みやすいまちをめざすため、令和6(2024)年3月に「函館市デジタル変革推進ビジョン」を策定したことから、本戦略の策定および各施策の推進にあたっては当ビジョンを参酌する。

## 4 本戦略におけるSDGsの考え方

- ・ 各施策項目とSDGsの17の目標との関係をわかりやすく表記し、本戦略の着実な推進によりSDGsの達成をめざす。

## 5 多様な主体との連携の推進について

- ・ 市民等と行政がそれぞれの役割を果たしながら協力してまちづくりに取り組むため、自治基本条例の理念のもと、市民や事業者等との連携の強化を図る。
- ・ また、令和6(2024)年1月に策定した「第3次北海道定住自立圏共生ビジョン」に基づき北海道の中心市としての機能の維持・向上に努めるとともに、各市町の個性を互いに尊重しながら相互に連携・協力し、共通課題解決への取組を推進することで、圏域全体の発展と本市の活性化につなげる。

## 6 計画期間

- ・ 令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とする。
- ・ 本市を取り巻く状況の変化や毎年の評価等により、取組内容等に修正が必要な場合は、計画期間中も必要に応じて随時見直しを図る。また、本戦略は「函館市総合計画基本構想実施計画」を兼ねるため、令和8(2026)年度までを計画期間としている現基本構想の改定の際には、必要に応じて本戦略の改定を行う。

## 7 評価と検証

- ・ 基本目標および各施策項目に対して数値目標、KPI（重要業績評価指標）を設定した上で各施策を着実に実施し、数値目標等の達成度について内部評価を行うほか、函館市まち・ひと・しごと創生推進会議において外部評価を実施することで効果検証を行い、その結果を踏まえて施策の見直しや計画の改訂を行う。
- ・ なお、事業の立案においては、EBPM（合理的根拠に基づく政策立案）の考え方を取り入れることとする。

## Ⅱ 本市の現状

### 1 第2期総合戦略の成果と課題

第2期総合戦略では、4点の基本的な視点のもと、3つの基本目標を掲げて各種施策を推進してきている。

観光入込客数や企業立地件数など、計画期間中に流行した新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも順調に推移している指標もある一方、基本目標1のうち子ども・子育て・教育の分野では基準値を下回る指標が多く見られる。

結婚・出産に対する若者の意識の変化や価値観の多様化などにより全国的に出生率が低下している中、本市においても合計特殊出生率は令和4(2022)年度実績で1.09と、目標の達成は困難な状況である。また、20歳代の若者の市外への転出超過数についても目標の達成は困難と見込まれ、今後においても取組を不断に進めていく必要がある。

### 2 函館市人口ビジョン

素案において概要を記載

### 3 今後の財政見通し

別途作成後、素案において概要を記載

### 4 市民アンケートの結果から

まちづくりなどに対する意見を把握するために行った「地方創生に関するアンケート調査」では、「安心して子どもを産み、子育てしやすい環境整備のために必要な取組」、「行政が結婚を支援するために取り組むべきこと」、「函館市の経済を活性化するために必要な取組」などの質問に対し、「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」、「安定した雇用の確保」など雇用や収入面について選択する割合が多かった。

また、「地域幸福度(Well-Being)指標に関する調査」においても、「雇用・所得」、「子育て」などの評価が、統計データに基づく客観指標と市民アンケート調査に基づく主観指標の両方が低い結果となった。

※第2期総合戦略における取組の視点と基本目標

(取組の視点)

- 1 交流人口の拡大
- 2 若者をはじめとする雇用の場の確保
- 3 安心して子どもを産み育てることができる環境の整備
- 4 高齢者をはじめとする市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくり

(基本目標)

- 1 市民一人ひとりの幸せを大切にします
- 2 函館の経済を支え強化します
- 3 快適で魅力あるまちづくりを進めます

### Ⅲ 本戦略の目標

#### 1 めざす姿

基本構想で掲げる将来像をめざすことにより、市民の幸福度（ウェルビーイング※）の向上をめざしていく。

なお、現在の基本構想は令和8（2026）年度までの計画であるため、基本構想の改定の際には必要に応じて本戦略の改定を行う。

（参考）現在の基本構想における将来像

北のクロスロードHAKODATE～ともに始める 未来を拓く～

※ウェルビーイング（厚生労働省ホームページより）

身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念

#### 2 基本目標

本市の人口減少の主な要因は「若年層を中心とした転出超過」，「合計特殊出生率の低下などに伴う出生数の減少」，「高齢者の死亡数の増加」と考えられ、改善に向けてはこれまでの取組を踏まえた上でさらなる取組が求められることから、国や道の総合戦略における施策の方向も勘案し、以下の4つを5年間の基本目標とする。

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 基本目標1 | 結婚・出産の希望がかない、未来をひらくひとが育つまちをめざす |
| 基本目標2 | 魅力ある雇用環境の創出と地域経済の活性化をめざす       |
| 基本目標3 | 健康で充実した生活がかなうまちをめざす            |
| 基本目標4 | 住むひと・訪れるひとにとって、魅力あるまちをめざす      |

#### 3 数値目標

指 標	現 状 値	目 標 値
※検討中（次回，素案において案を提示）		

## IV 目標の達成に向けた施策の方向性

### 1 基本的方向

#### 基本目標1 結婚・出産の希望がかない、未来をひらくひとが育つまちをめざす

本市では、これまで子ども医療費助成制度の拡充や認可保育施設における第2子以降の保育料の完全無償化、「子ども家庭センター」の設置による支援体制の強化など、子育て世帯等を支える取組を進めているが、令和5(2023)年に初めて出生数が1千人を割り込むなど出生数の減少に歯止めがかかっていない状況が続いている。

少子高齢化が急速に進行し、コロナ禍を経て社会環境も大きく変化する中、誰もが自分らしいライフプランを描くことができるよう、結婚・出産を希望する方への支援や切れ目のない子育て支援に取り組むとともに、すべての子どもが家庭環境や経済状況などによらず安心して学ぶことのできる環境の整備に努める。

加えて、多様な高等教育機関が集積する強みを生かし、近隣自治体や民間事業者等と連携して地域のニーズに応じた人材育成を進めるなど、地域の将来を担う人材が育まれる環境整備に努める。

#### 基本目標2 魅力ある雇用環境の創出と地域経済の活性化をめざす

本年8月から10月に実施した函館市内の高校・大学に通う生徒および学生を対象としたアンケートで、函館市に住み続けたいと思わない、戻りたいと思わない理由として「娯楽・レジャーが楽しめない」が最も多い回答であり、「魅力的な職場がない」が次に続いた。

また、函館公共職業安定所が公表する有効求人倍率は、全国と比べて低い状況で推移しているものの、業種によっては深刻な人手不足が続いている。

これまでの取組も踏まえた上で、地域経済を支える中小企業や小規模事業者の成長発展を促すため新製品開発や販路拡大に対する支援を行うほか、首都圏企業等へのシティセールスを積極的に行うなど企業誘致の一層の拡大に取り組むとともに、若者や女性、高齢者など多様な人材が働きやすい環境整備を支援する。

また、一次産業従事者の所得向上を図り、魅力ある産業とすることで担い手確保に努めるほか、函館産農水産物の販路拡大に向けた取組を進める。

さらに、「函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会」での活動を通じ、再生可能エネルギーの導入促進や関連産業の振興および港湾の活性化を図る。

### 基本目標3 健康で充実した生活がかなうまちをめざす

少子高齢化や核家族化，未婚化・晩婚化，これらを背景とした高齢者のみの世帯や単身世帯などの増加によって，地域社会を支える住民同士のつながりが希薄化する中，誰もが住み慣れた地域で安全に安心して暮らしていくために，医療・福祉サービスの充実や身近なコミュニティである町会の活性化をはじめ，効率的・効果的な除排雪や道路等の徹底した維持管理，利便性の高い公共交通の確保など，生活に不可欠なサービスを確保していく必要がある。

このため，町会の人材不足への対応など持続可能な町会運営への支援や各団体等と町会との連携支援など，町会活性化に向けて地域住民とともに取り組むとともに，全ての人が社会的に孤立せず，また排除されることなく，互いに成長し能力を生かし多様性を力に変えられるインクルージョンの実現に向けた取組を推進する。

また，生活習慣病の発症予防・重症化予防を図るなど市民の健康寿命の延伸をめざす。

さらに，福祉拠点としての地域包括支援センターを中心として，障がい，子ども，生活困窮，ひきこもりなど幅広い分野の課題に，世代を問わず対応していく。

### 基本目標4 住むひと・訪れるひとにとって，魅力あるまちをめざす

人口減少が進む中であっても地域の活力を維持していくため，住む人がいつまでも住み続けたいと感じるまちであることに加え，訪れてみたい，住んでみたいと感じられる魅力を発信し，関係人口の拡大，定住人口の増加へとつなげていく，選ばれるまちであることが重要である。

住む人がまちの賑わいを感じられるよう，商店街等のイベント事業の支援や年間を通じた各種イベントの開催など，民間事業者等とも連携しながら地域の魅力を発信し，来街者の増加や回遊を促し，賑わい創出とまちの活性化を図る。

また，近隣自治体と連携し，道南地域全体の観光資源を相互に活用，効果的に発信し，長期滞在を促す取組を推進するとともに，富裕層をはじめとする旅行者に対応した本市の観光資源を活用した付加価値が高い観光コンテンツづくりやガイド人材の育成など，受入環境の強化を図る。

さらに，国や道などと連携して広域交通ネットワークの充実を図ることにより，国内外からの来訪者の増加に取り組むほか，文化・スポーツの振興により市民の心身を健やかに育むとともに，本市が持つ歴史や文化の魅力を発信，スポーツイベントの開催を通じた交流人口，関係人口の拡大や，定住人口の増加につながるような各種取組の充実を図る。

## 2 施策 ※KPI (重要業績評価指標)については検討中 (素案において案を提示)

施策項目	主な取組
<b>基本目標1 結婚・出産の希望がかない、未来をひらくひとが育つまちをめざす</b>	
①結婚・出産の希望を叶える支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援の取組</li> <li>・不妊治療への支援</li> <li>・母子保健の推進</li> </ul>
②切れ目のない子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援の充実 (幼稚園や保育施設等への支援, 保育料等に関する支援, 子どもの医療費助成 ほか)</li> </ul>
③子育てしながら働きやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭の自立支援</li> </ul>
④子どもたちを取り巻く社会問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくり</li> <li>・子どもの貧困対策</li> <li>・児童虐待防止対策</li> <li>・いじめの未然防止, 早期発見への取組</li> <li>・不登校対策</li> </ul>
⑤子どもたちの学びを支える教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語教育の充実</li> <li>・1人1台端末等の活用による授業改善の推進</li> <li>・常設型エアコンの整備</li> </ul>
⑥地域のニーズに対応した人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育機関と連携した地域人材育成のための環境整備</li> <li>・私立学校や私立専修学校への支援</li> </ul>
<b>基本目標2 魅力ある雇用環境の創出と地域経済の活性化をめざす</b>	
①DX推進等による地元企業の競争力強化への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業への支援</li> <li>・DXの推進・IT産業の振興</li> <li>・新製品開発や高付加価値化の支援</li> <li>・函館の「食」の価値向上と地域産品の販路拡大に向けた取組</li> </ul>
②企業誘致活動の強化とチャレンジする若者への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致活動の強化</li> <li>・創業に対する支援</li> </ul>
③持続可能で魅力的な農水産業実現のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくり育てる漁業の推進 (新たな水産物の養殖等)</li> <li>・函館産農水産物の高付加価値化の促進</li> <li>・函館産農水産物の販路拡大に向けた取組</li> <li>・新規就農・新規漁業就業者の増加に向けた取組</li> </ul>
④誰もが働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の人材確保支援</li> <li>・若者の地元就職・定着を促進する取組</li> <li>・女性や高齢者など多様な人材の確保支援</li> </ul>
⑤カーボンニュートラルの実現に向けた取組などを通じた産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの利用促進と関係する人材の育成</li> <li>・函館港の脱炭素化の推進</li> <li>・「函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会」での活動を通じた地域の脱炭素化等の推進</li> </ul>

施策項目	主な取組
<b>基本目標3 健康で充実した生活がかなうまちをめざす</b>	
①インクルージョンの実現のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルージョンの考え方の浸透のための取組</li> <li>・男女共同参画の推進</li> <li>・インクルーシブ教育の推進</li> <li>・障がい者の社会参加の促進に向けた取組</li> </ul>
②地域で支え合い健康で生き生きと暮らせる環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉拠点としての地域包括支援センターを中心とした相談支援の充実</li> <li>・がん健診等の受診率向上と生活習慣病の発症・重症化予防等に向けた取組</li> <li>・介護予防活動の環境整備や介護人材の確保</li> <li>・スポーツを通じた健康づくり</li> </ul>
③快適な暮らしを実現する生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活基盤となる道路等の維持管理</li> <li>・循環型社会の形成に向けた取組</li> <li>・防災対策の推進</li> </ul>
④安全で利便性の高い交通環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な公共交通網の確保に向けた取組</li> </ul>
<b>基本目標4 住むひと・訪れるひとにとって、魅力あるまちをめざす</b>	
①人が集い賑わう場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の振興</li> <li>・中心市街地の活性化</li> <li>・各種イベントの開催</li> </ul>
②観光の価値を高める取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣自治体と連携した魅力ある観光プログラムの造成</li> <li>・函館の文化や歴史等を活用した付加価値が高い観光コンテンツづくりの推進</li> <li>・東京からの周遊ルート確立に係る取組</li> <li>・観光資源の掘り起こしと磨き上げによる都市ブランド向上に向けた取組</li> </ul>
③陸・海・空の交通ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域幹線道路の整備促進</li> <li>・クルーズ船の誘致強化と受入体制の拡充</li> <li>・国内外の航空路線の拡充</li> </ul>
④移住・定住を後押しする取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し移住の実施や移住支援金の拡充など移住を促す取組</li> <li>・地域の魅力や仕事・子育て・住居等に係る情報発信の強化</li> </ul>
⑤文化・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術団体の自主的かつ活発な活動への支援</li> <li>・各種スポーツ競技大会の開催支援やスポーツ合宿の誘致促進</li> <li>・文化財の保存・活用</li> </ul>

**令和6年度  
地方創生に関するアンケート調査  
地域幸福度(Well-Being)指標に関するアンケート調査  
結果報告書**

**令和6年(2024年)11月  
函館市**

# 目 次

<b>第1部 本調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	2
2 調査内容と回収結果 .....	2
3 留意点 .....	2
<b>第2部 地方創生に関するアンケート調査 調査結果</b> .....	<b>5</b>
1 回答者の状況 .....	6
2 出産・子育てに対する考え方 .....	17
3 結婚に対する考え方 .....	24
4 進学・就職の状況 .....	30
5 「函館市の魅力」について .....	37
6 「函館市の今後のまちづくり」 .....	40
7 自由意見のまとめ .....	43
8 調査票 .....	44
<b>第3部 地域幸福度（Well-Being）指標に関するアンケート調査 調査結果</b> .....	<b>59</b>
1 地域幸福度（Well-Being）指標とは .....	61
2 回答者の状況 .....	61
3 カテゴリー別 函館市に関する主観・客観評価 .....	62
4 函館市に関する主観・客観評価の詳細 .....	64
5 主観・客観評価に関する年代別分析 .....	68
6 函館市民の幸福度・満足度（主観指標詳細） .....	70
7 調査票 .....	81

## **第 1 部 本調査の概要**

## 1 調査の目的

本調査は、市民のまちづくりや結婚などに対する意見等を把握し、まち・ひと・しごと創生法に基づく次期函館市活性化総合戦略の策定や、市政運営にあたっての基礎資料とするために実施しました。

## 2 調査内容と回収結果

本調査の調査対象・調査方法・調査期間・有効回答数(率)・調査項目は、次のとおりです。

区分	調査対象	調査方法	調査期間	有効回答数(率)
20歳以上	令和6年(2024年)7月1日時点における住民基本台帳登録情報のうち、満20歳～49歳までの男女2,000人および満50歳以上の男女2,000人合わせて4,000人を無作為抽出	郵送により調査票を配付し、インターネット上のアンケートフォームおよび郵送にて回答を受け付けた。	令和6年(2024年)8月13日(火)～8月31日(土)	1,343人(33.6%)
大学生等	市内の高等教育機関に通う学生4,812人	各大学等を通じてチラシを配布し、インターネット上のアンケートフォームにて回答を受け付けた。	令和6年(2024年)8月7日(水)～10月11日(金)	166人(3.4%)
高校生	市内の高等学校に通学する生徒のうち、2年生および3年生3,905人		令和6年(2024年)8月14日(水)～9月11日(水)	920人(23.6%)

調査項目(20歳以上)	調査項目(大学生等,高校生)
1:属性に関する質問 2:函館市の魅力に関する質問 3:函館市の今後のまちづくりに関する質問 4:就業に対する考え方に関する質問 5:結婚に対する考え方に関する質問 6:出産・子育てに対する考え方に関する質問 7:地域幸福度に関する質問	1:属性に関する質問 2:卒業後の進路に関する質問 3:函館市の魅力に関する質問 4:函館市の今後のまちづくりに関する質問 5:結婚・出産・子育てに対する考え方に関する質問 6:地域幸福度に関する質問

## 3 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超える場合があります。
- ③ 二重回答や判読不能の回答などは、“無効・無回答”に含めています。
- ④ 各質問のサンプル数は「n=」で表しています。
- ⑤ グラフ中の数値は、少数の場合は表記を省略しています。

⑥ 居住地の地区区分は、次のとおりとします。

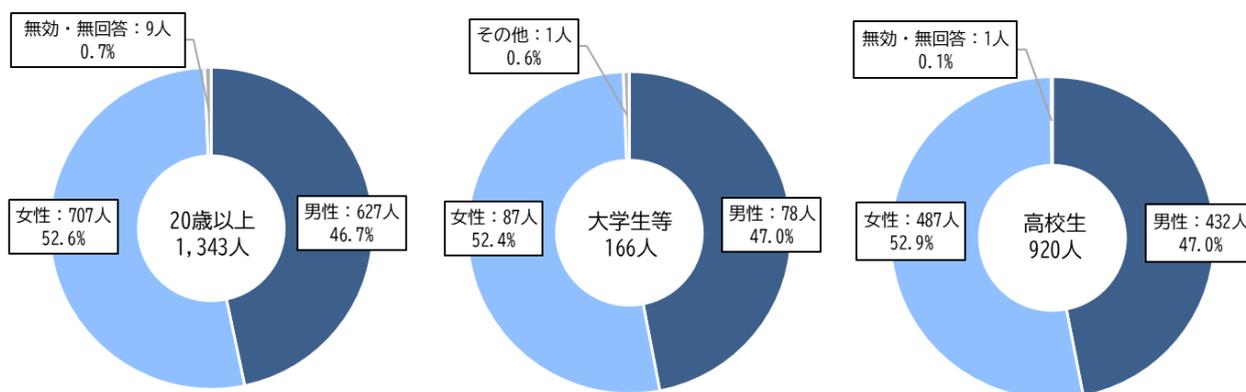
地区区分		対象となる町名
西部地区		入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町, 松風町, 若松町
中央部地区		千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 亀田町, 大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 金堀町, 乃木町, 柏木町
東央部地区		川原町, 深堀町, 駒場町, 広野町, 湯浜町, 湯川町1～3丁目, 戸倉町, 榎本町, 花園町, 日吉町1～4丁目, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町1～3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町
北東部地区		富岡町1～3丁目, 中道1～2丁目, 山の手1～3丁目, 本通1～4丁目, 鍛冶1～2丁目, 陣川町, 陣川1～2丁目, 神山町, 神山1～3丁目, 東山町, 東山1～3丁目, 美原1～5丁目, 赤川町, 赤川1丁目, 亀田中野町, 北美原1～3丁目, 水元町, 亀田大森町, 石川町, 昭和1～4丁目, 亀田本町
北部地区		浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町1～3丁目, 追分町, 桔梗町, 桔梗1～5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田港町
東部地区	戸井地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町
	恵山地区	日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大瀬町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町
	榎法華地区	恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町
	南茅部地区	古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 白尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町



## **第 2 部 地方創生に関するアンケート調査 調査結果**

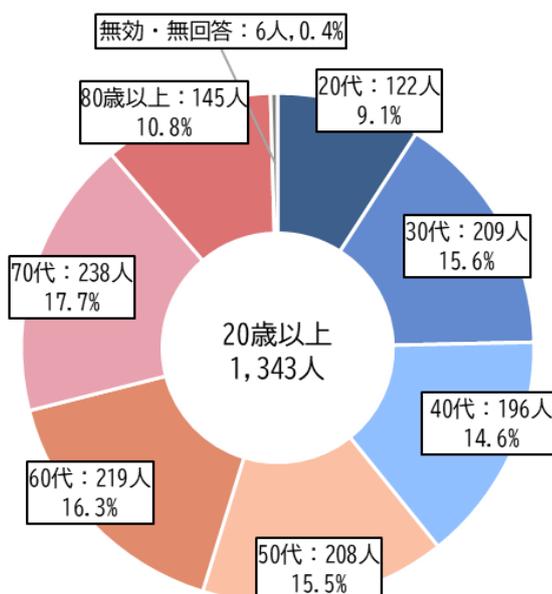
# 1 回答者の状況

## 1-① 性別



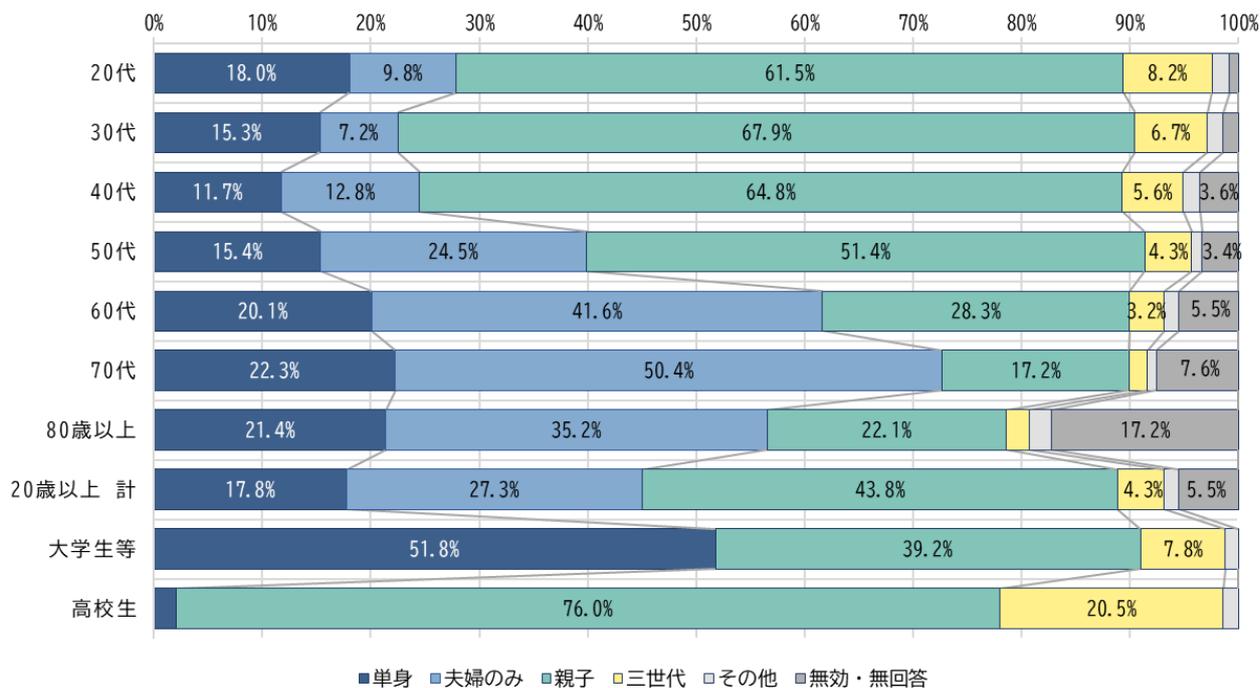
区分	男性	女性	その他	無効・無回答	合計
20歳以上	627人	707人	0人	9人	1,343人
	46.7%	52.6%	0.0%	0.7%	100%
大学生等	78人	87人	1人	0人	166人
	47.0%	52.4%	0.6%	0.0%	100%
高校生	432人	487人	0人	1人	920人
	47.0%	52.9%	0.0%	0.1%	100%

## 1-② 20歳以上の年代別回答割合



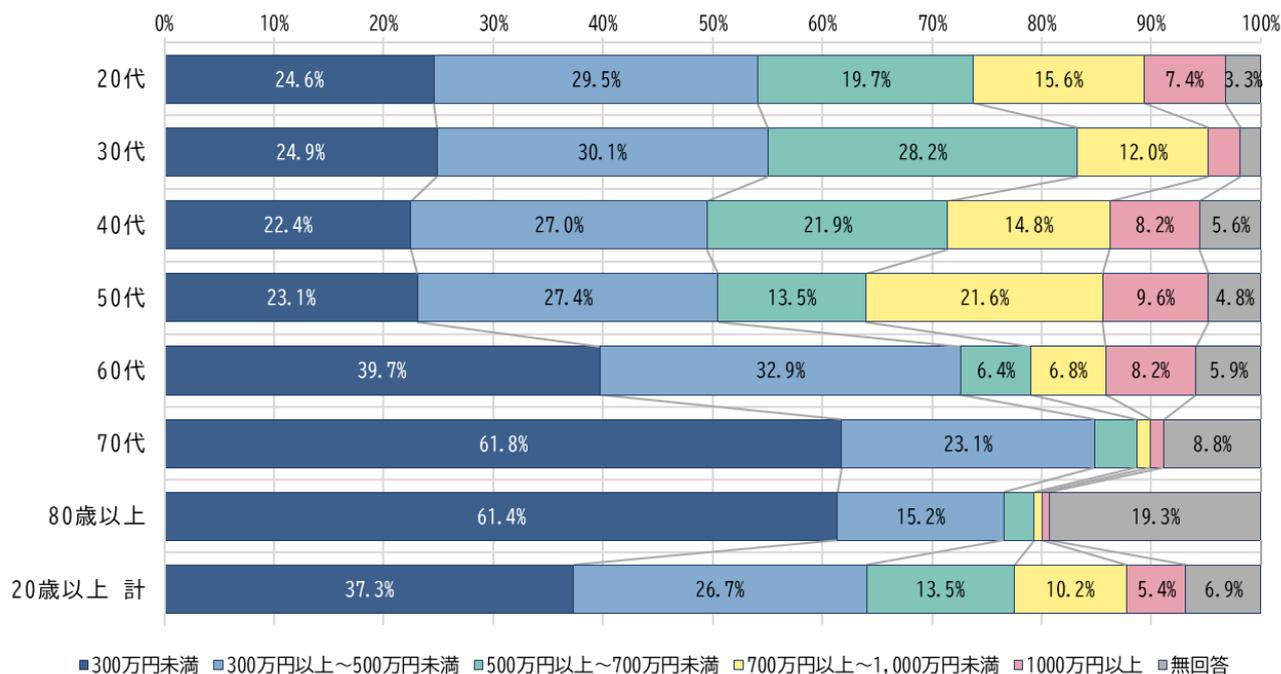
区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無効・無回答	合計
20歳以上	122人	209人	196人	208人	219人	238人	145人	6人	1,343人
	9.1%	15.6%	14.6%	15.5%	16.3%	17.7%	10.8%	0.4%	100%

1-③ 家族構成



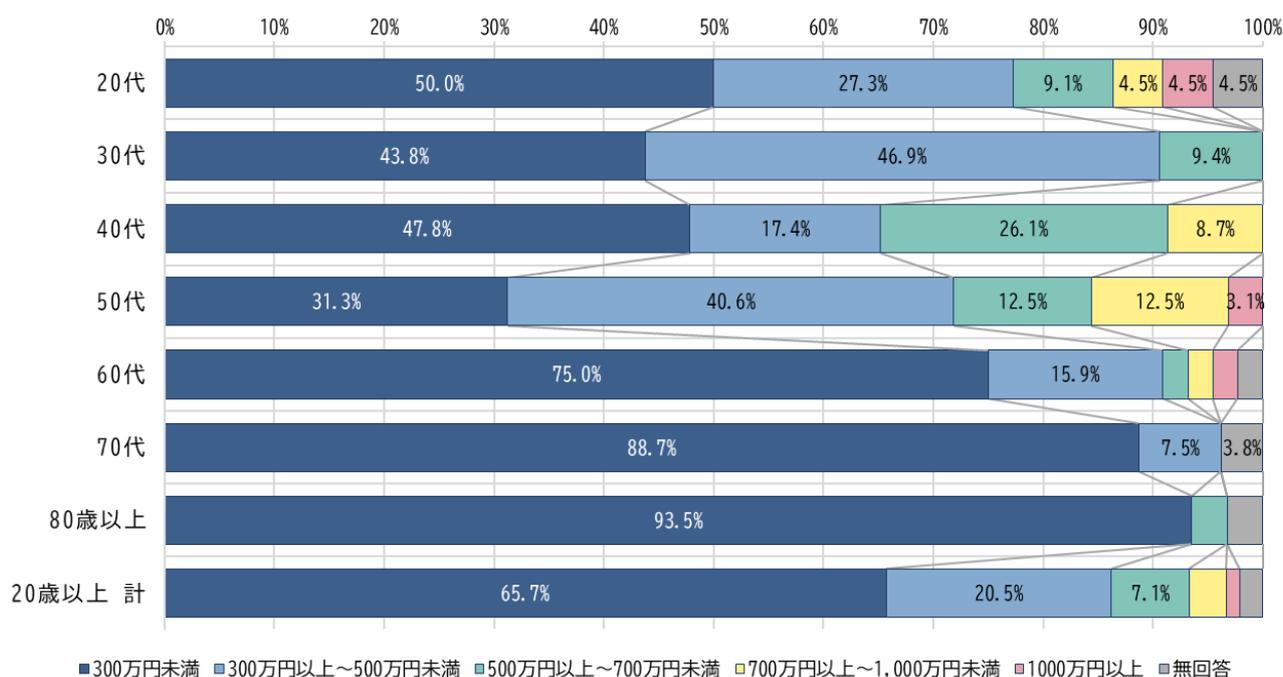
区分	年代	単身	夫婦のみ	親子	三世代	その他	無効・無回答	合計
20歳以上	20代	22人	12人	75人	10人	2人	1人	122人
		18.0%	9.8%	61.5%	8.2%	1.6%	0.8%	100%
	30代	32人	15人	142人	14人	3人	3人	209人
		15.3%	7.2%	67.9%	6.7%	1.4%	1.4%	100%
	40代	23人	25人	127人	11人	3人	7人	196人
		11.7%	12.8%	64.8%	5.6%	1.5%	3.6%	100%
	50代	32人	51人	107人	9人	2人	7人	208人
		15.4%	24.5%	51.4%	4.3%	1.0%	3.4%	100%
	60代	44人	91人	62人	7人	3人	12人	219人
20.1%		41.6%	28.3%	3.2%	1.4%	5.5%	100%	
70代	53人	120人	41人	4人	2人	18人	238人	
	22.3%	50.4%	17.2%	1.7%	0.8%	7.6%	100%	
80歳以上	31人	51人	32人	3人	3人	25人	145人	
	21.4%	35.2%	22.1%	2.1%	2.1%	17.2%	100%	
無効・無回答	2人	1人	2人	0人	0人	1人	6人	
	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	100%	
20歳以上	239人	366人	588人	58人	18人	74人	1,343人	
	17.8%	27.3%	43.8%	4.3%	1.3%	5.5%	100%	
大学生等	86人	0人	65人	13人	2人	0人	166人	
	51.8%	0.0%	39.2%	7.8%	1.2%	0.0%	100%	
高校生	19人	0人	699人	189人	13人	0人	920人	
	2.1%	0.0%	76.0%	20.5%	1.4%	0.0%	100%	

1-④ 世帯年収



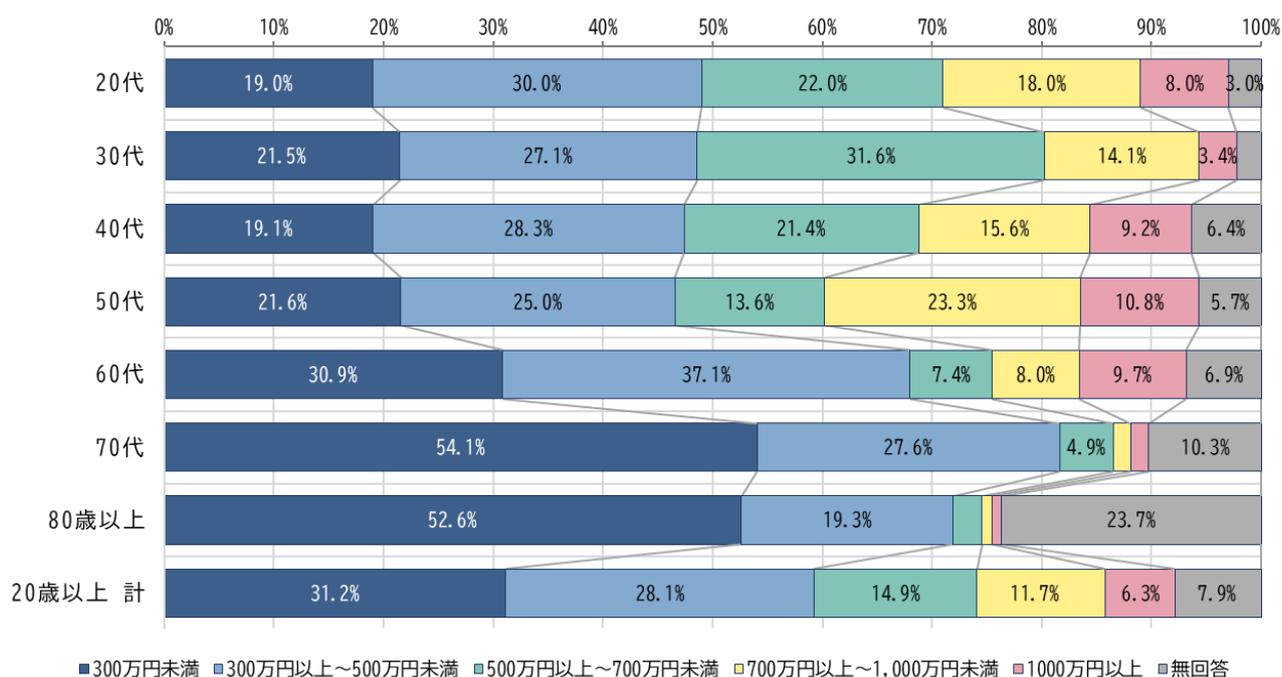
区分	年代	300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 700万円未満	700万円以上 1,000万円未満	1,000万円 以上	無効・ 無回答	合計
20歳 以上	20代	30人	36人	24人	19人	9人	4人	122人
		24.6%	29.5%	19.7%	15.6%	7.4%	3.3%	100%
	30代	52人	63人	59人	25人	6人	4人	209人
		24.9%	30.1%	28.2%	12.0%	2.9%	1.9%	100%
	40代	44人	53人	43人	29人	16人	11人	196人
		22.4%	27.0%	21.9%	14.8%	8.2%	5.6%	100%
	50代	48人	57人	28人	45人	20人	10人	208人
		23.1%	27.4%	13.5%	21.6%	9.6%	4.8%	100%
	60代	87人	72人	14人	15人	18人	13人	219人
		39.7%	32.9%	6.4%	6.8%	8.2%	5.9%	100%
70代	147人	55人	9人	3人	3人	21人	238人	
	61.8%	23.1%	3.8%	1.3%	1.3%	8.8%	100%	
80歳以上	89人	22人	4人	1人	1人	28人	145人	
	61.4%	15.2%	2.8%	0.7%	0.7%	19.3%	100%	
無効・ 無回答	4人	1人	0人	0人	0人	1人	6人	
	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	100%	
20歳以上	501人	359人	181人	137人	73人	92人	1,343人	
	37.3%	26.7%	13.5%	10.2%	5.4%	6.9%	100%	

【世帯年収 単身のみ (n=239)】



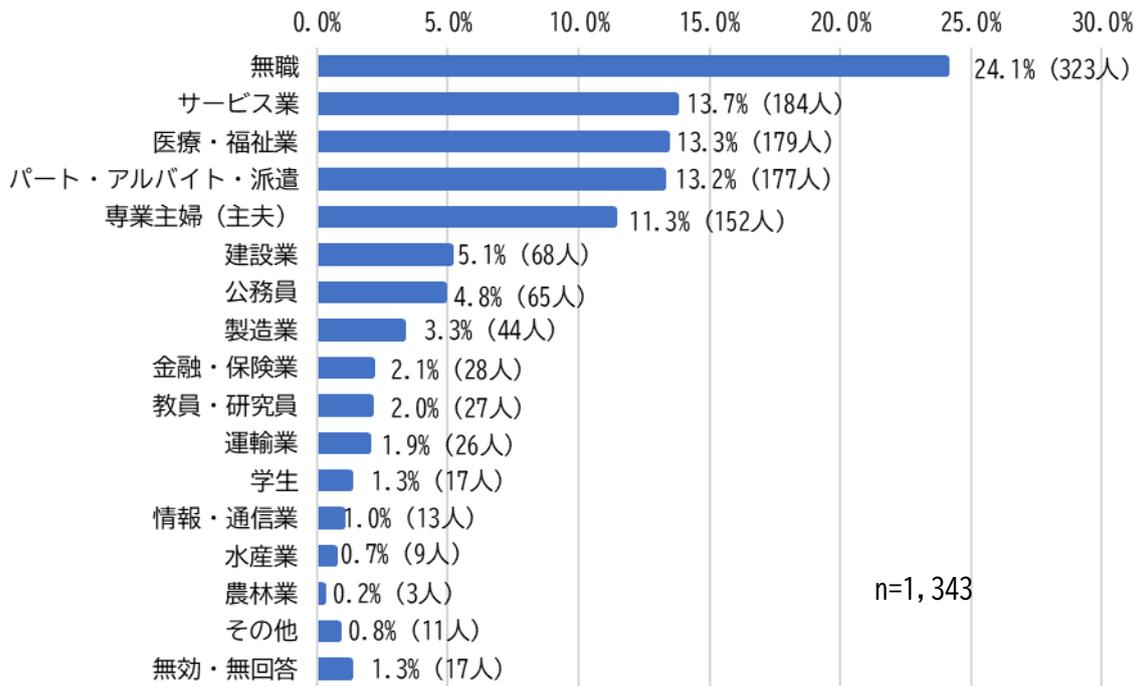
区分	年代	300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 700万円未満	700万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無効・ 無回答	合計
単身のみ 20歳以上	20代	11人	6人	2人	1人	1人	1人	22人
		50.0%	27.3%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	100%
	30代	14人	15人	3人	0人	0人	0人	32人
		43.8%	46.9%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	40代	11人	4人	6人	2人	0人	0人	23人
		47.8%	17.4%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%	100%
	50代	10人	13人	4人	4人	1人	0人	32人
		31.3%	40.6%	12.5%	12.5%	3.1%	0.0%	100%
	60代	33人	7人	1人	1人	1人	1人	44人
75.0%		15.9%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	100%	
70代	47人	4人	0人	0人	0人	2人	53人	
	88.7%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	100%	
80歳以上	29人	0人	1人	0人	0人	1人	31人	
	93.5%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	100%	
無効・ 無回答	2人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
20歳以上	157人	49人	17人	8人	3人	5人	239人	
	65.7%	20.5%	7.1%	3.3%	1.3%	2.1%	100%	

【世帯年収 単身以外 (n=1,104)】

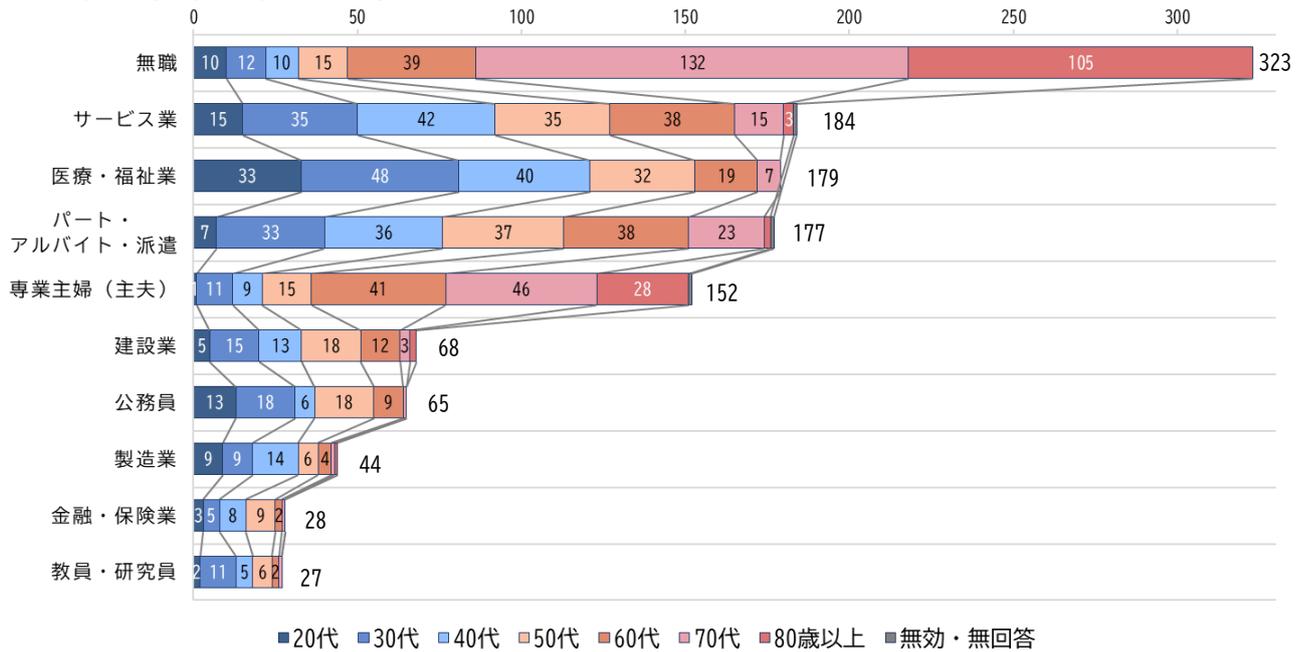


区分	年代	300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 700万円未満	700万円以上 1,000万円未満	1,000万円 以上	無効・ 無回答	合計
単身以外 20歳以上	20代	19人	30人	22人	18人	8人	3人	100人
		19.0%	30.0%	22.0%	18.0%	8.0%	3.0%	100%
	30代	38人	48人	56人	25人	6人	4人	177人
		21.5%	27.1%	31.6%	14.1%	3.4%	2.3%	100%
	40代	33人	49人	37人	27人	16人	11人	173人
		19.1%	28.3%	21.4%	15.6%	9.2%	6.4%	100%
	50代	38人	44人	24人	41人	19人	10人	176人
		21.6%	25.0%	13.6%	23.3%	10.8%	5.7%	100%
	60代	54人	65人	13人	14人	17人	12人	175人
		30.9%	37.1%	7.4%	8.0%	9.7%	6.9%	100%
70代	100人	51人	9人	3人	3人	19人	185人	
	54.1%	27.6%	4.9%	1.6%	1.6%	10.3%	100%	
80歳 以上	60人	22人	3人	1人	1人	27人	114人	
	52.6%	19.3%	2.6%	0.9%	0.9%	23.7%	100%	
無効・ 無回答	2人	1人	0人	0人	0人	1人	4人	
	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100%	
20歳以上	344人	310人	164人	129人	70人	87人	1,104人	
	31.2%	28.1%	14.9%	11.7%	6.3%	7.9%	100%	

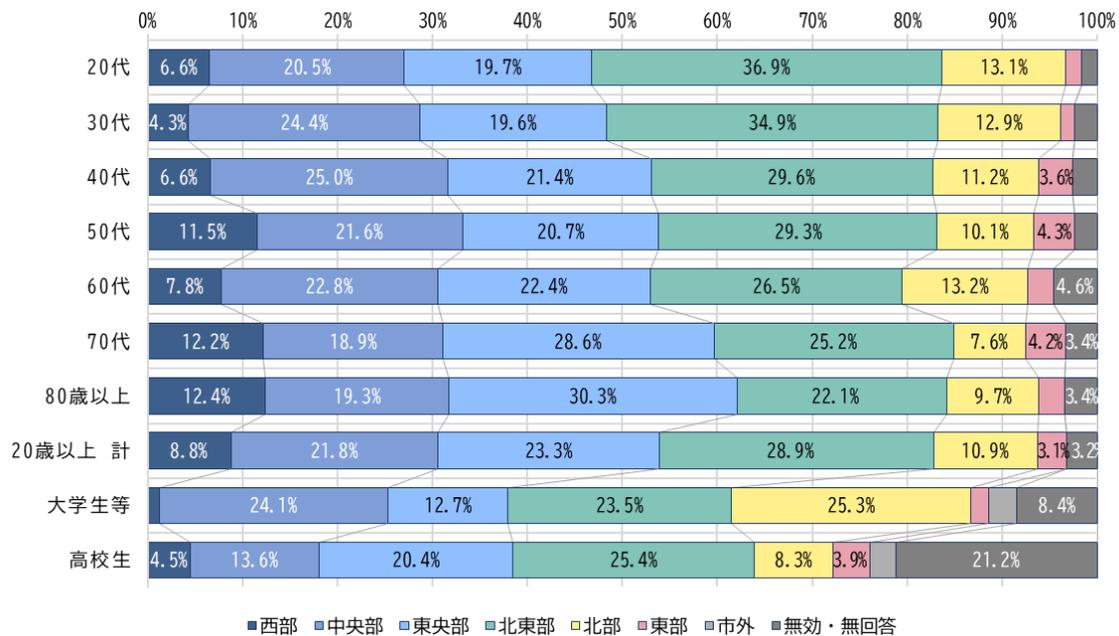
1-⑤ 20歳以上の回答者にかかる職業とその割合



上位10職業の年代別内訳（人）



1-⑥ 居住地

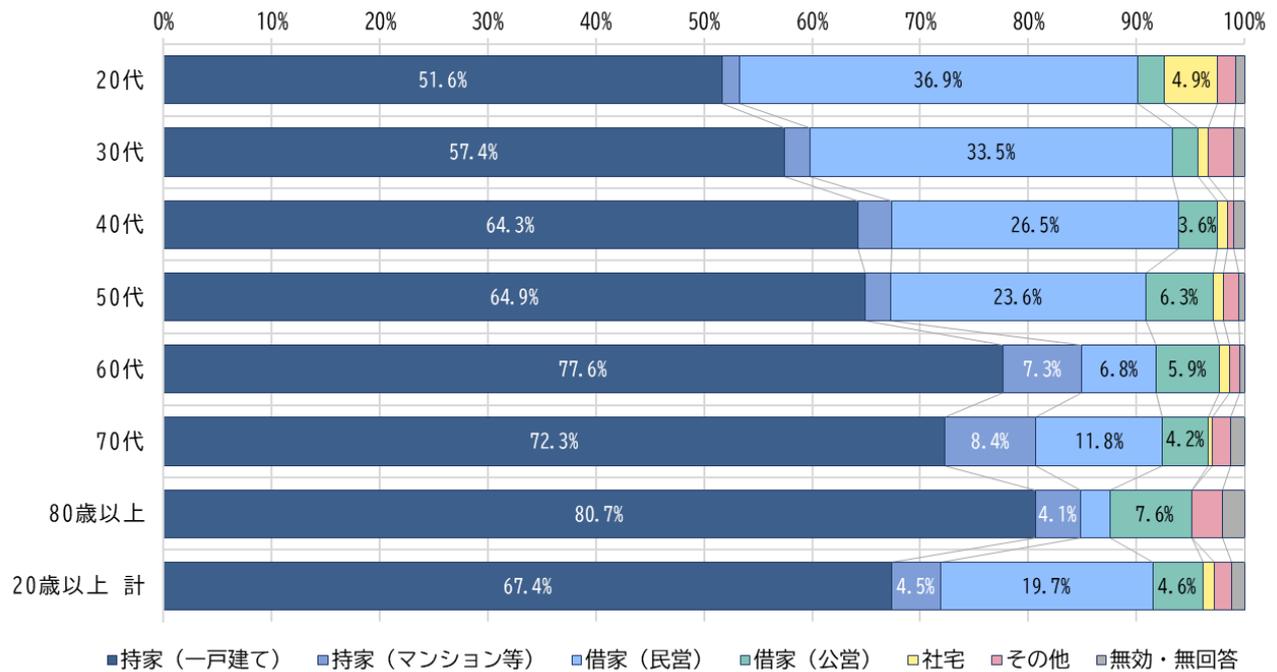


区分	年代	西部	中央部	東央部	北東部	北部	東部	市外	無効・無回答	合計
20歳以上	20代	8人 6.6%	25人 20.5%	24人 19.7%	45人 36.9%	16人 13.1%	2人 1.6%		2人 1.6%	122人 100%
	30代	9人 4.3%	51人 24.4%	41人 19.6%	73人 34.9%	27人 12.9%	3人 1.4%		5人 2.4%	209人 100%
	40代	13人 6.6%	49人 25.0%	42人 21.4%	58人 29.6%	22人 11.2%	7人 3.6%		5人 2.6%	196人 100%
	50代	24人 11.5%	45人 21.6%	43人 20.7%	61人 29.3%	21人 10.1%	9人 4.3%		5人 2.4%	208人 100%
	60代	17人 7.8%	50人 22.8%	49人 22.4%	58人 26.5%	29人 13.2%	6人 2.7%		10人 4.6%	219人 100%
	70代	29人 12.2%	45人 18.9%	68人 28.6%	60人 25.2%	18人 7.6%	10人 4.2%		8人 3.4%	238人 100%
	80歳以上	18人 12.4%	28人 19.3%	44人 30.3%	32人 22.1%	14人 9.7%	4人 2.8%		5人 3.4%	145人 100%
	無効・無回答	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 33.3%	1人 16.7%	0人 0.0%	0人 0.0%		3人 50.0%	6人 100%
	20歳以上計	118人 8.8%	293人 21.8%	313人 23.3%	388人 28.9%	147人 10.9%	41人 3.1%		43人 3.2%	1,343人 100%
大学生等	2人 1.2%	40人 24.1%	21人 12.7%	39人 23.5%	42人 25.3%	3人 1.8%	5人 3.0%	14人 8.4%	166人 100%	
高校生	41人 4.5%	125人 13.6%	188人 20.4%	234人 25.4%	76人 8.3%	36人 3.9%	25人 2.7%	195人 21.2%	920人 100%	

1-⑦ 居住年数

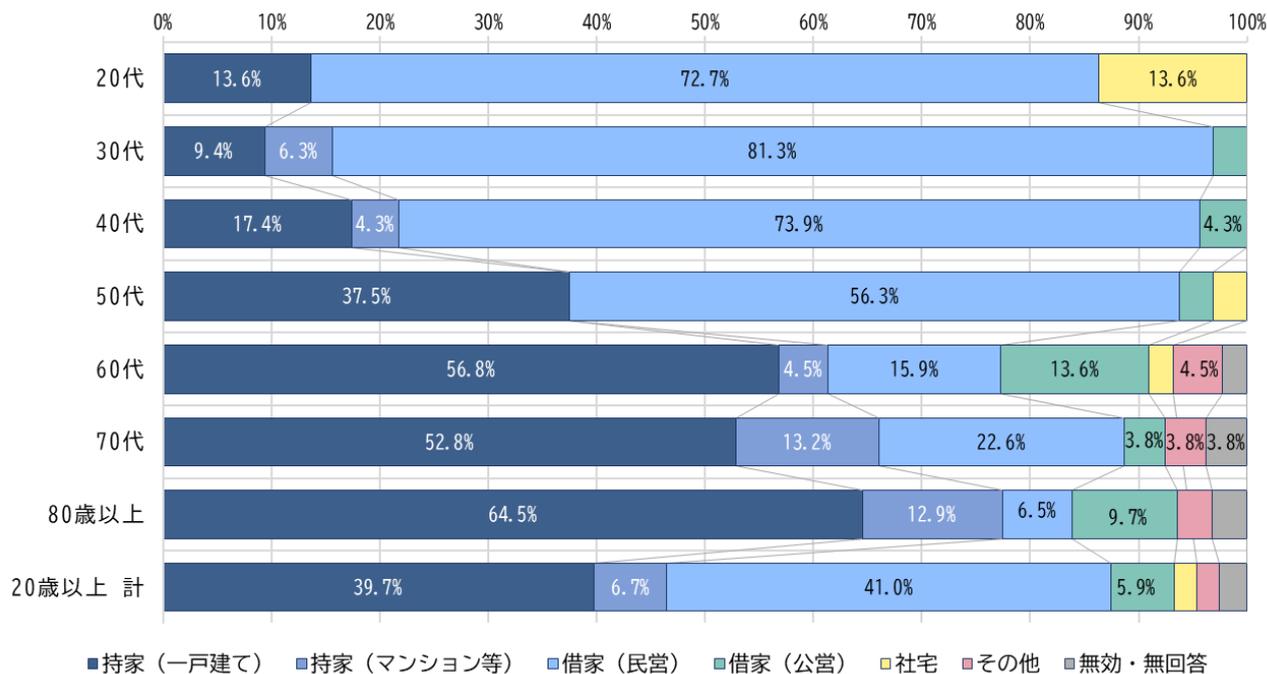
区分	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無効・無回答	合計
20歳以上	17人 1.3%	58人 4.3%	59人 4.4%	1,205人 89.7%	4人 0.3%	1,343人 100%
	48人 28.9%	68人 41.0%	14人 8.4%	36人 21.7%	0人 0.0%	166人 100%
高校生	107人 11.6%	94人 10.2%	67人 7.3%	652人 70.9%	0人 0.0%	920人 100%

1-⑧ 20歳以上の回答者の住宅形態



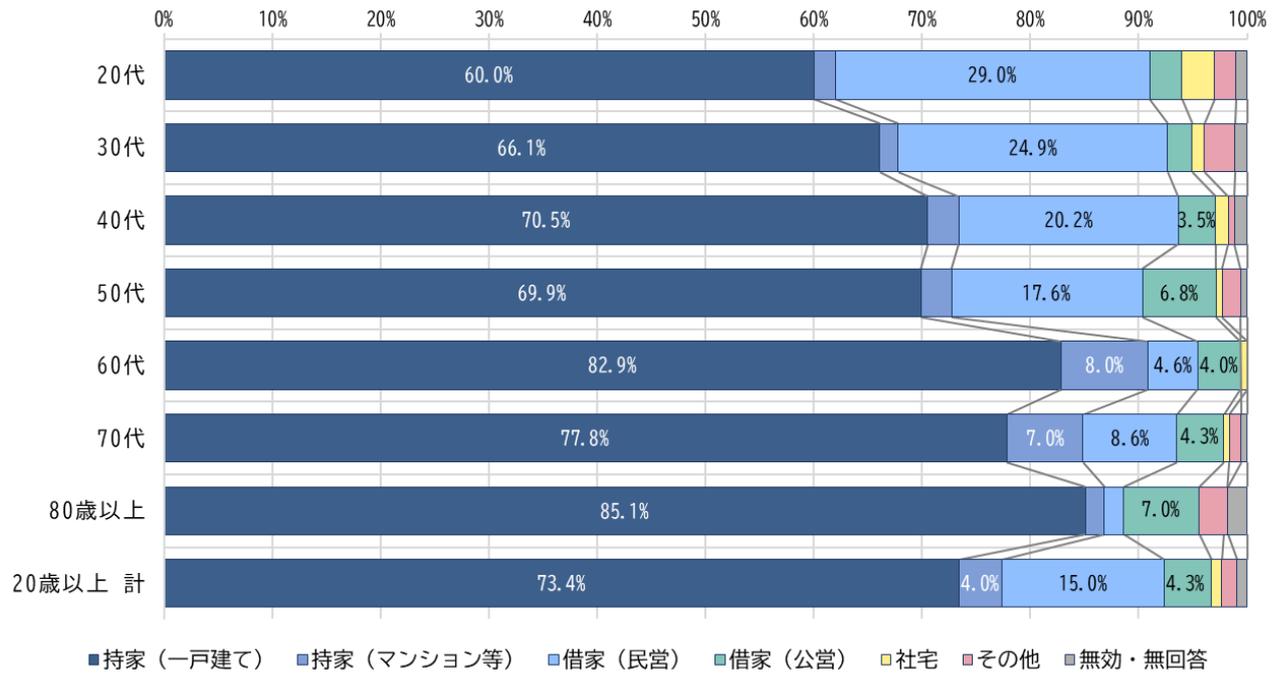
区分	年代	持家 (一戸建て)	持家 (マンション等)	借家 (民営)	借家 (公営)	社宅	その他	無効・ 無回答	合計
20歳以上	20代	63人	2人	45人	3人	6人	2人	1人	122人
		51.6%	1.6%	36.9%	2.5%	4.9%	1.6%	0.8%	100%
	30代	120人	5人	70人	5人	2人	5人	2人	209人
		57.4%	2.4%	33.5%	2.4%	1.0%	2.4%	1.0%	100%
	40代	126人	6人	52人	7人	2人	1人	2人	196人
		64.3%	3.1%	26.5%	3.6%	1.0%	0.5%	1.0%	100%
	50代	135人	5人	49人	13人	2人	3人	1人	208人
		64.9%	2.4%	23.6%	6.3%	1.0%	1.4%	0.5%	100%
	60代	170人	16人	15人	13人	2人	2人	1人	219人
		77.6%	7.3%	6.8%	5.9%	0.9%	0.9%	0.5%	100%
70代	172人	20人	28人	10人	1人	4人	3人	238人	
	72.3%	8.4%	11.8%	4.2%	0.4%	1.7%	1.3%	100%	
80歳 以上	117人	6人	4人	11人	0人	4人	3人	145人	
	80.7%	4.1%	2.8%	7.6%	0.0%	2.8%	2.1%	100%	
無効・ 無回答	2人	0人	1人	0人	0人	0人	3人	6人	
	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%	
20歳 以上	905人	60人	264人	62人	15人	21人	16人	1,343人	
	67.4%	4.5%	19.7%	4.6%	1.1%	1.6%	1.2%	100%	

【20歳以上の回答者の住宅形態 単身のみ (n=239)】



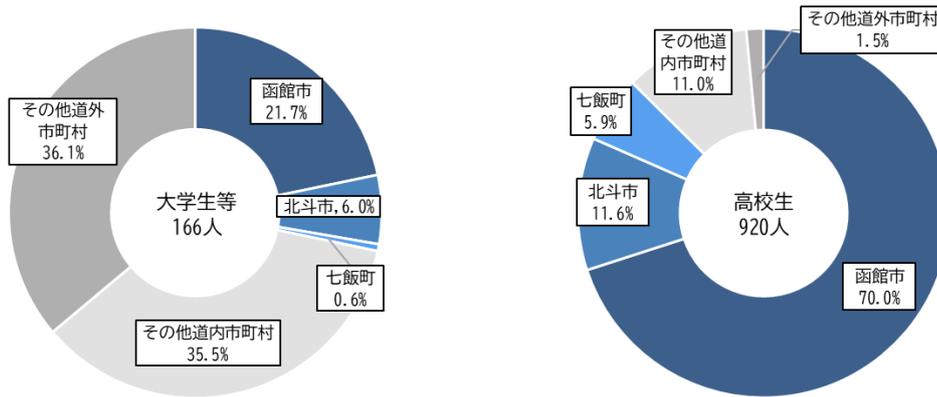
区分	年代	持家 (一戸建て)	持家 (マンション等)	借家 (民営)	借家 (公営)	社宅	その他	無効・ 無回答	合計
単身のみ 20歳以上	20代	3人	0人	16人	0人	3人	0人	0人	22人
		13.6%	0.0%	72.7%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	100%
	30代	3人	2人	26人	1人	0人	0人	0人	32人
		9.4%	6.3%	81.3%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	40代	4人	1人	17人	1人	0人	0人	0人	23人
		17.4%	4.3%	73.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	50代	12人	0人	18人	1人	1人	0人	0人	32人
		37.5%	0.0%	56.3%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	100%
	60代	25人	2人	7人	6人	1人	2人	1人	44人
		56.8%	4.5%	15.9%	13.6%	2.3%	4.5%	2.3%	100%
70代	28人	7人	12人	2人	0人	2人	2人	53人	
	52.8%	13.2%	22.6%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	100%	
80歳 以上	20人	4人	2人	3人	0人	1人	1人	31人	
	64.5%	12.9%	6.5%	9.7%	0.0%	3.2%	3.2%	100%	
無効・ 無回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	2人	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100%	
20歳 以上	95人	16人	98人	14人	5人	5人	6人	239人	
	39.7%	6.7%	41.0%	5.9%	2.1%	2.1%	2.5%	100%	

【20歳以上の回答者の住宅形態 単身以外 (n=1,104)】



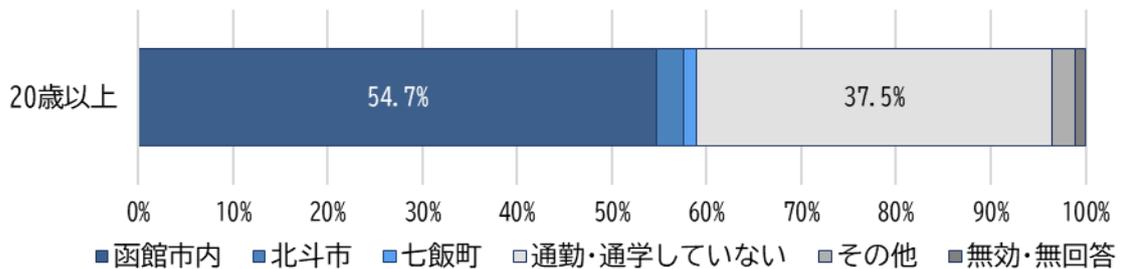
区分	年代	持家 (一戸建て)	持家 (マンション等)	借家 (民営)	借家 (公営)	社宅	その他	無効・ 無回答	合計
単身以外 20歳以上	20代	60人	2人	29人	3人	3人	2人	1人	100人
		60.0%	2.0%	29.0%	3.0%	3.0%	2.0%	1.0%	100%
	30代	117人	3人	44人	4人	2人	5人	2人	177人
		66.1%	1.7%	24.9%	2.3%	1.1%	2.8%	1.1%	100%
	40代	122人	5人	35人	6人	2人	1人	2人	173人
		70.5%	2.9%	20.2%	3.5%	1.2%	0.6%	1.2%	100%
	50代	123人	5人	31人	12人	1人	3人	1人	176人
		69.9%	2.8%	17.6%	6.8%	0.6%	1.7%	0.6%	100%
	60代	145人	14人	8人	7人	1人	0人	0人	175人
		82.9%	8.0%	4.6%	4.0%	0.6%	0.0%	0.0%	100%
70代	144人	13人	16人	8人	1人	2人	1人	185人	
	77.8%	7.0%	8.6%	4.3%	0.5%	1.1%	0.5%	100%	
80歳 以上	97人	2人	2人	8人	0人	3人	2人	114人	
	85.1%	1.8%	1.8%	7.0%	0.0%	2.6%	1.8%	100%	
無効・ 無回答	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	4人
	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100%
20歳 以上	810人	44人	166人	48人	10人	16人	10人	1,104人	
	73.4%	4.0%	15.0%	4.3%	0.9%	1.4%	0.9%	100%	

1-9 入学前の居住地（大学生等，高校生のみ回答）



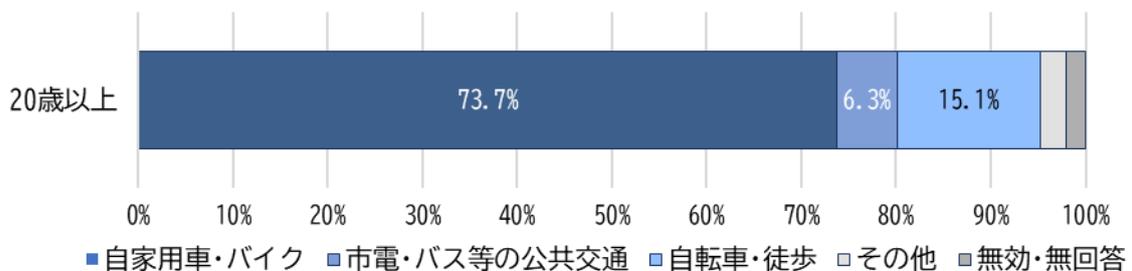
区分	函館市	北斗市	七飯町	その他 道内市町村	その他 道外市町村	無効・ 無回答	合計
大学生等	36人 21.7%	10人 6.0%	1人 0.6%	59人 35.5%	60人 36.1%	0人 0.0%	166人 100%
高校生	644人 70.0%	107人 11.6%	54人 5.9%	101人 11.0%	14人 1.5%	0人 0.0%	920人 100%

1-10 20歳以上の回答者の通勤・通学地



区分	函館市内	北斗市	七飯町	通勤・通学 していない	その他	無効・ 無回答	合計
20歳以上	734人 54.7%	39人 2.9%	18人 1.3%	504人 37.5%	33人 2.5%	15人 1.1%	1,343人 100%

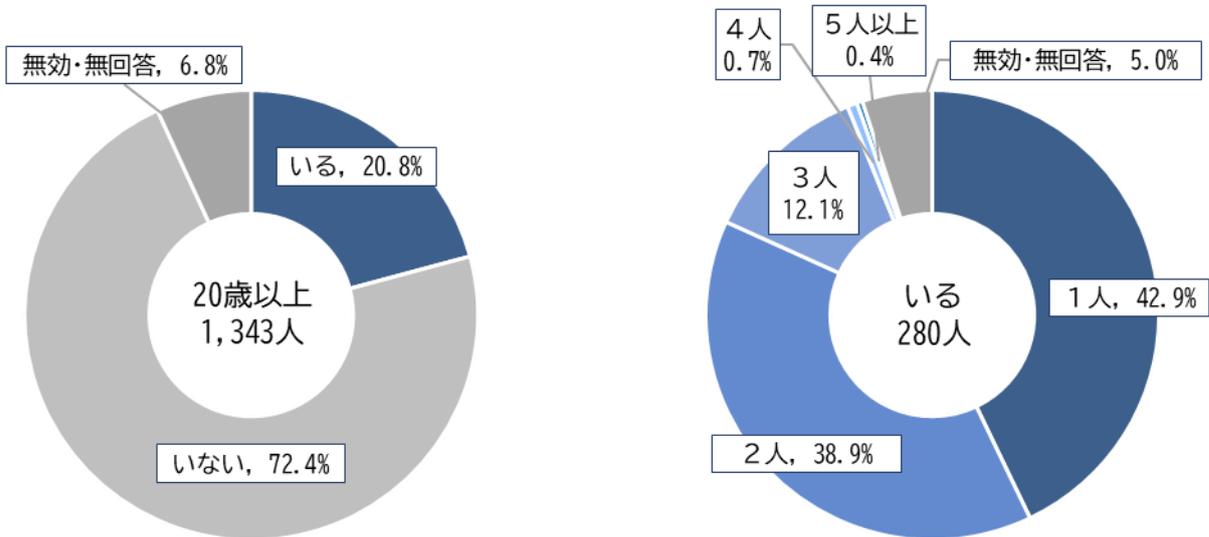
1-11 20歳以上の回答者の通勤・通学手段（※1-10で「通勤・通学していない」を除く n=839）



区分	自家用車・バイク	市電・バス等 の公共交通	自転車・徒歩	その他	無効・無回答	合計
20歳以上	618人 73.7%	53人 6.3%	127人 15.1%	23人 2.7%	18人 2.1%	839人 100%

## 2 出産・子育てに対する考え方

### 2-① 養育中の子どもの有無およびその数（20歳以上のみ回答）

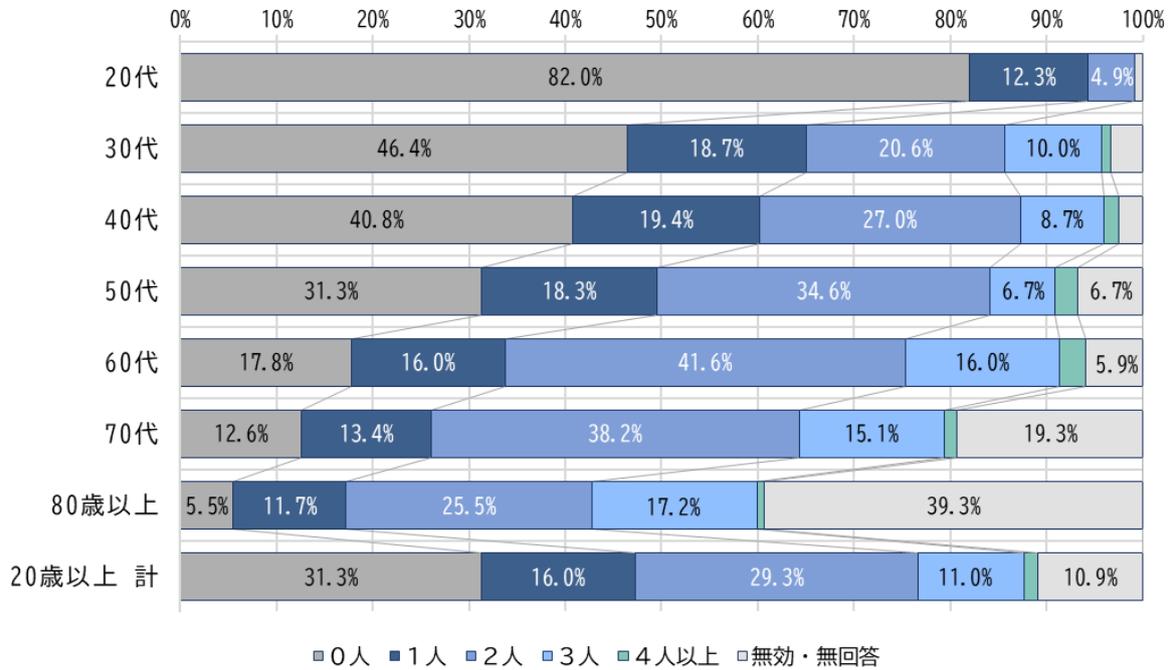


区分	養育中の子どもの有無	養育中の子どもがいる場合の数	回答数	割合
20歳以上	いる (280人, 20.8%)	1人	120人	42.9%
		2人	109人	38.9%
		3人	34人	12.1%
		4人	2人	0.7%
		5人以上	1人	0.4%
		無効・無回答	14人	5.0%
	いない (972人, 72.4%)			
無効・無回答 (91人, 6.8%)				

2-② 現在の子どもの数, 理想的な子どもの数 (現在の子どもの数については20歳以上のみ回答)

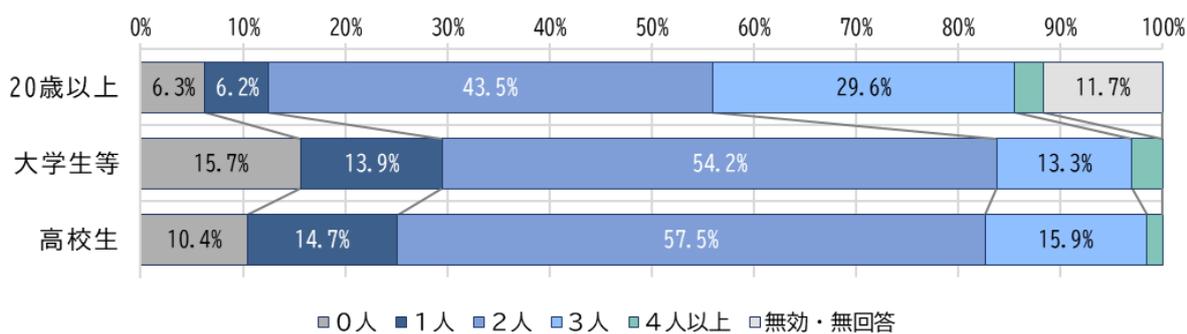
あなたにとって、現在の子どもの数、理想的な子どもの数は何人ですか。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【現在の子どもの数】



年代	0人	1人	2人	3人	4人以上	無効・無回答	合計
20代	100人	15人	6人	0人	0人	1人	122人
	82.0%	12.3%	4.9%	0.0%	0.0%	0.8%	100%
30代	97人	39人	43人	21人	2人	7人	209人
	46.4%	18.7%	20.6%	10.0%	1.0%	3.3%	100%
40代	80人	38人	53人	17人	3人	5人	196人
	40.8%	19.4%	27.0%	8.7%	1.5%	2.6%	100%
50代	65人	38人	72人	14人	5人	14人	208人
	31.3%	18.3%	34.6%	6.7%	2.4%	6.7%	100%
60代	39人	35人	91人	35人	6人	13人	219人
	17.8%	16.0%	41.6%	16.0%	2.7%	5.9%	100%
70代	30人	32人	91人	36人	3人	46人	238人
	12.6%	13.4%	38.2%	15.1%	1.3%	19.3%	100%
80歳以上	8人	17人	37人	25人	1人	57人	145人
	5.5%	11.7%	25.5%	17.2%	0.7%	39.3%	100%
無効・無回答	1人	1人	1人	0人	0人	3人	6人
	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
20歳以上	420人	215人	394人	148人	20人	146人	1,343人
	31.3%	16.0%	29.3%	11.0%	1.5%	10.9%	100%

【理想的な子どもの数】



区分	0人	1人	2人	3人	4人以上	無効・無回答	合計
20歳以上	85人	83人	584人	397人	37人	157人	1,343人
	6.3%	6.2%	43.5%	29.6%	2.8%	11.7%	100%
大学生等	26人	23人	90人	22人	5人	0人	166人
	15.7%	13.9%	54.2%	13.3%	3.0%	0.0%	100%
高校生	96人	135人	529人	146人	14人	0人	920人
	10.4%	14.7%	57.5%	15.9%	1.5%	0.0%	100%

「理想的な子どもの数」は、すべての区分で「2人」と回答した割合が最も高くなっています。次に20歳以上と高校生では「3人」、大学生等では「0人」が高くなっています。

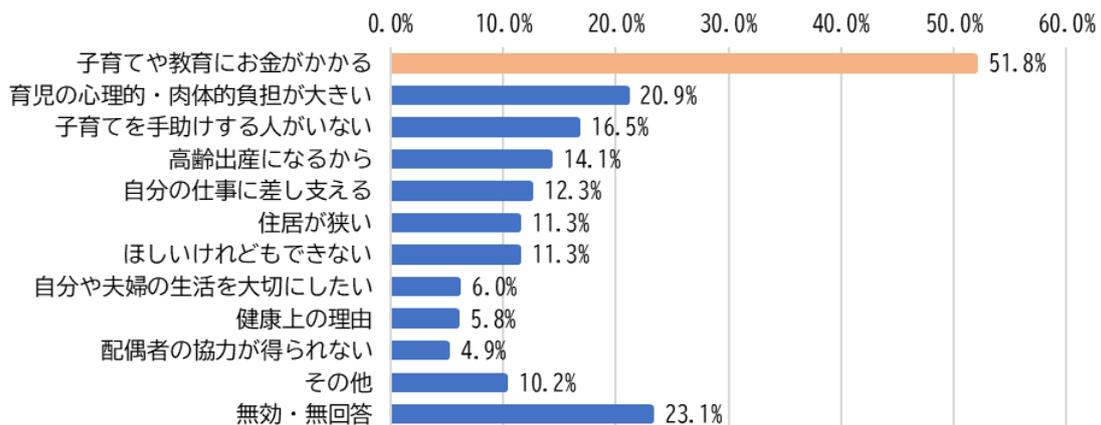
2-③ 「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由、または「理想的な子どもの数」が0人である理由（20歳以上のみ回答）

「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか。

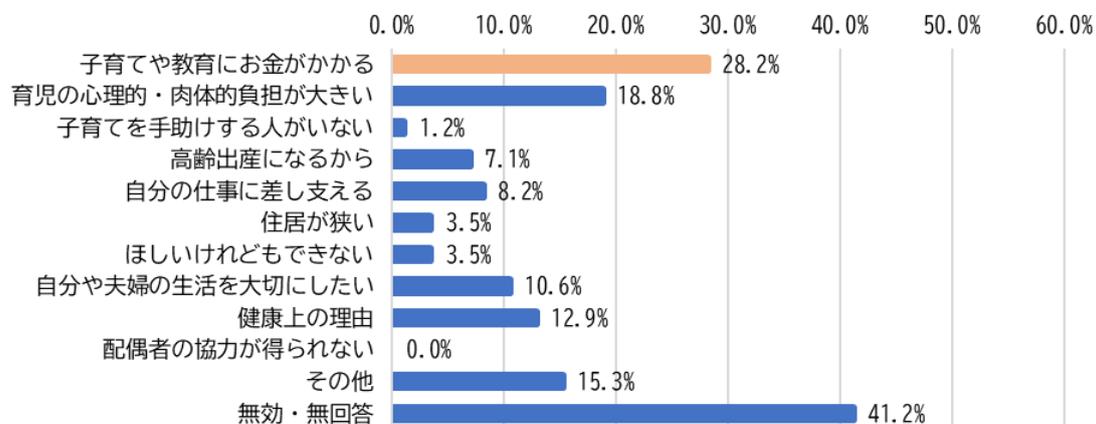
あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

（回答対象者：2-②で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い人または「理想的な子どもの数」が0人の人）

【「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い人(n=689)】



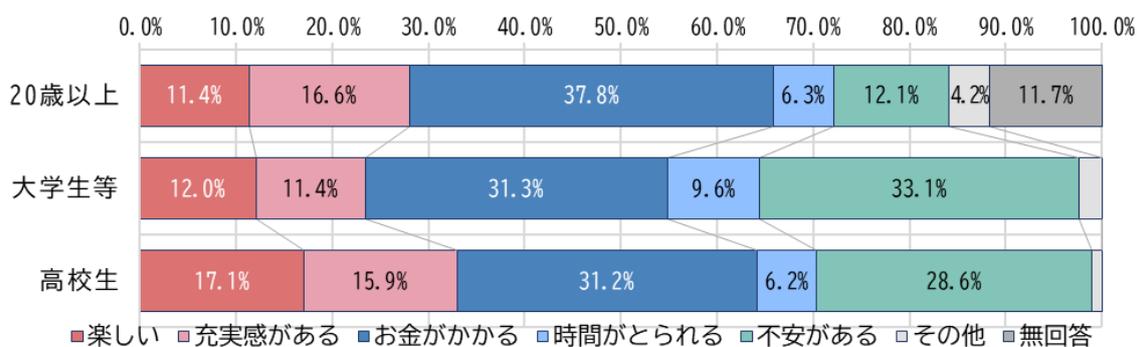
【「理想的な子どもの数」が0人の人(n=85)】



「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い人では、「子育てや教育にお金がかかる」が51.8%と最も高くなっています。「理想的な子どもの数」が0人の人でも、「子育てや教育にお金がかかる」が28.2%と、無効・無回答を除き最も高くなっていますが、前者と比べると20ポイント以上低くなっています。

## 2-④ 子育てに対するイメージ

子育てについてどのようなイメージを持っていますか。あてはまる番号を、1つ選んで○をつけてください。



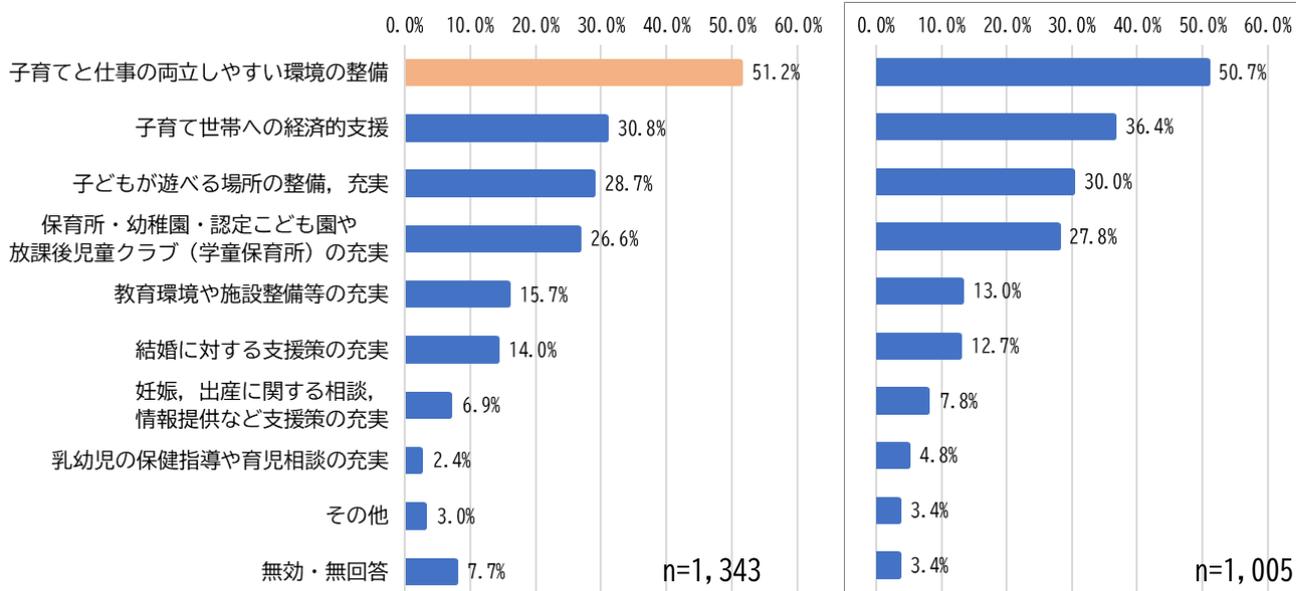
区分	楽しい	充実感がある	お金がかかる	時間がとられる	不安がある	その他	無効・無回答	合計
20歳以上	153人	223人	508人	84人	162人	56人	157人	1,343人
	11.4%	16.6%	37.8%	6.3%	12.1%	4.2%	11.7%	100%
大学生等	20人	19人	52人	16人	55人	4人	0人	166人
	12.0%	11.4%	31.3%	9.6%	33.1%	2.4%	0.0%	100%
高校生	157人	146人	287人	57人	263人	10人	0人	920人
	17.1%	15.9%	31.2%	6.2%	28.6%	1.1%	0.0%	100%

どの区分でも「お金がかかる」と回答した割合が3割以上と高くなっています。大学生等や高校生では「不安がある」と回答した割合も約3割と高くなっています。

2-⑤ 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと（20歳以上のみ回答）

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

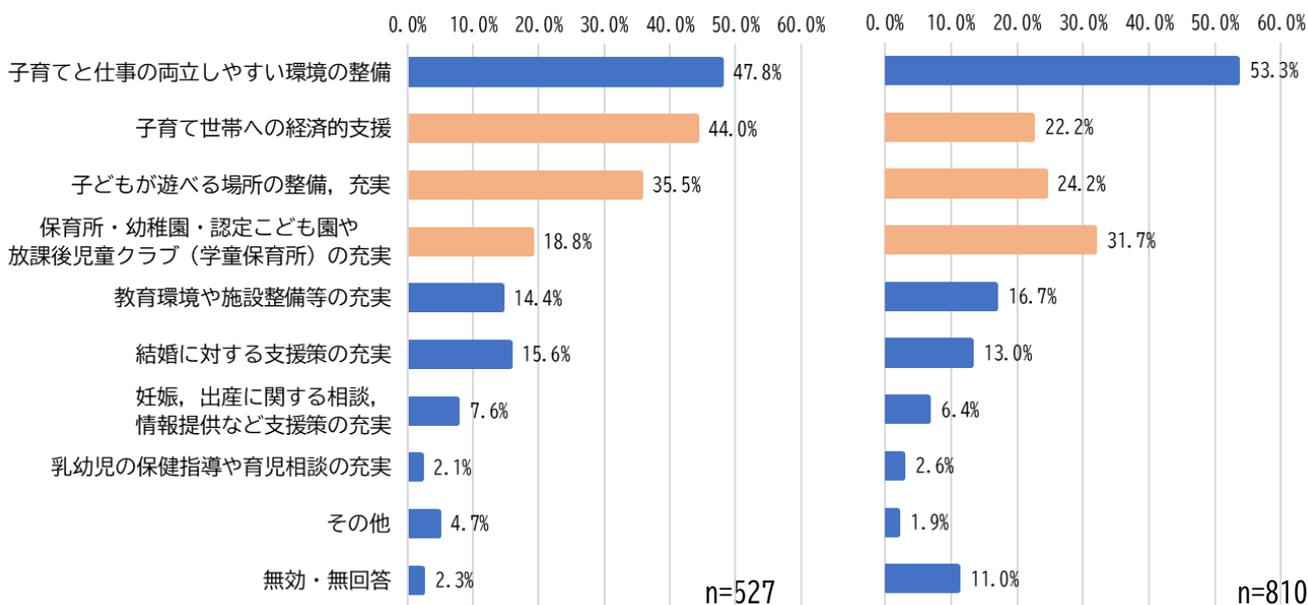
(参考) 前回(令和元年度)調査



【年代別】

20~40代

50歳以上



「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が51.2%と最も高く、次に「子育て世帯への経済的支援」が30.8%、「子どもが遊べる場所の整備, 充実」が28.7%と続いています。

年代別では、「子育て世帯への経済的支援」や「子どもが遊べる場所の整備, 充実」を選択する割合が20~40代で高く、50歳以上が低くなっており、それに対して「保育所・幼稚園・認定こども園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実」については、20~40代で低く、50歳以上で高くなっているなど、世代間で差が生じています。

【「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い人(n=689人)が思っている、安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと。(男女別、年代別)】

《男性》

年代	子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	子育て世帯への経済的支援	子どもが遊べる場所の整備, 充実	保育所・幼稚園・認定こども園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	教育環境や施設整備等の充実	結婚に対する支援策の充実	妊娠, 出産に関する相談, 情報提供など支援策の充実	乳幼児の保健指導や育児相談の充実	その他	n
20代	13人 36.1%	15人 41.7%	12人 33.3%	12人 33.3%	2人 5.6%	10人 27.8%	4人 11.1%	0人 0.0%	1人 2.8%	36人
30代	31人 46.3%	35人 52.2%	24人 35.8%	9人 13.4%	11人 16.4%	15人 22.4%	4人 6.0%	0人 0.0%	5人 7.5%	67人
40代	26人 52.0%	13人 26.0%	16人 32.0%	11人 22.0%	10人 20.0%	12人 24.0%	7人 14.0%	3人 6.0%	0人 0.0%	50人
50代	22人 44.9%	14人 28.6%	14人 28.6%	13人 26.5%	12人 24.5%	10人 20.4%	5人 10.2%	0人 0.0%	1人 2.0%	49人
60代	28人 59.6%	16人 34.0%	15人 31.9%	12人 25.5%	8人 17.0%	6人 12.8%	1人 2.1%	2人 4.3%	0人 0.0%	47人
70代	30人 53.6%	24人 42.9%	13人 23.2%	25人 44.6%	3人 5.4%	12人 21.4%	3人 5.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	56人
80歳以上	13人 76.5%	5人 29.4%	1人 5.9%	5人 29.4%	6人 35.3%	2人 11.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人
20歳以上	163人 50.6%	122人 37.9%	95人 29.5%	87人 27.0%	52人 16.1%	67人 20.8%	24人 7.5%	5人 1.6%	7人 2.2%	322人

《女性》

年代	子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	子育て世帯への経済的支援	子どもが遊べる場所の整備, 充実	保育所・幼稚園・認定こども園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	教育環境や施設整備等の充実	結婚に対する支援策の充実	妊娠, 出産に関する相談, 情報提供など支援策の充実	乳幼児の保健指導や育児相談の充実	その他	n
20代	31人 47.0%	34人 51.5%	24人 36.4%	13人 19.7%	4人 6.1%	10人 15.2%	7人 10.6%	1人 1.5%	2人 3.0%	66人
30代	28人 40.0%	34人 48.6%	29人 41.4%	11人 15.7%	14人 20.0%	10人 14.3%	4人 5.7%	3人 4.3%	1人 1.4%	70人
40代	38人 58.5%	22人 33.8%	19人 29.2%	16人 24.6%	12人 18.5%	5人 7.7%	5人 7.7%	1人 1.5%	1人 1.5%	65人
50代	25人 45.5%	12人 21.8%	19人 34.5%	17人 30.9%	13人 23.6%	3人 5.5%	4人 7.3%	6人 10.9%	2人 3.6%	55人
60代	34人 68.0%	5人 10.0%	19人 38.0%	17人 34.0%	12人 24.0%	4人 8.0%	2人 4.0%	2人 4.0%	0人 0.0%	50人
70代	23人 60.5%	9人 23.7%	2人 5.3%	19人 50.0%	5人 13.2%	4人 10.5%	4人 10.5%	2人 5.3%	1人 2.6%	38人
80歳以上	19人 82.6%	3人 13.0%	4人 17.4%	9人 39.1%	1人 4.3%	3人 13.0%	4人 17.4%	0人 0.0%	1人 4.3%	23人
20歳以上	198人 54.0%	119人 32.4%	116人 31.6%	102人 27.8%	61人 16.6%	39人 10.6%	30人 8.2%	15人 4.1%	8人 2.2%	367人

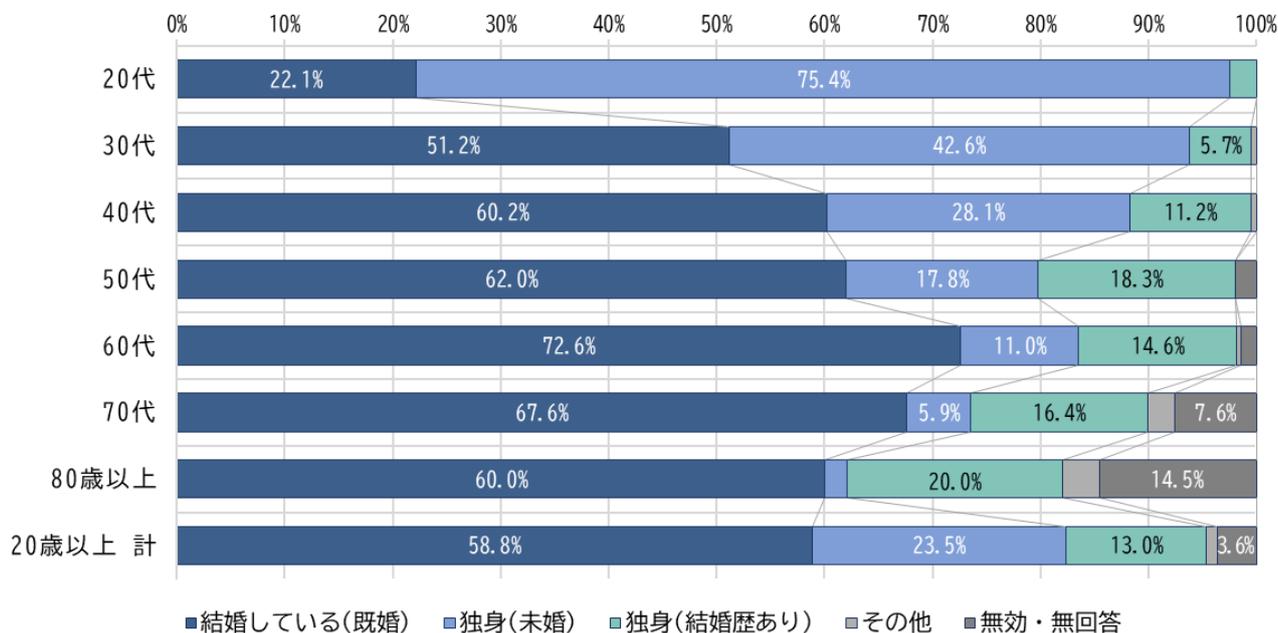
男女ともに20代と30代は「子育て世帯への経済的支援」が最も高くなっており、40代以降は「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高くなっています。

また、「結婚に対する支援策の充実」を選択する割合は、女性に比べて男性が高くなっています。

### 3 結婚に対する考え方

#### 3-① 現在結婚しているか（20歳以上のみ回答）

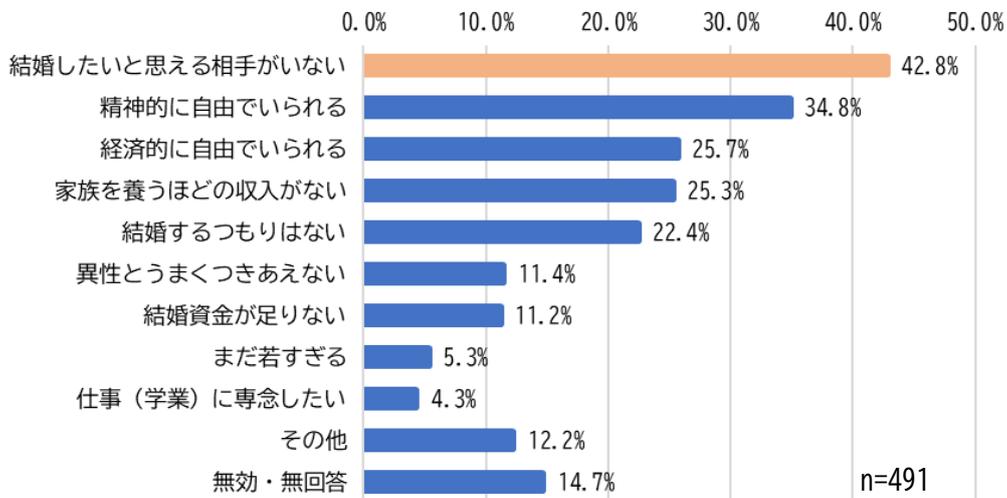
あなたは、現在結婚していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



年代	結婚している (既婚)	独身 (未婚)	独身 (結婚歴あり)	その他	無効・ 無回答	合計
20代	27人	92人	3人	0人	0人	122人
	22.1%	75.4%	2.5%	0.0%	0.0%	100%
30代	107人	89人	12人	1人	0人	209人
	51.2%	42.6%	5.7%	0.5%	0.0%	100%
40代	118人	55人	22人	1人	0人	196人
	60.2%	28.1%	11.2%	0.5%	0.0%	100%
50代	129人	37人	38人	0人	4人	208人
	62.0%	17.8%	18.3%	0.0%	1.9%	100%
60代	159人	24人	32人	1人	3人	219人
	72.6%	11.0%	14.6%	0.5%	1.4%	100%
70代	161人	14人	39人	6人	18人	238人
	67.6%	5.9%	16.4%	2.5%	7.6%	100%
80歳 以上	87人	3人	29人	5人	21人	145人
	60.0%	2.1%	20.0%	3.4%	14.5%	100%
無効・ 無回答	2人	2人	0人	0人	2人	6人
	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	100%
20歳以上	790人	316人	175人	14人	48人	1,343人
	58.8%	23.5%	13.0%	1.0%	3.6%	100%

### 3-② 結婚をしていない理由（20歳以上のみ回答）

結婚をしていない理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。（回答対象者：3-①で「独身(未婚)」,「独身(結婚歴あり)」を選択した人）（複数回答）



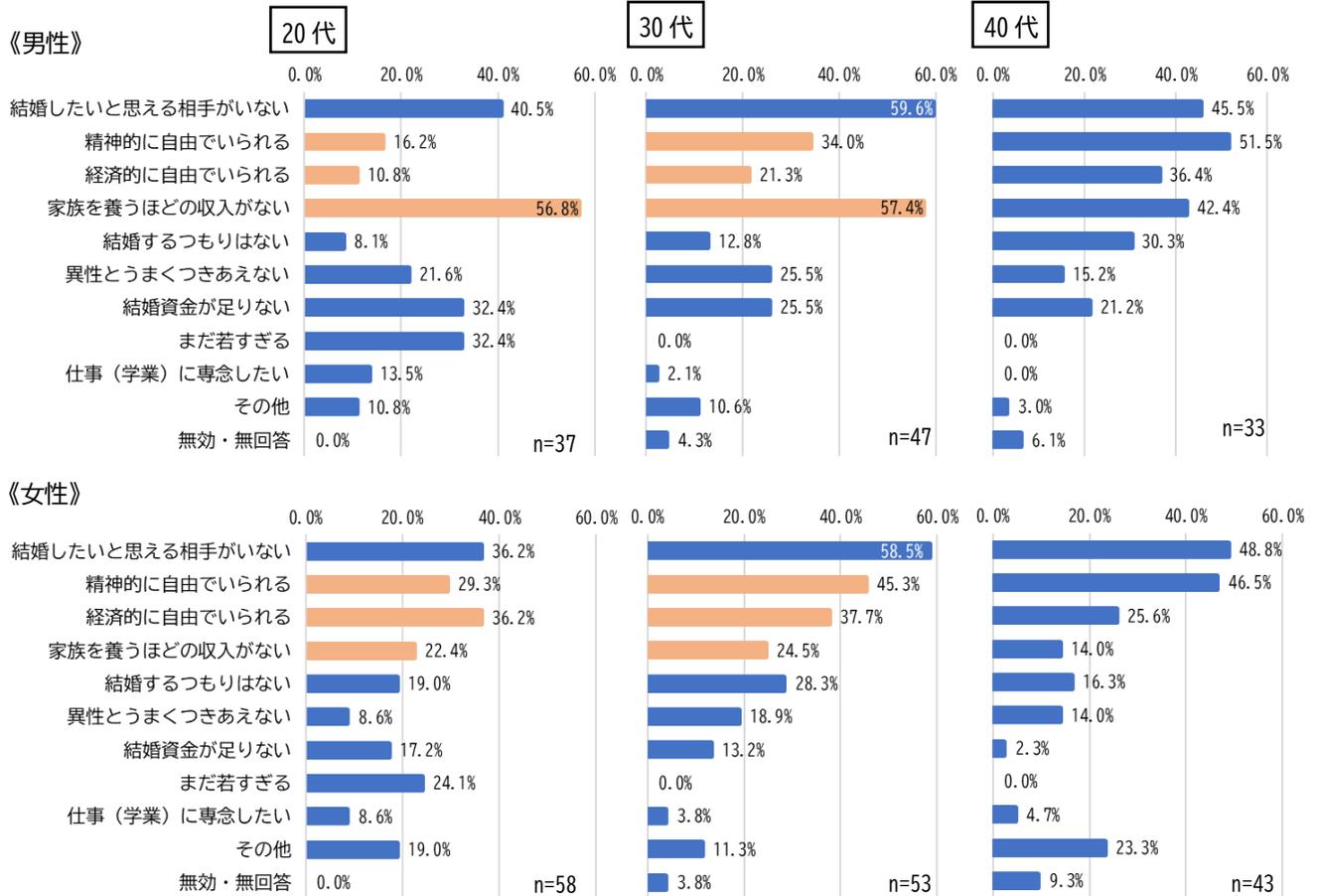
年代	結婚したいと思える相手がいない	精神的に自由でいられる	経済的に自由でいられる	家族を養うほどの収入がない	結婚するつもりはない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	まだ若すぎる	仕事(学業)に専念したい	その他	無効・無回答	n
20代	36人 37.9%	23人 24.2%	25人 26.3%	34人 35.8%	14人 14.7%	13人 13.7%	22人 23.2%	26人 27.4%	10人 10.5%	15人 15.8%	0人 0.0%	95人
30代	60人 59.4%	41人 40.6%	31人 30.7%	40人 39.6%	21人 20.8%	22人 21.8%	19人 18.8%	0人 0.0%	3人 3.0%	11人 10.9%	4人 4.0%	101人
40代	37人 48.1%	37人 48.1%	24人 31.2%	20人 26.0%	17人 22.1%	12人 15.6%	8人 10.4%	0人 0.0%	2人 2.6%	11人 14.3%	6人 7.8%	77人
50代	40人 53.3%	31人 41.3%	18人 24.0%	11人 14.7%	22人 29.3%	5人 6.7%	4人 5.3%	0人 0.0%	4人 5.3%	9人 12.0%	8人 10.7%	75人
60代	25人 44.6%	19人 33.9%	17人 30.4%	11人 19.6%	13人 23.2%	3人 5.4%	1人 1.8%	0人 0.0%	1人 1.8%	6人 10.7%	10人 17.9%	56人
70代	9人 17.0%	14人 26.4%	7人 13.2%	7人 13.2%	18人 34.0%	1人 1.9%	1人 1.9%	0人 0.0%	1人 1.9%	5人 9.4%	21人 39.6%	53人
80歳以上	2人 6.3%	5人 15.6%	3人 9.4%	1人 3.1%	5人 15.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 9.4%	22人 68.8%	32人
無効・無回答	1人 50.0%	1人 50.0%	1人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 50.0%	2人
20歳以上	210人 42.8%	171人 34.8%	126人 25.7%	124人 25.3%	110人 22.4%	56人 11.4%	55人 11.2%	26人 5.3%	21人 4.3%	60人 12.2%	72人 14.7%	491人

「結婚したいと思える相手がいない」が42.8%と最も高く、次に「精神的に自由でいられる」が34.8%となっています。

年代別で見ると、「結婚したいと思える相手がいない」と回答する割合は、20代より30代以上の方が高く、20代と30代の若い世代で「家族を養うほどの収入がない」と回答する割合がそれぞれ35.8%、39.6%と高くなっています。

「その他」の内容としては「出会いがない」、「親の介護をしている」、「メリットを感じない」等が挙げられています。

【20～40代 男女別 年代別】

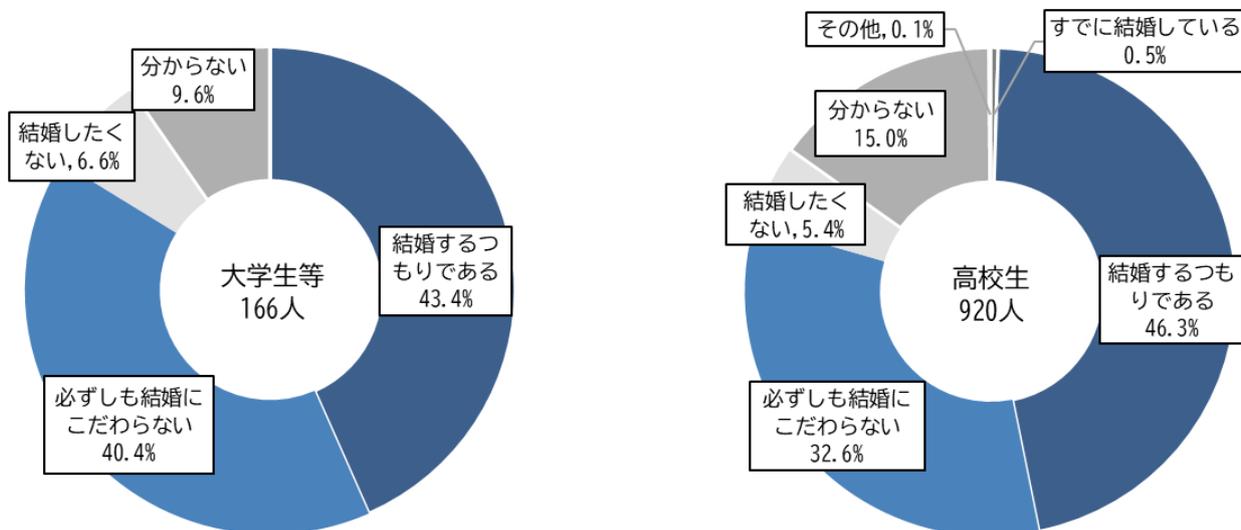


年代	結婚したいと思える相手がない	精神的に自由でいられる	経済的に自由でいられる	家族を養うほどの収入がない	結婚するつもりはない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	まだ若すぎる	仕事(学業)に専念したい	その他	無効・無回答	n
20代 男性	15人 40.5%	6人 16.2%	4人 10.8%	21人 56.8%	3人 8.1%	8人 21.6%	12人 32.4%	12人 32.4%	5人 13.5%	4人 10.8%	0人 0.0%	37人
20代 女性	21人 36.2%	17人 29.3%	21人 36.2%	13人 22.4%	11人 19.0%	5人 8.6%	10人 17.2%	14人 24.1%	5人 8.6%	11人 19.0%	0人 0.0%	58人
30代 男性	28人 59.6%	16人 34.0%	10人 21.3%	27人 57.4%	6人 12.8%	12人 25.5%	12人 25.5%	0人 0.0%	1人 2.1%	5人 10.6%	2人 4.3%	47人
30代 女性	31人 58.5%	24人 45.3%	20人 37.7%	13人 24.5%	15人 28.3%	10人 18.9%	7人 13.2%	0人 0.0%	2人 3.8%	6人 11.3%	2人 3.8%	53人
40代 男性	15人 45.5%	17人 51.5%	12人 36.4%	14人 42.4%	10人 30.3%	5人 15.2%	7人 21.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 3.0%	2人 6.1%	33人
40代 女性	21人 48.8%	20人 46.5%	11人 25.6%	6人 14.0%	7人 16.3%	6人 14.0%	1人 2.3%	0人 0.0%	2人 4.7%	10人 23.3%	4人 9.3%	43人
合計	131人 48.3%	100人 36.9%	78人 28.8%	94人 34.7%	52人 19.2%	46人 17.0%	49人 18.1%	26人 9.6%	15人 5.5%	37人 13.7%	10人 3.7%	271人

20代と30代の男性は同年代の女性と比べると、「家族を養うほどの収入がない」と回答した割合が高く、「精神的に自由でいられる」、「経済的に自由でいられる」と回答した割合は低くなっています。

### 3-③ 将来の結婚について（大学生等，高校生のみ回答）

将来の結婚について、どのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



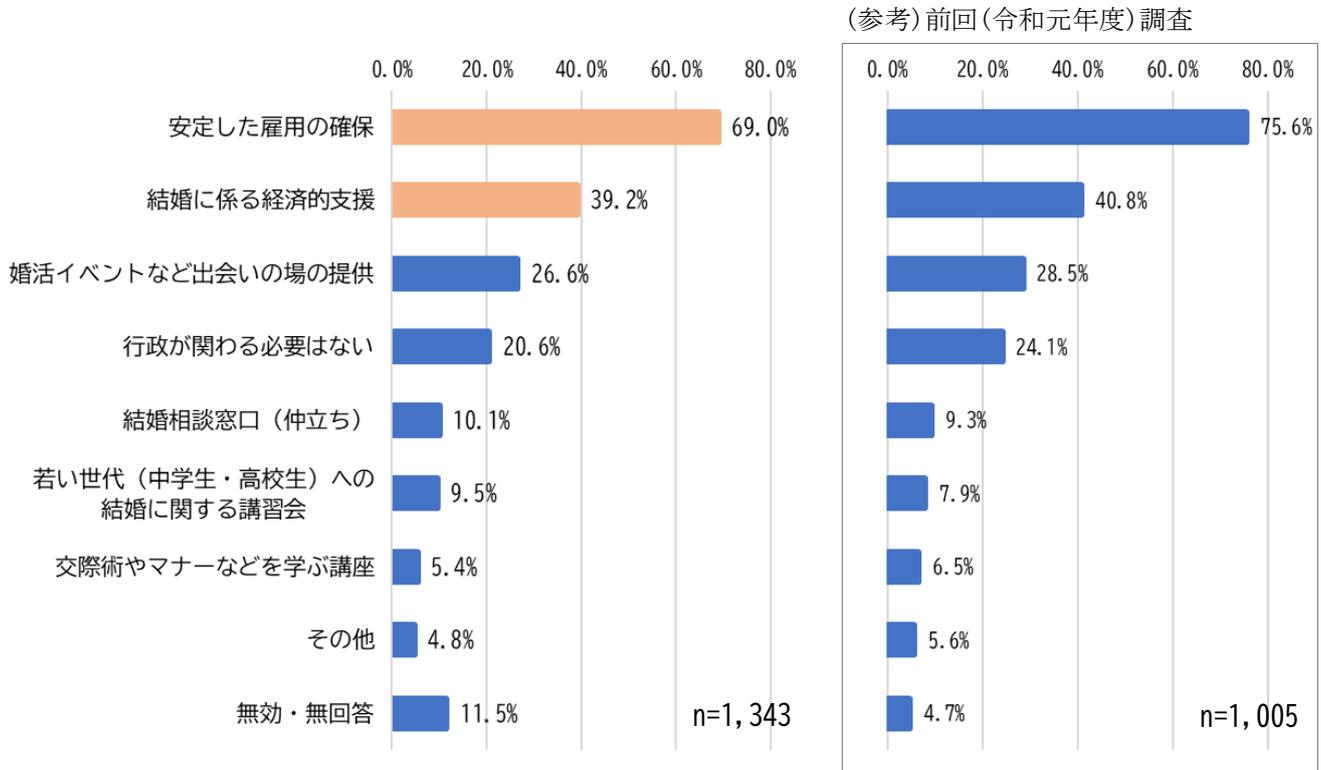
区分	既に結婚している	結婚するつもりである	必ずしも結婚にこだわらない	結婚したくない	わからない	その他	合計
大学生等	0人 0.0%	72人 43.4%	67人 40.4%	11人 6.6%	16人 9.6%	0人 0.0%	166人 100%
高校生	5人 0.5%	426人 46.3%	300人 32.6%	50人 5.4%	138人 15.0%	1人 0.1%	920人 100%

大学生等では、「結婚するつもりである」が43.4%、「必ずしも結婚にこだわらない」が40.4%、「結婚したくない」が6.6%となっています。

高校生では、「結婚するつもりである」が46.3%、「必ずしも結婚にこだわらない」が32.6%、「結婚したくない」が5.4%となっています。

### 3-④ 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと（20歳以上のみ回答）

行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

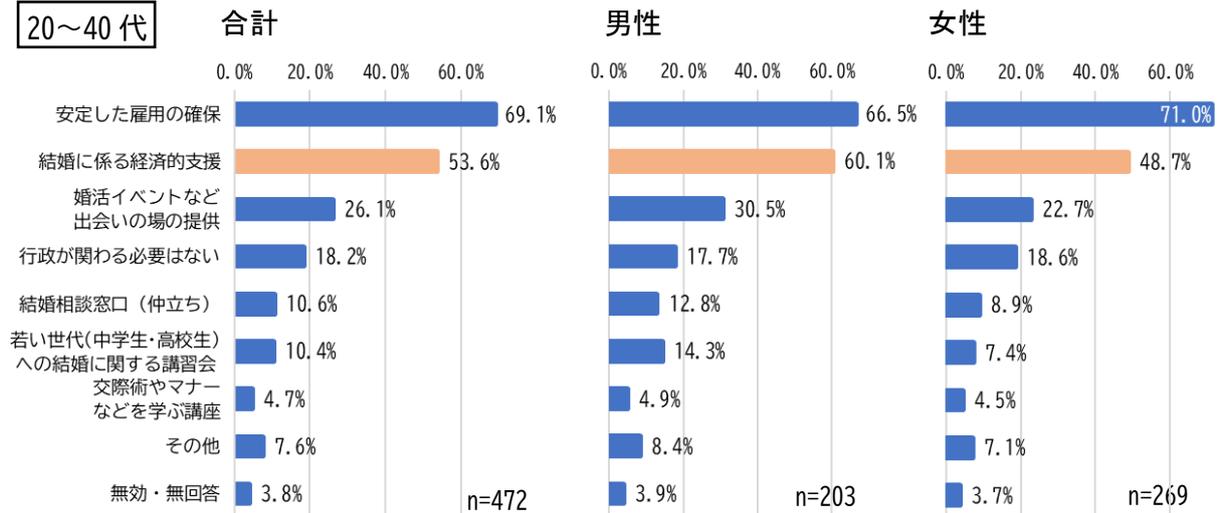


年代	安定した雇用の確保	結婚に係る経済的支援	婚活イベントなど出会いの場の提供	行政が関わる必要はない	結婚相談窓口(仲立ち)	若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会	交際術やマナーなどを学ぶ講座	その他	無効・無回答	n
20歳以上	927人 69.0%	527人 39.2%	357人 26.6%	276人 20.6%	135人 10.1%	128人 9.5%	73人 5.4%	65人 4.8%	155人 11.5%	1,343人

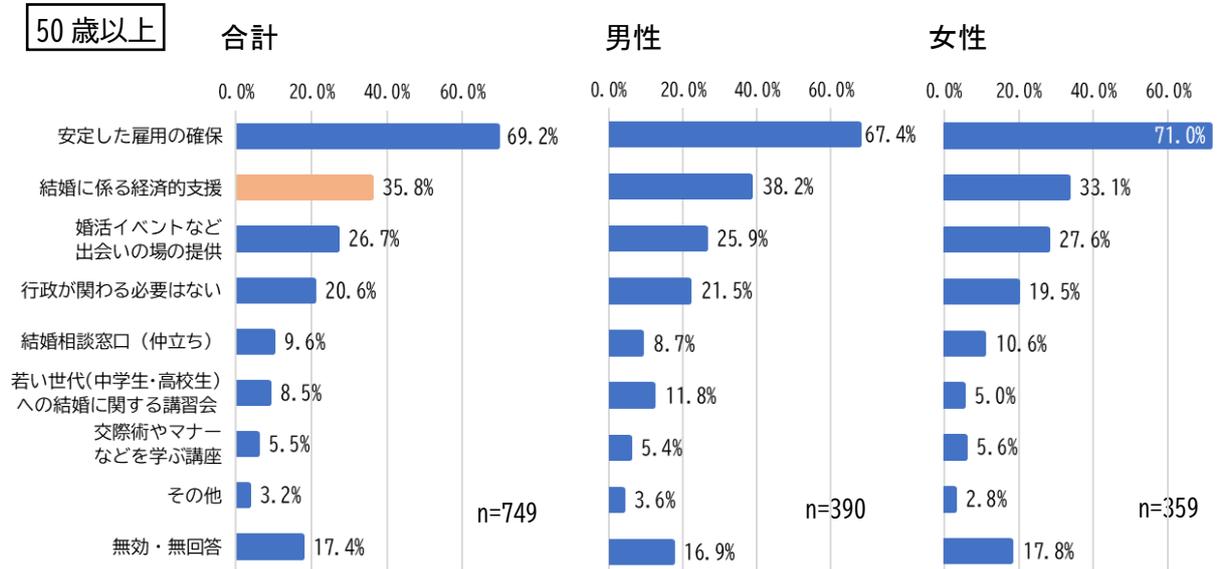
「安定した雇用の確保」が69.0%と最も高く、次に「結婚に係る経済的支援」が39.2%となっています。

【行政に求める男女別、年代別の結婚支援（3-②で「結婚するつもりはない」と回答した人を除く）】

20～40代



50歳以上



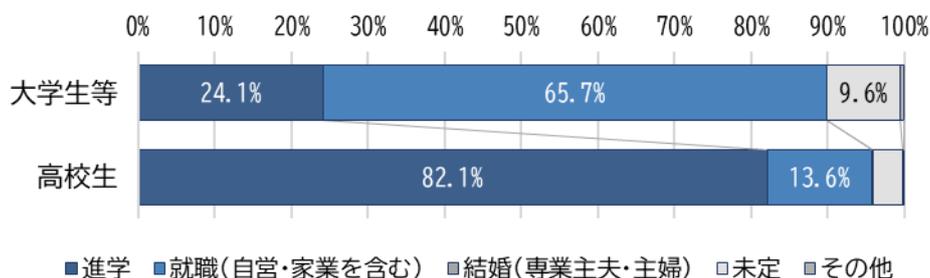
年代	安定した雇用の確保	結婚に係る経済的支援	婚活イベントなど出会いの場の提供	行政が関わる必要はない	結婚相談窓口（仲立ち）	若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会	交際術やマナーなどを学ぶ講座	その他	無効・無回答	n
20～40代	135人	122人	62人	36人	26人	29人	10人	17人	8人	203人
男性	66.5%	60.1%	30.5%	17.7%	12.8%	14.3%	4.9%	8.4%	3.9%	
20～40代	191人	131人	61人	50人	24人	20人	12人	19人	10人	269人
女性	71.0%	48.7%	22.7%	18.6%	8.9%	7.4%	4.5%	7.1%	3.7%	
20～40代	326人	253人	123人	86人	50人	49人	22人	36人	18人	472人
計	69.1%	53.6%	26.1%	18.2%	10.6%	10.4%	4.7%	7.6%	3.8%	
50歳以上	263人	149人	101人	84人	34人	46人	21人	14人	66人	390人
男性	67.4%	38.2%	25.9%	21.5%	8.7%	11.8%	5.4%	3.6%	16.9%	
50歳以上	255人	119人	99人	70人	38人	18人	20人	10人	64人	359人
女性	71.0%	33.1%	27.6%	19.5%	10.6%	5.0%	5.6%	2.8%	17.8%	
50歳以上	518人	268人	200人	154人	72人	64人	41人	24人	130人	749人
計	69.2%	35.8%	26.7%	20.6%	9.6%	8.5%	5.5%	3.2%	17.4%	

20～40代では、50歳以上と比べて「結婚に係る経済的支援」を選択する割合が高くなっています。さらに男女を比べると、男性の方が、その割合が高くなっています。

## 4 進学・就職の状況

### 4-① 今後の進路について（大学生等，高校生のみ回答）

卒業後の進路について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

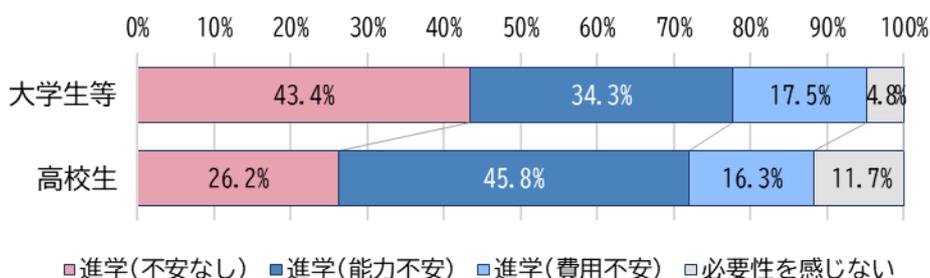


区分	進学	就職(自営・家業を含む)	結婚(専業主夫・主婦)	未定	その他	合計
大学生等	40人	109人	0人	16人	1人	166人
	24.1%	65.7%	0.0%	9.6%	0.6%	100%
高校生	755人	125人	3人	35人	2人	920人
	82.1%	13.6%	0.3%	3.8%	0.2%	100%

大学生等では「就職（自営・家業を含む）」が65.7%で最も高く、高校生では「進学」が82.1%で最も高くなっています。

### 4-② 今後の大学等への進学について（大学生等，高校生のみ回答）

今後の大学等への進学について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。（大学生等については大学進学時のことを記載してください。）



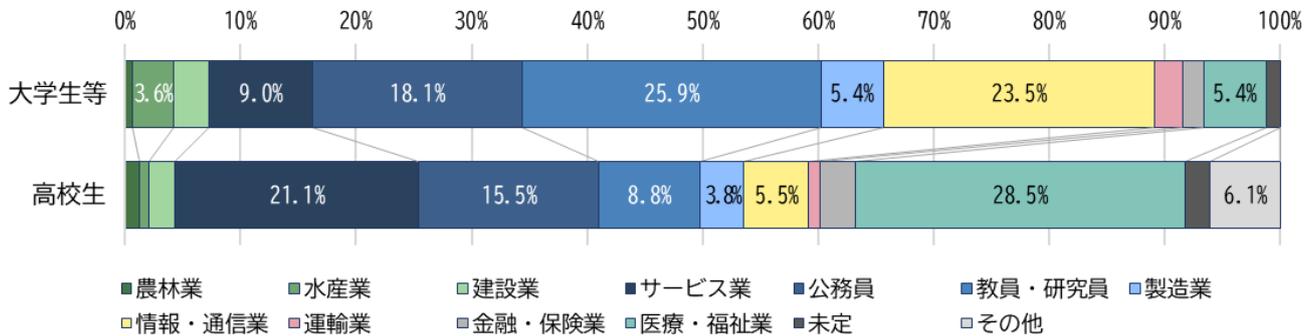
区分	進学したいと考えており、特に不安はない(なかった)	進学したいと考えているが、自らの能力の面で不安がある(あった)	進学したいと考えているが、費用の面で不安がある(あった)	進学する必要性を感じない(感じなかった)	合計
大学生等	72人	57人	29人	8人	166人
	43.4%	34.3%	17.5%	4.8%	100%
高校生	241人	421人	150人	108人	920人
	26.2%	45.8%	16.3%	11.7%	100%

大学生等では「進学したいと考えており、特に不安はない(なかった)」が43.4%と最も高く、高校生では「進学したいと考えているが、自らの能力の面で不安がある(あった)」が45.8%と最も高くなっています。

また、「進学したいと考えているが、費用の面で不安がある(あった)」と回答した割合は、大学生等が17.5%、高校生が16.3%となっています。

4-③ 将来の就職希望業種について（大学生等，高校生のみ回答）

将来の就職希望業種について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



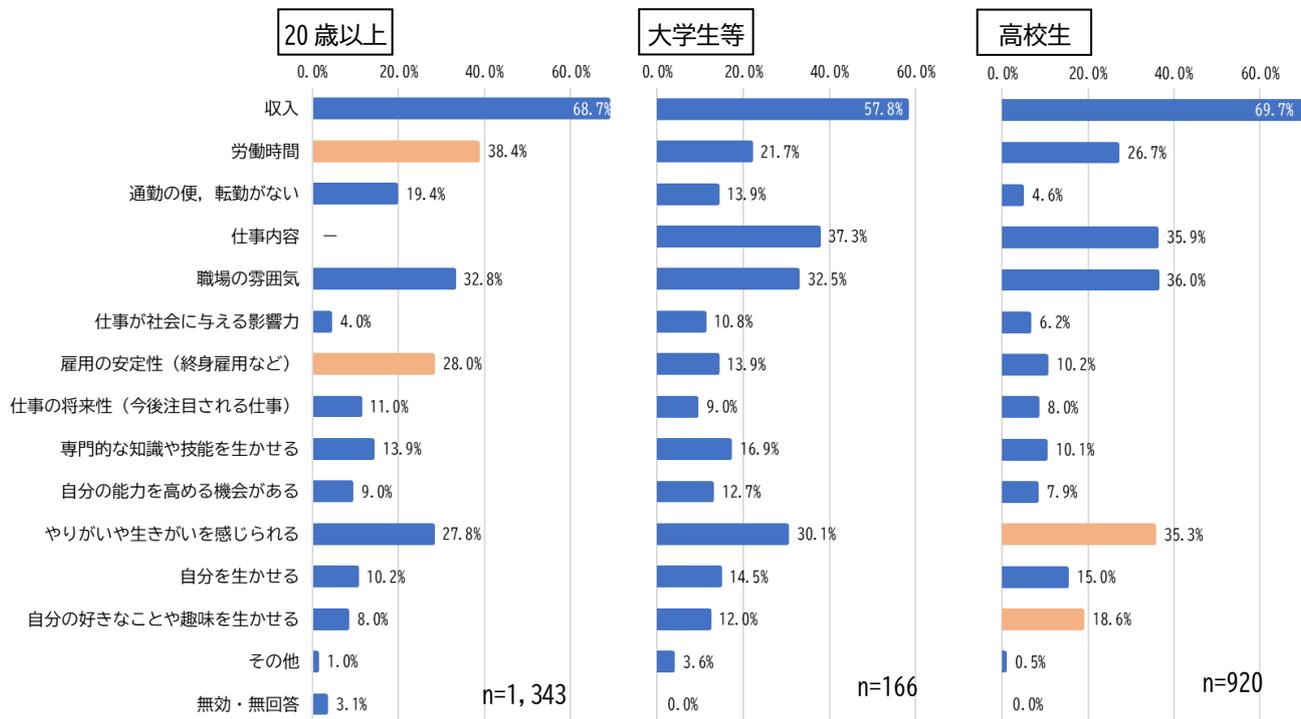
区分	農林業	水産業	建設業	サービス業	公務員	教員・研究員	製造業	情報・通信業	運輸業	金融・保険業	医療・福祉業	未定	その他	合計
大学生等	1人 0.6%	6人 3.6%	5人 3.0%	15人 9.0%	30人 18.1%	43人 25.9%	9人 5.4%	39人 23.5%	4人 2.4%	3人 1.8%	9人 5.4%	2人 1.2%	0人 0.0%	166人 100%
男性	1人 1.3%	4人 5.1%	4人 5.1%	6人 7.7%	11人 14.1%	15人 19.2%	5人 6.4%	30人 38.5%	1人 1.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.3%	0人 0.0%	78人 100%
女性	0人 0.0%	2人 2.3%	1人 1.1%	9人 10.3%	19人 21.8%	28人 32.2%	4人 4.6%	8人 9.2%	3人 3.4%	3人 3.4%	9人 10.3%	1人 1.1%	0人 0.0%	87人 100%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 100%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 100%
無効・無回答	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0%
高校生	11人 1.2%	8人 0.9%	21人 2.3%	194人 21.1%	143人 15.5%	81人 8.8%	35人 3.8%	51人 5.5%	10人 1.1%	28人 3.0%	262人 28.5%	20人 2.2%	56人 6.1%	920人 100%
男性	10人 2.3%	6人 1.4%	17人 3.9%	78人 18.1%	89人 20.6%	41人 9.5%	20人 4.6%	38人 8.8%	10人 2.3%	16人 3.7%	70人 16.2%	10人 2.3%	27人 6.3%	432人 100%
女性	1人 0.2%	2人 0.4%	4人 0.8%	115人 23.6%	54人 11.1%	40人 8.2%	15人 3.1%	13人 2.7%	0人 0.0%	12人 2.5%	192人 39.4%	10人 2.1%	29人 6.0%	487人 100%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0%
無効・無回答	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 100%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 100%

大学生等では「教員・研究員」が25.9%と最も高く、高校生では「医療・福祉業」が28.5%と最も高くなっています。

男女別に見ると、大学生等では男性で「情報・通信業」が38.5%、女性で「教育・研究員」が32.2%と最も高く、高校生では男性で「公務員」が20.6%、女性で「医療・福祉業」が39.4%と最も高くなっています。

#### 4-④ 職業を選択する際に重視する点について

職業を選択する際に重視した（したい）点について、あなたの考えに最も近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

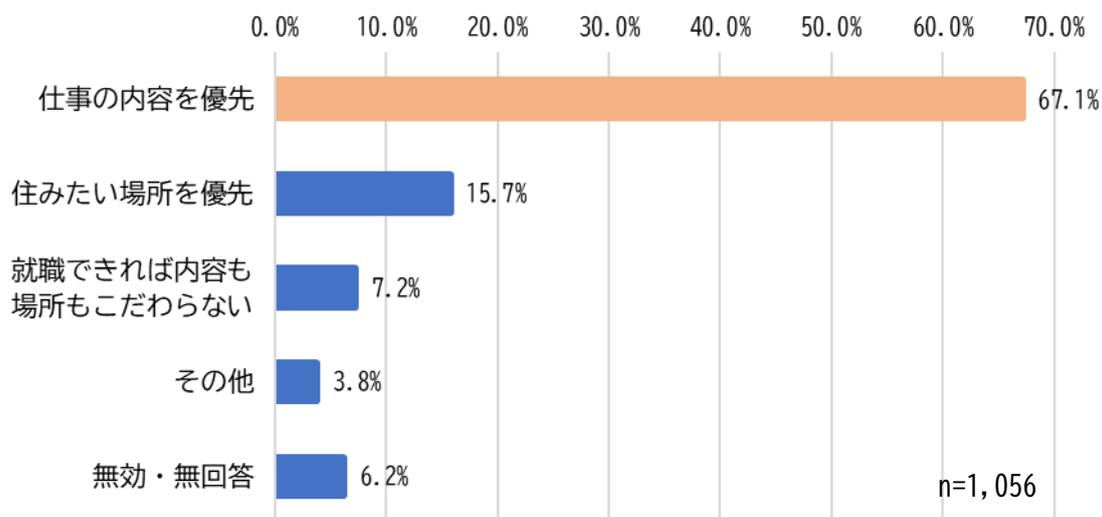


項目	20歳以上 (n=1,343)		大学生等 (n=166)		高校生 (n=920)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
収入	923人	68.7%	96人	57.8%	641人	69.7%
労働時間	516人	38.4%	36人	21.7%	246人	26.7%
通勤の便、転勤がない	261人	19.4%	23人	13.9%	42人	4.6%
仕事内容	—	—	62人	37.3%	330人	35.9%
職場の雰囲気	440人	32.8%	54人	32.5%	331人	36.0%
仕事 <del>が</del> 社会に与える影響力	54人	4.0%	18人	10.8%	57人	6.2%
雇用の安定性（終身雇用など）	376人	28.0%	23人	13.9%	94人	10.2%
仕事の将来性（今後注目される仕事）	148人	11.0%	15人	9.0%	74人	8.0%
専門的な知識や技能を生かせる	187人	13.9%	28人	16.9%	93人	10.1%
自分の能力を高める機会がある	121人	9.0%	21人	12.7%	73人	7.9%
やりがいや生きがいを感じられる	374人	27.8%	50人	30.1%	325人	35.3%
自分を生かせる	137人	10.2%	24人	14.5%	138人	15.0%
自分の好きなことや趣味を生かせる	107人	8.0%	20人	12.0%	171人	18.6%
その他	14人	1.0%	6人	3.6%	5人	0.5%
無効・無回答	42人	3.1%	0人	0.0%	0人	0.0%

すべての区分で「収入」が最も高くなっていますが、20歳以上では「労働時間」と「雇用の安定性（終身雇用など）」、高校生では「やりがいや生きがいを感じられる」と「自分の好きなことや趣味を生かせる」が、他の区分と比較して高くなっています。

#### 4-⑤ 就業した（する）際に重視した（したい）点について（20歳以上のみ回答）

就業した（する）際に重視した（したい）点について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



区分	仕事の内容を優先	住みたい場所を優先	就職できれば内容も場所もこだわらない	その他	無効・無回答	合計
20歳以上	709人 67.1%	166人 15.7%	76人 7.2%	40人 3.8%	65人 6.2%	1,056人 100%

※ インターネット上の調査で、設定の不備により設問が表示されなかった287名分の回答を除く「仕事の内容を優先」が67.1%と最も高く、次の「住みたい場所を優先」の15.7%を大幅に上回っています。

#### 4-⑥ 働くことに関する現在または将来の不安について（大学生等、高校生のみ回答）

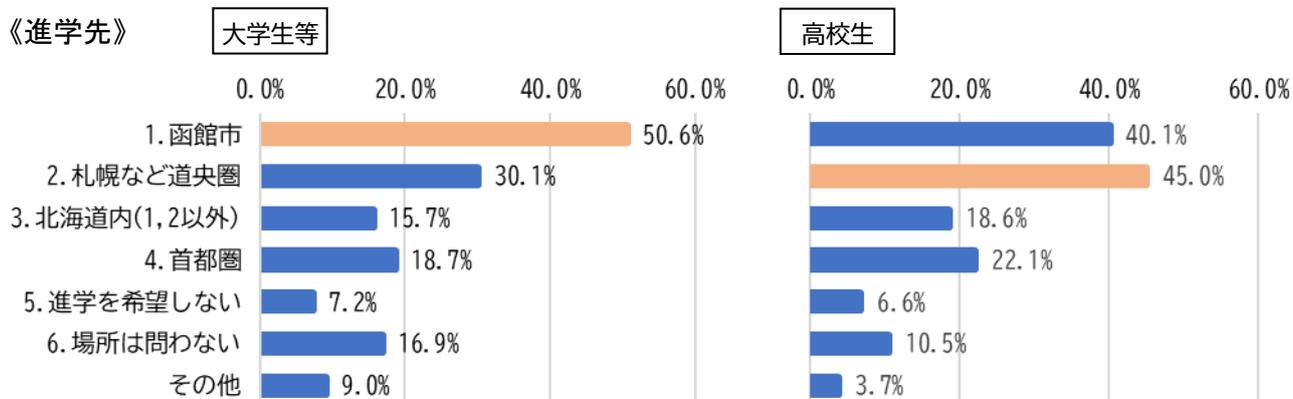
働くことに関する現在または将来の不安について、主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

区分	自分がきちんと仕事をこなせるか	働く先で人間関係がうまくいくか	働く先の将来(倒産など)は大丈夫か	何歳まで働けるか	老後の年金はどうなるのか	解雇されないか	十分な収入が得られるか	転職があるか	社会の景気動向はどうか	仕事と家庭の両立はどうか	健康・体力面はどうか	就職できるか・仕事が続けられるか	その他	ない	n
大学生等	91人 54.8%	86人 51.8%	20人 12.0%	7人 4.2%	16人 9.6%	9人 5.4%	73人 44.0%	17人 10.2%	9人 5.4%	51人 30.7%	34人 20.5%	50人 30.1%	0人 0.0%	1人 0.6%	166人
高校生	547人 59.5%	504人 54.8%	87人 9.5%	56人 6.1%	56人 6.1%	64人 7.0%	488人 53.0%	71人 7.7%	55人 6.0%	155人 16.8%	127人 13.8%	254人 27.6%	0人 0.0%	29人 3.2%	920人

大学生等、高校生ともに「自分がきちんと仕事をこなせるか」がそれぞれ54.8%、59.5%で最も高く、次に「働く先で人間関係がうまくいくか」がそれぞれ51.8%、54.8%、「十分な収入が得られるか」がそれぞれ44.0%、53.0%と続いています。

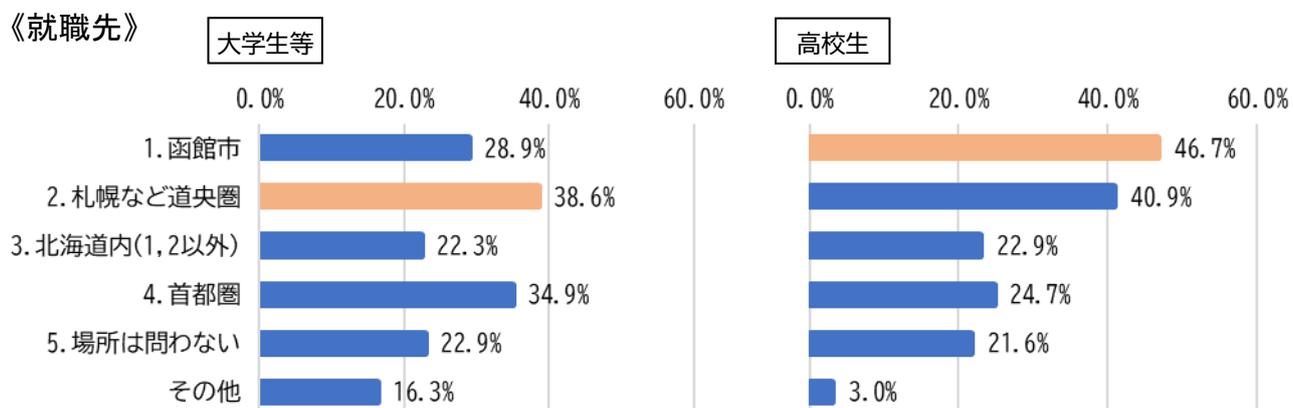
#### 4-⑦ 進学・就職先の希望地域について（大学生等，高校生のみ回答）

進学先や就職先として，どの地域を希望します（しました）か。希望する学校や職場が現在その地域にある・なしに関わらず，主なものを3つまで選んでください。（複数回答）



区分	1. 函館市	2. 札幌など道央圏	3. 北海道内(1・2以外)	4. 首都圏	5. 進学を希望しない	6. 場所は問わない	その他	n
大学生等	84人 50.6%	50人 30.1%	26人 15.7%	31人 18.7%	12人 7.2%	28人 16.9%	15人 9.0%	166人
高校生	369人 40.1%	414人 45.0%	171人 18.6%	203人 22.1%	61人 6.6%	97人 10.5%	34人 3.7%	920人

大学生等では「函館市」が50.6%と最も高く，高校生では「札幌など道央圏」が45.0%と最も高くなっています。

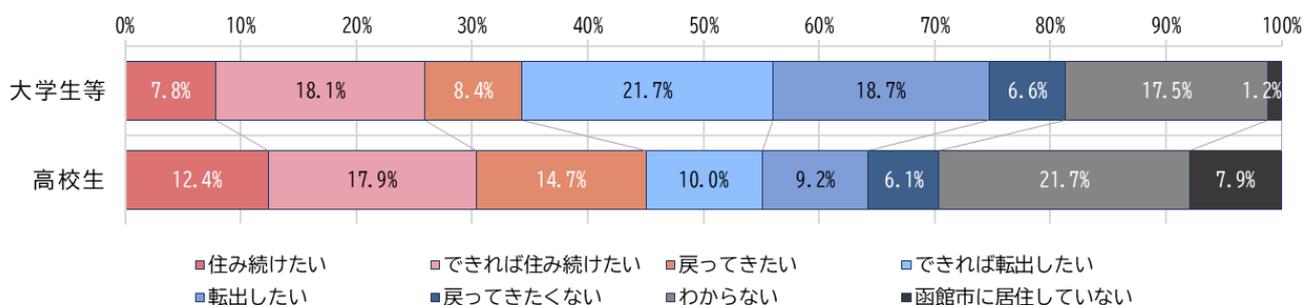


区分	1. 函館市	2. 札幌など道央圏	3. 北海道内(1・2以外)	4. 首都圏	5. 場所は問わない	その他	n
大学生等	48人 28.9%	64人 38.6%	37人 22.3%	58人 34.9%	38人 22.9%	27人 16.3%	166人
高校生	430人 46.7%	376人 40.9%	211人 22.9%	227人 24.7%	199人 21.6%	28人 3.0%	920人

大学生等では「札幌など道央圏」が38.6%と最も高く，高校生では「函館市」が46.7%と最も高くなっています。

#### 4-⑧ 今後の函館市での居住について（大学生等、高校生のみ回答）

今後も函館市に住み続けたいと思いますか。または、進学や就職で函館市を離れても、また戻りたいですか。あてはまる番号を1つ選んで番号に○をつけてください。



区分	住み続けたい	できれば住み続けたい	戻ってきたい	できれば転居したい	転居したい	戻ってきたくない	わからない	函館市に居住していない	合計
大学生等	13人	30人	14人	36人	31人	11人	29人	2人	166人
	7.8%	18.1%	8.4%	21.7%	18.7%	6.6%	17.5%	1.2%	100%
高校生	114人	165人	135人	92人	85人	56人	200人	73人	920人
	12.4%	17.9%	14.7%	10.0%	9.2%	6.1%	21.7%	7.9%	100%

「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」、「戻ってきたい」を合わせた回答は、大学生等では34.3%で、高校生では45.0%であるのに対し、「できれば転居したい」、「転居したい」、「戻ってきたくない」を合わせた回答は、大学生等では47.0%で、高校生では25.3%となっています。

#### 4-⑨ 住み続けたい、戻ってきたいと思う理由について（大学生等、高校生のみ回答）

「住み続けたい」「戻ってきたい」と思う理由について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

区分	買い物が便利	市内の移動が便利	市外への移動が便利	まち並みが良い	魅力的な職場がある	魅力的な進学先がある	娯楽・レジャーが楽しめる	愛着がある	治安が良い	気候が良い	実家があるため	その他	n
大学生等	10人	8人	5人	19人	3人	1人	3人	38人	13人	19人	21人	5人	57人
	17.5%	14.0%	8.8%	33.3%	5.3%	1.8%	5.3%	66.7%	22.8%	33.3%	36.8%	8.8%	
高校生	56人	52人	9人	152人	22人	16人	18人	236人	72人	32人	250人	13人	414人
	13.5%	12.6%	2.2%	36.7%	5.3%	3.9%	4.3%	57.0%	17.4%	7.7%	60.4%	3.1%	

大学生等では「愛着がある」が66.7%で最も高く、次に「実家があるため」が36.8%、「まち並みが良い」と「気候が良い」が33.3%で続いています。高校生では「実家があるため」が60.4%で最も高く、次に「愛着がある」が57.0%、「まち並みが良い」が36.7%で続いています。

#### 4-⑩ 住みたい、戻ってきたいと思わない理由について（大学生等，高校生のみ回答）

「住みたい」「戻ってきたい」と思わない理由について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

区分	買い物が不便	市内の移動が不便	市外への移動が不便	まち並みが悪い	魅力的な職場がない	魅力的な進学先がない	娯楽・レジャーが楽しめない	愛着がない	治安が悪い	気候が悪い	実家のある地元に戻りたい	その他	n
大学生等	20人 25.6%	34人 43.6%	21人 26.9%	7人 9.0%	30人 38.5%	4人 5.1%	38人 48.7%	8人 10.3%	14人 17.9%	1人 1.3%	20人 25.6%	3人 3.8%	78人
高校生	89人 38.2%	56人 24.0%	25人 10.7%	22人 9.4%	87人 37.3%	85人 36.5%	119人 51.1%	36人 15.5%	23人 9.9%	2人 0.9%	9人 3.9%	11人 4.7%	233人

大学生等では「娯楽・レジャーが楽しめない」が48.7%と最も高く、次に「市内の移動（市電・バス）が不便」が43.6%、「魅力的な職場がない」が38.5%と続いています。

高校生では「娯楽・レジャーが楽しめない」が51.1%と最も高く、次に「買い物が不便」が38.2%、「魅力的な職場がない」が37.3%と続いています。

#### 4-⑪ 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、取り組むべきこと

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）

項目	20歳以上 (n=1,343)		大学生等 (n=166)		高校生 (n=920)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
就労支援	702人	52.3%	53人	31.9%	336人	36.5%
交流する場の提供	159人	11.8%	47人	28.3%	363人	39.5%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	246人	18.3%	36人	21.7%	185人	20.1%
I J Uターンの拡充	252人	18.8%	27人	16.3%	51人	5.5%
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	601人	44.8%	55人	33.1%	322人	35.0%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	246人	18.3%	45人	27.1%	311人	33.8%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の充実	115人	8.6%	21人	12.7%	65人	7.1%
その他	67人	5.0%	17人	10.2%	19人	2.1%
無効・無回答	95人	7.1%	0人	0.0%	0人	0.0%

20歳以上では「就労支援」が52.3%と最も高く、大学生等では「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が33.1%と最も高く、高校生では「交流する場の提供」が39.5%と最も高くなっています。

「その他」の内容としては「若者が働きたいと思える企業の誘致」、「起業支援」、「賃金の上昇」などが挙げられています。

## 5 「函館市の魅力」について

### 5-① 函館市の魅力や誇れるもの

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。(複数回答)

項目	20歳以上 (n=1,343)		大学生等 (n=166)		高校生 (n=920)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	573人	42.7%	82人	49.4%	413人	44.9%
函館山からの夜景	775人	57.7%	62人	37.3%	618人	67.2%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	481人	35.8%	57人	34.3%	167人	18.2%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	555人	41.3%	61人	36.7%	397人	43.2%
飲食店や菓子店の充実度	66人	4.9%	22人	13.3%	75人	8.2%
身近な温泉施設の立地	248人	18.5%	19人	11.4%	97人	10.5%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	76人	5.7%	26人	15.7%	234人	25.4%
大学などの高等教育機関があること	18人	1.3%	15人	9.0%	11人	1.2%
医療・福祉が充実していること	59人	4.4%	5人	3.0%	31人	3.4%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	20人	1.5%	2人	1.2%	16人	1.7%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	19人	1.4%	11人	6.6%	23人	2.5%
海と山が身近にある自然環境	465人	34.6%	42人	25.3%	248人	27.0%
気候による過ごしやすさ	427人	31.8%	35人	21.1%	117人	12.7%
その他	13人	1.0%	2人	1.2%	6人	0.7%
無効・無回答	8人	0.6%	0人	0.0%	0人	0.0%

「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産」や「函館山からの夜景」、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」については、全世代で多くの方が魅力や誇れるものであると回答しています。

5-② 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと(自由記述)

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

※ 複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

【特に満足と思うこと】

項目	20歳以上 (n=755)		大学生等 (n=102)		高校生 (n=583)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
函館の住みやすさ	151件	20.0%	15件	14.7%	50件	8.6%
日常の買い物の便利さ	15件	2.0%	8件	7.8%	9件	1.5%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	20件	2.6%	6件	5.9%	24件	4.1%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	22件	2.9%	2件	2.0%	8件	1.4%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	4件	0.5%	0件	0.0%	3件	0.5%
自動車での道路の使いやすさ	11件	1.5%	1件	1.0%	2件	0.3%
医療や福祉の施設やサービス体制	28件	3.7%	0件	0.0%	6件	1.0%
子育て支援	16件	2.1%	0件	0.0%	0件	0.0%
(子どもの)教育環境	2件	0.3%	1件	1.0%	1件	0.2%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	1件	0.1%	0件	0.0%	0件	0.0%
娯楽・レジャーの充実	3件	0.4%	5件	4.9%	7件	1.2%
食べ物のおいしさ・充実度	125件	16.6%	15件	14.7%	135件	23.2%
歴史・文化資源の保存・活用	49件	6.5%	9件	8.8%	24件	4.1%
観光資源の充実度	89件	11.8%	12件	11.8%	89件	15.3%
都市景観・自然景観	85件	11.3%	15件	14.7%	113件	19.4%
治安	5件	0.7%	0件	0.0%	9件	1.5%
なし	111件	14.7%	5件	4.9%	57件	9.8%
その他	109件	14.4%	18件	17.6%	78件	13.4%
合計	846件		112件		615件	

「その他」の主な意見としては、「都市としての規模がちょうど良い」、「まちがコンパクトにまとまっている」、「優しい人が多い」などが挙げられています。

【特に不満と思うこと】

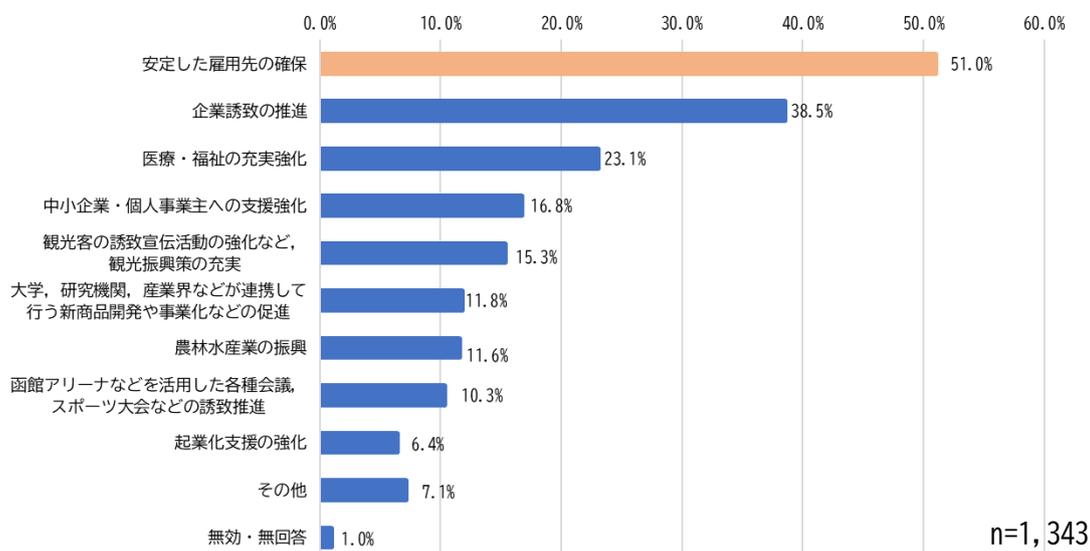
項目	20歳以上 (n=901)		大学生等 (n=119)		高校生 (n=582)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
函館の住みやすさ	8件	0.9%	1件	0.8%	1件	0.2%
日常の買い物の便利さ	61件	6.8%	23件	19.3%	92件	15.8%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	99件	11.0%	46件	38.7%	74件	12.7%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	11件	1.2%	16件	13.4%	25件	4.3%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	34件	3.8%	4件	3.4%	12件	2.1%
自動車での道路の使いやすさ	55件	6.1%	5件	4.2%	15件	2.6%
医療や福祉の施設やサービス体制	26件	2.9%	0件	0.0%	0件	0.0%
子育て支援	47件	5.2%	0件	0.0%	2件	0.3%
(子どもの)教育環境	27件	3.0%	1件	0.8%	50件	8.6%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	125件	13.9%	10件	8.4%	22件	3.8%
娯楽・レジャーの充実	172件	19.1%	34件	28.6%	223件	38.3%
食べ物のおいしさ・充実度	8件	0.9%	1件	0.8%	1件	0.2%
歴史・文化資源の保存・活用	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
観光資源の充実度	32件	3.6%	2件	1.7%	6件	1.0%
都市景観・自然景観	58件	6.4%	1件	0.8%	19件	3.3%
治安	10件	1.1%	7件	5.9%	43件	7.4%
なし	38件	4.2%	5件	4.2%	84件	14.4%
その他	269件	29.9%	9件	7.6%	60件	10.3%
合計	1,080件		165件		729件	

「その他」の主な意見としては、「人口減少と高齢化が急激に進んでいる」、「全体的に活気がない」、「自動車・自転車の運転マナーが悪く危険である」、「若い人が住みたいと思うような魅力がない」、「冬場の除雪状況が悪い」、「税金が高い」などが挙げられています。

## 6 「函館市の今後のまちづくり」

### 6-① 函館市の経済を活性化するための施策（20歳以上のみ回答）

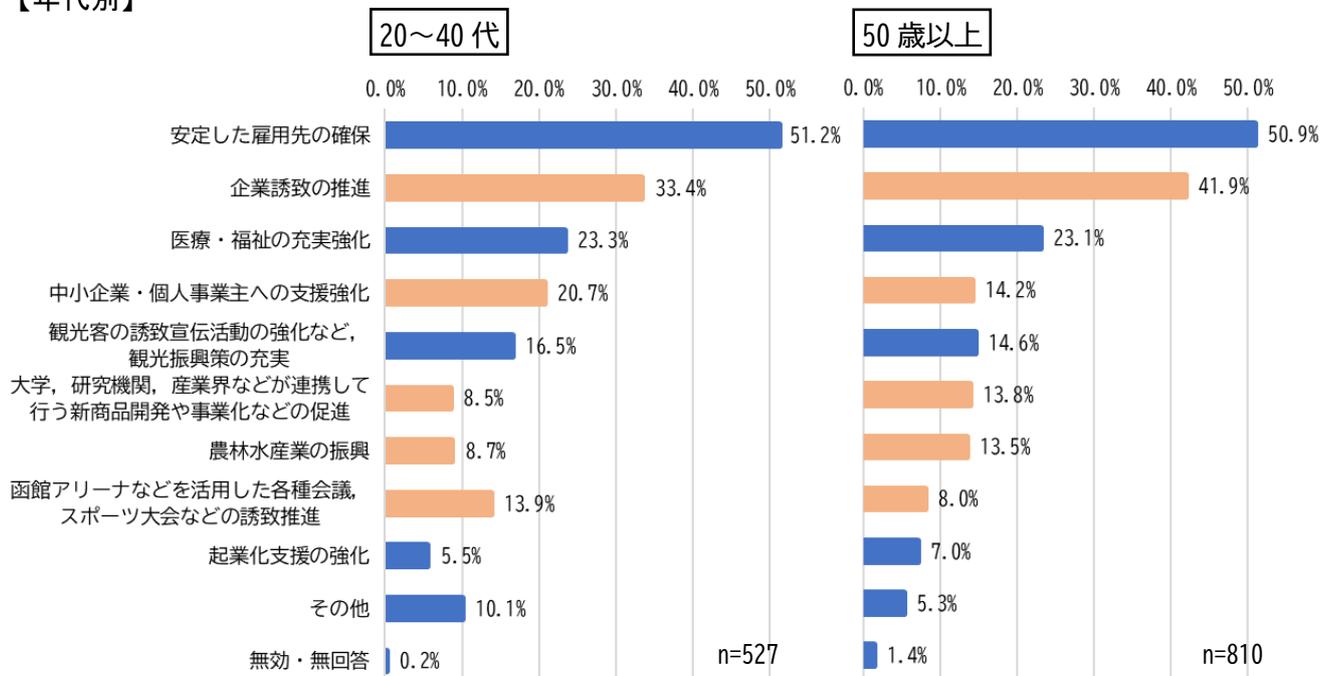
函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）



「安定した雇用先の確保」が51.0%と最も高く、「企業誘致の推進」が38.5%と続いています。

「その他」の内容としては「商業施設、娯楽施設の充実」、「子育て支援の充実」、「野外フェスやコンサートの誘致」等が挙げられています。

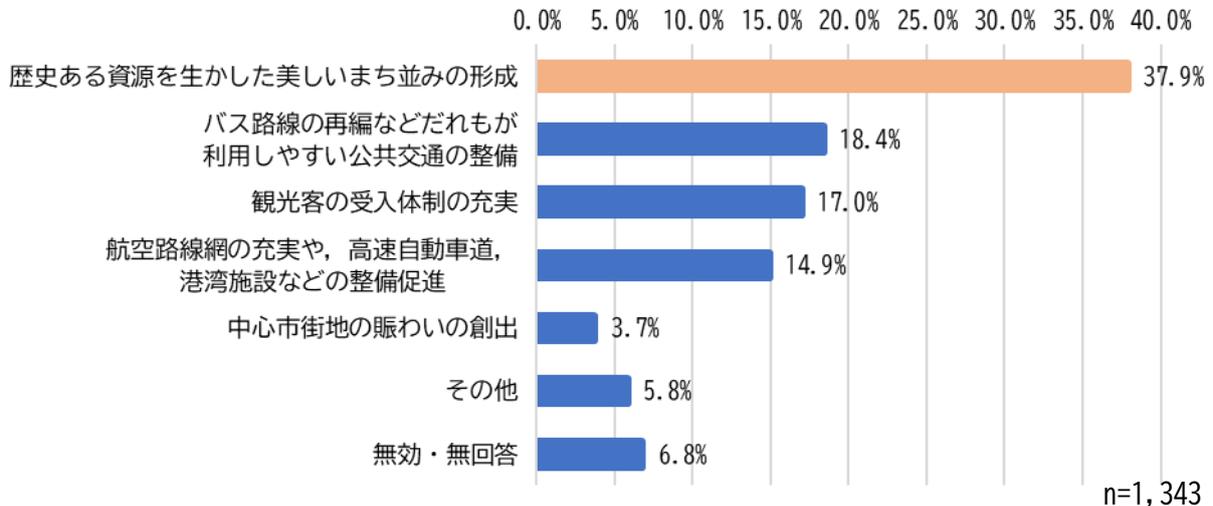
#### 【年代別】



年代別では、「企業誘致の推進」、「中小企業・個人事業主への支援強化」、「大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進」、「農林水産業の振興」、「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」で概ね5ポイント以上の差がありました。

## 6-② まちの魅力を高めるための取り組み（20歳以上のみ回答）

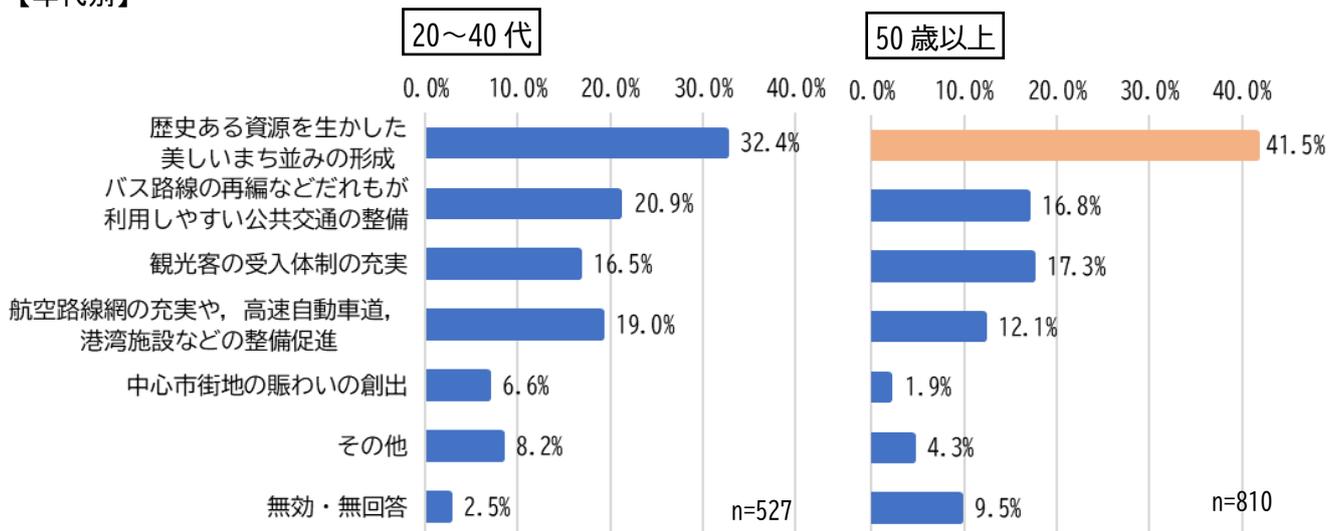
まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）



「歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成」が37.9%と最も高く、次に「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が18.4%となっています。

「その他」の内容としては、「観光客だけではなく地元住民も楽しめる施設の充実」、「商業施設、娯楽施設の充実」等が挙げられています。

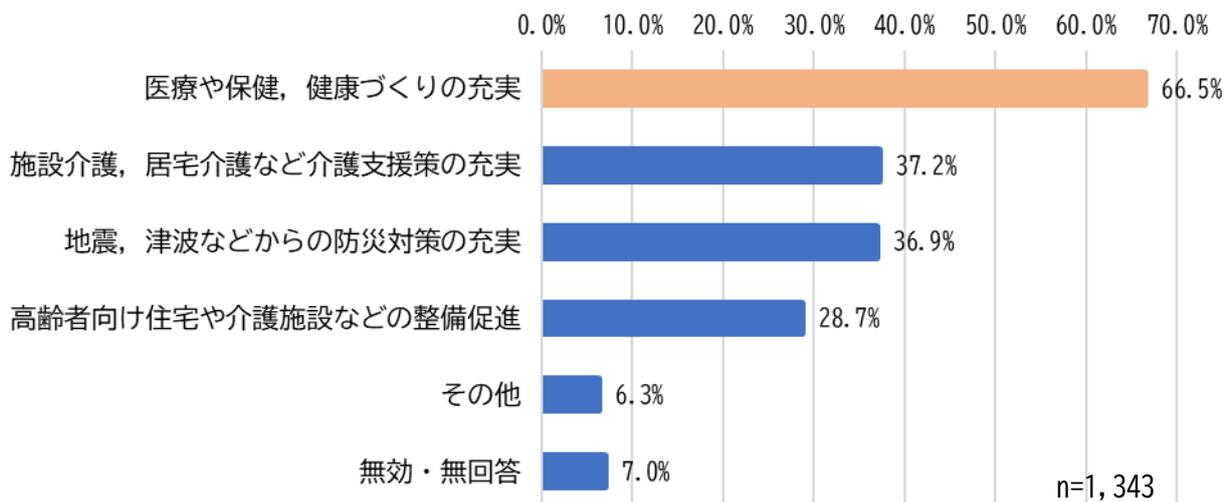
### 【年代別】



50歳以上では、20～40代に比べて「歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成」が特に高くなっています。

6-③ 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと（20歳以上のみ回答）

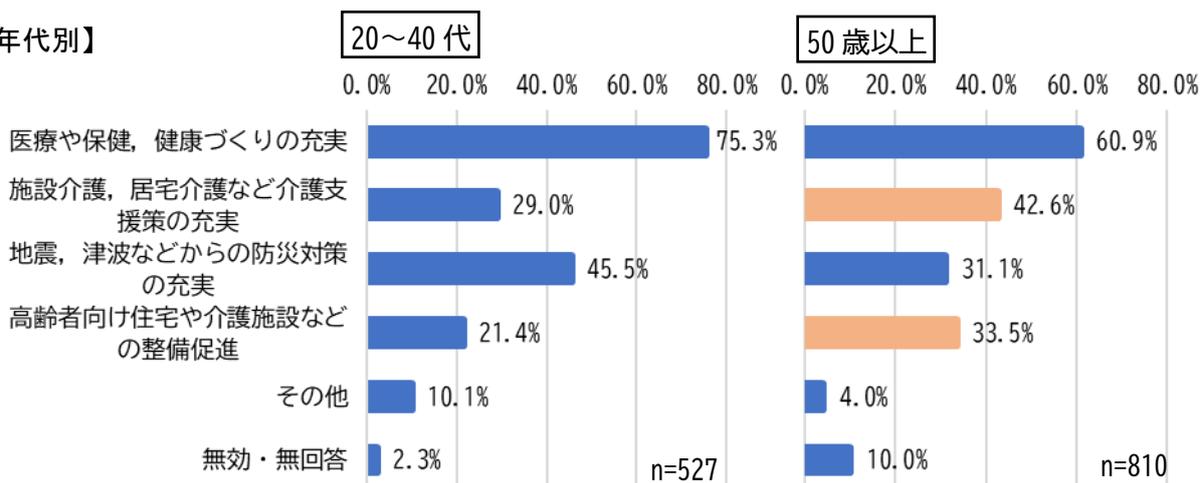
だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。（複数回答）



「医療や保健，健康づくりの充実」が66.5%と最も高く，次に「施設介護，居宅介護など介護支援策の充実」が37.2%となっています。

「その他」の内容としては福祉に関する回答のほか，「安定した雇用先の確保」，「子育て支援の充実」，「防犯対策の拡充」等も挙げられています。

【年代別】



50歳以上では「施設介護，居宅介護など介護支援策の充実」，「高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進」を選択する割合が高くなっています。

## 7 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、令和元（2019）年度に策定した「第2期函館市活性化総合戦略」の具体的な施策別にまとめたものです。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

3つの基本目標	具体的な施策	20歳以上 (n=563)		大学生等 (n=55)		高校生 (n=196)	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
市民一人ひとりの幸せを大切にします	地域で見守り支える福祉拠点づくり	20件	3.6%	0件	0.0%	1件	0.5%
	健康で元気に生活できる環境づくり	25件	4.4%	1件	1.8%	1件	0.5%
	出産・子育てへの支援強化	116件	20.6%	6件	10.9%	31件	15.8%
	ひとり親家庭等への支援強化	8件	1.4%	0件	0.0%	1件	0.5%
	地域の将来を担う人づくり	28件	5.0%	3件	5.5%	6件	3.1%
	いじめや虐待の未然防止・早期発見・早期対応	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
	教育環境の充実	43件	7.6%	3件	5.5%	20件	10.2%
函館の経済を支え強化します	観光客等の増加をめざす取組	84件	14.9%	4件	7.3%	17件	8.7%
	ITやロボットなど先端技術を活用した生産性の向上	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
	食を支える安心・安全な農水産物の生産・供給支援のほか、食の魅力を高め、多くのひとを呼び込み販路拡大につなげる支援	4件	0.7%	0件	0.0%	0件	0.0%
	誰もが生き生き働くことができる環境整備	246件	43.7%	16件	29.1%	16件	8.2%
快適で魅力あるまちづくりを進めます	デザイン性の高い町並みの整備やにぎわい空間の創出	40件	7.1%	14件	25.5%	11件	5.6%
	交通アクセスの向上	28件	5.0%	2件	3.6%	1件	0.5%
	災害に強く安心・安全なまちへの体制強化	9件	1.6%	4件	7.3%	0件	0.0%
	公共交通の充実	28件	5.0%	10件	18.2%	6件	3.1%
	文化・スポーツの振興	2件	0.4%	2件	3.6%	1件	0.5%
	環境にやさしいまちの推進	2件	0.4%	0件	0.0%	2件	1.0%
	移住・定住を検討している方への魅力発信	24件	4.3%	4件	7.3%	7件	3.6%
行政事務の効率化と市民の利便性向上	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	
その他(※)		155件	27.5%	12件	21.8%	73件	37.2%
特になし		11件	2.0%	2件	3.6%	39件	19.9%
合計		873件		83件		233件	

20歳以上および大学生等では、ともに「誰もが生き生き働くことができる環境整備」に関する意見が最も多く、それぞれ43.7%、29.1%となっています。高校生では「出産・子育てへの支援強化」が15.8%と最も多くなっています。

※ 「その他」の主な意見としては、「レジャー・娯楽施設が少ない」、「若者が函館に残りたいと思えるようなまちにして欲しい」、「観光客だけでなく、市民に対する施策を充実させるべき」などが挙げられています。

## 8 調査票

### (1) 20歳以上

《20歳以上市民用》

#### 令和6年度 函館市「地方創生に関するアンケート調査」ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、日本の人口が平成20年（2008年）の1億2,808万人をピークに減少に転じ、2070年には、8,700万人まで減少することが見込まれているなか、函館市においては、出生数の減少や若い世代が進学や就職で転出することなどを要因として、毎年3千人を超える規模での人口減少が続いています。

このため、人口減少のスピードを少しでも緩やかにし、将来にわたって活力のある地域社会を維持するための施策を示すため策定した「函館市活性化総合戦略」や市長を本部長とする「人口減少対策本部」での議論をもとに各種対策に取り組んでまいりました。

この度、2025年度からの新たな施策の参考とするため、市民の皆様のご意見をお伺いするアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から、4,000人を無作為に抽出し実施するものです。

令和6年（2024年）8月

函館市企画部

**8月31日(土)**（消印有効）までにご回答をお願いします。

回答の目安は10分です。

スマホまたはパソコンをお持ちの方は、インターネットで回答できます。



☞こちらから専用フォームにアクセス

または函館市ホームページからご回答いただけます。

<https://forms.gle/puUwXCBa36eb9epUA>

紙の調査票で回答の場合は、調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。）

#### \*\*\* 調査票のご記入にあたって \*\*\*

- 1 お送りしたあて名のご本人がお答えください。何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 2 お名前やご連絡先の記入は必要ありません。ご回答いただいた内容は全て統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 3 インターネットでご回答いただいた場合、紙の調査票の郵送は不要です。
- 4 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（お問い合わせ先）

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

函館市企画部計画推進室計画調整課

TEL：0138-21-3693 FAX：0138-23-7604

E-mail：keikakuchosei@city.hakodate.hokkaido.jp

◆ 「あなた自身のこと」について伺います。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別を教えてください。 (番号1つに○)	1 男性      2 女性      3 (            ) ※自認する性をご記入ください
(2) あなたの年齢を教えてください。 (年齢を記入)	1 20歳代    2 30歳代    3 40歳代 4 50歳代    5 60歳代    6 70歳代 7 80歳代    8 90歳以上
(3) あなたの居住地を教えてください。 (町名を記入)	函館市_____町_____丁目
(4) あなたの函館市の居住年数を教えてください。 (番号1つに○)	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上
(5) あなたの職業を教えてください。 (番号1つに○)	1 農林業                      2 水産業 3 建設業                      4 サービス業 5 公務員                      6 教員・研究員 7 製造業                      8 情報・通信業 9 運輸業                      10 金融・保険業 11 医療・福祉業            12 専業主婦(主夫) 13 パート・アルバイト・派遣 14 学生                      15 無職 16 その他(                      ) ※選択する区分が分からない場合は、その他に 職業名を記入してください。
(6) 住宅の形態を教えてください。 (番号1つに○)	1 持家(一戸建て)    2 持家(マンション等) 3 借家(民営)        4 借家(公営) 5 社宅 6 その他(                      )
(7) あなたの通勤・通学地を教えてください。 (番号1つに○)	1 函館市内    2 北斗市    3 七飯町 4 通勤・通学していない → (9)へ 5 その他(                      )
(8) 通勤・通学手段を教えてください。 (番号1つに○)	1 自家用車・バイク 2 市電・バス等の公共交通 3 自転車・徒歩 4 その他(                      )

(問1つづき)

<p>(9) あなたの家族構成を教えてください。(番号1つに○)</p>	<p>1 単身 2 夫婦のみ 3 親子 4 三世代 5 その他 ( )</p>
<p>(10) あなたには現在養育中の子どもがいますか。(番号1つに○) また、「いる」場合には、何人いますか?合計人数およびその内訳を<b>数字で記入</b>してください。</p>	<p>1 いる 合計 _____人 小学生未満 _____人 小学生 _____人 中学生 _____人 高校生 _____人 大学生・短大生・専門学校生 _____人 その他 _____人 2 いない</p>
<p>(11) あなたのお住まいの世帯年収はおおよそどれにあてはまりますか。(番号1つに○)</p>	<p>1 300万円未満 2 300万円以上～500万円未満 3 500万円以上～700万円未満 4 700万円以上～1,000万円未満 5 1,000万円以上</p>

◆ 「函館市の魅力」について伺います。

問2 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか。  
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 医療・福祉が充実していること
- 10 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 11 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 12 海と山が身近にある自然環境
- 13 気候による過ごしやすさ
- 14 その他（ )

◆ 「函館市の今後のまちづくり」について伺います。

問3 函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農林水産業の振興
- 2 企業誘致の推進
- 3 起業化支援の強化
- 4 安定した雇用先の確保
- 5 中小企業・個人事業主への支援強化
- 6 大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進
- 7 観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実
- 8 函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進
- 9 医療・福祉の充実強化
- 10 その他（ )

問4 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他 ( )

問5 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健，健康づくりの充実
- 2 地震，津波などからの防災対策の充実
- 3 施設介護，居宅介護など介護支援策の充実
- 4 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 5 その他 ( )

問6 安心して子どもを産み，子育てできる環境を整備するためにどのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠，出産に関する相談，情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備，充実
- 5 保育所・幼稚園・認定こども園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他 ( )

問7 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 就労支援
- 2 交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他 ( )

問8 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。  
(自由記述)

- |   |           |   |   |
|---|-----------|---|---|
| 1 | 特に満足と思うこと | ( | ) |
| 2 | 特に不満と思うこと | ( | ) |

◆ 「就業に対する考え方」について伺います。

問9 職業を選択する際に重視した(したい)点について、あなたの考えに最も近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |    |                   |    |                  |   |            |
|----|-------------------|----|------------------|---|------------|
| 1  | 収入                | 2  | 労働時間             | 3 | 通勤の便、転勤がない |
| 4  | 職場の雰囲気            | 5  | 仕事が社会に与える影響力     |   |            |
| 6  | 雇用の安定性(終身雇用など)    |    |                  |   |            |
| 7  | 仕事の将来性(今後注目される仕事) | 8  | 専門的な知識や技能を生かせる   |   |            |
| 9  | 自分の能力を高める機会がある    | 10 | やりがいや生きがいを感じられる  |   |            |
| 11 | 自分を生かせる           | 12 | 自分の好きなことや趣味を生かせる |   |            |
| 13 | その他(              | )  |                  |   |            |

問10 就業した(する)際に重視した(したい)点について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- |   |                    |   |           |
|---|--------------------|---|-----------|
| 1 | 仕事の内容を優先           | 2 | 住みたい場所を優先 |
| 3 | 就職できれば内容も場所もこだわらない |   |           |
| 4 | その他(               | ) |           |

◆ 「結婚に対する考え方」について伺います。

問11 あなたは、現在結婚していますか。  
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |   |                  |   |        |   |
|---|------------------|---|--------|---|
| 1 | 結婚している(既婚) →問13へ | 2 | 独身(未婚) |   |
| 3 | 独身(結婚歴あり)        | 4 | その他(   | ) |

問11で、2～4を選択した方に伺います。

問12 結婚をしていない理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 結婚したいと思える相手がいない | 2 家族を養うほどの収入がない |
| 3 精神的に自由でいられる     | 4 経済的に自由でいられる   |
| 5 異性とうまくつきあえない    | 6 仕事（学業）に専念したい  |
| 7 結婚資金が足りない       | 8 まだ若すぎる        |
| 9 結婚するつもりはない      |                 |
| 10 その他（           | ）               |

問13 行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1 安定した雇用の確保                | 2 結婚に係る経済的支援     |
| 3 婚活イベントなど出会いの場の提供         | 4 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5 結婚相談窓口（仲立ち）              |                  |
| 6 若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会 |                  |
| 7 行政が関わる必要はない              |                  |
| 8 その他（                     | ）                |

◆ 「出産・子育てに対する考え方」について伺います。

問14 子育てについてどのようなイメージを持っていますか。

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1 楽しい     | 2 充実感がある | 3 お金がかかる |
| 4 時間がとられる | 5 不安がある  |          |
| 6 その他（    |          | ）        |

問15 あなたにとって、現在の子どもの数、理想的な子どもの数は何人ですか。

あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

現在の子どもの数（1つ選んで○）

- |      |         |      |
|------|---------|------|
| 1 0人 | 2 1人    | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上（ | 人）   |

理想的な子どもの数（1つ選んで○）

- |      |         |      |
|------|---------|------|
| 1 0人 | 2 1人    | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上（ | 人）   |

問15で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い方または「理想的な子どもの数」が0人の方に伺います。

問16 「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかる   | 2 住居が狭い            |
| 3 自分の仕事に差し支える     | 4 子育てを手助けする人がいない   |
| 5 自分や夫婦の生活を大切にしたい | 6 高齢出産になるから        |
| 7 健康上の理由          | 8 育児の心理的・肉体的負担が大きい |
| 9 ほしいけれどもできない     | 10 配偶者の協力が得られない    |
| 11 その他 ( )        |                    |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

地域の幸福度・満足度に関する調査にもご協力いただける方は、次のページにお進みください。

それ以外の方は、ここまでのページを返信用封筒に入れて投函してください。

ご協力ありがとうございました。

## (2) 大学生等・高校生

《大学生等・高校生用》

### 令和6年度 函館市「地方創生に関するアンケート調査」ご協力をお願い

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

函館市では、日本の総人口が減少していく状況にあっても、本市が将来にわたって活力と賑わいあふれるまちとなるよう、5年間で取り組むべき施策の基本的方向性などを「函館市活性化総合戦略」で示すとともに、市長を本部長とする「人口減少対策本部」での議論をもとに各種対策に取り組んでいるところです。

この度、2025年度からの新たな施策の参考とするため、学生の皆様のご意見をお伺いするアンケート調査を実施いたしますので、お手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年（2024年）8月

函館市企画部

**9月11日(水)**までにご回答をお願いします。

回答の目安は10分です。

スマホまたはパソコンなどから、インターネットで回答してください。



☞こちらから専用フォームにアクセス

または函館市ホームページからご回答いただけます。

<https://forms.gle/sN3AuiRoMugmGbGe6>

\*\*\* 回答にあたって \*\*\*

- 1 氏名の入力が必要ありません。
- 2 ご回答いただいた内容は全て統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 3 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。  
(電話による問い合わせ対応時間：平日8:45～17:30)

(お問い合わせ先)

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

函館市企画部計画推進室計画調整課

TEL：0138-21-3693 FAX：0138-23-7604

E-mail：keikakuchosei@city.hakodate.hokkaido.jp



問4 将来の就職希望業種について、あてはまるものを**1つ選んで**番号に○をつけてください。

- |           |           |            |          |       |
|-----------|-----------|------------|----------|-------|
| 1 農林業     | 2 水産業     | 3 建設業      | 4 サービス業  | 5 公務員 |
| 6 教員・研究員  |           | 7 製造業      | 8 情報・通信業 | 9 運輸業 |
| 10 金融・保険業 | 11 医療・福祉業 | 12 その他 ( ) |          |       |

※選択する区分別が分からない場合は、その他に職業名を記入してください。

問5 職業を選択する際に重視した(したい)点について、あなたの考えに最も近いものを**3つまで選んで**番号に○をつけてください。

- |                     |                     |              |
|---------------------|---------------------|--------------|
| 1 収入                | 2 労働時間              | 3 通勤の便、転勤がない |
| 4 仕事内容              | 5 職場の雰囲気            |              |
| 6 仕事が社会に与える影響力      | 7 雇用の安定性(終身雇用など)    |              |
| 8 仕事の将来性(今後注目される仕事) | 9 専門的な知識や技能を生かせる    |              |
| 10 自分の能力を高める機会がある   | 11 やりがいや生きがいを感じられる  |              |
| 12 自分を生かせる          | 13 自分の好きなことや趣味を生かせる |              |
| 14 その他 ( )          |                     |              |

問6 働くことに関する現在または将来の不安について、主なものを**3つまで選んで**番号に○をつけてください。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 自分がきちんと仕事をこなせるか   | 2 働く先で人間関係がうまくいくか   |
| 3 働く先の将来(倒産など)は大丈夫か | 4 何歳まで働けるか          |
| 5 老後の年金はどのようなのか     | 6 解雇されないか           |
| 7 十分な収入が得られるか       | 8 転勤があるか            |
| 9 社会の景気動向はどうか       | 10 仕事と家庭の両立はどうか     |
| 11 健康・体力面はどうか       | 12 就職できるか・仕事が続けられるか |
| 13 その他 ( )          | 14 ない               |

問7 進学先や就職先として、どの地域を希望します(しました)か。進学先・就職先それぞれについて、希望する学校や職場が現在その地域にある・なしに関わらず、主なものを**3つまで選んで**番号に○をつけてください。

- |       |           |            |               |
|-------|-----------|------------|---------------|
| 《進学先》 | 1 函館市     | 2 札幌など道央圏  | 3 北海道内(1・2以外) |
|       | 4 首都圏     | 5 進学を希望しない | 6 その他(地域: )   |
|       | 7 場所は問わない |            |               |

- |       |       |             |               |
|-------|-------|-------------|---------------|
| 《就職先》 | 1 函館市 | 2 札幌など道央圏   | 3 北海道内(1・2以外) |
|       | 4 首都圏 | 5 その他(地域: ) | 6 場所は問わない     |

問8 今後も函館市に住み続けたいと思いますか。または、進学や就職で函館市を離れてもまた戻りたいですか。あてはまる番号を1つ選んで番号に○をつけてください。

- |             |               |            |
|-------------|---------------|------------|
| 1 住み続けたい    | 2 できれば住み続けたい  | 3 戻ってきたい   |
| 4 できれば転出したい | 5 転出したい       | 6 戻ってきたくない |
| 7 わからない     | 8 函館市に居住していない |            |

問8で、1～3を選択した方に伺います。

問9-1 「住み続けたい」「戻ってきたい」と思う理由について、あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 買い物が便利             | 2 市内の移動（市電・バス）が便利 |
| 3 市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利 |                   |
| 4 まち並みが良い            | 5 魅力的な職場がある       |
| 6 魅力的な進学先がある         | 7 娯楽・レジャーが楽しめる    |
| 8 愛着がある              | 9 治安が良い           |
| 10 気候が良い             | 11 実家があるため        |
| 12 その他（              | ）                 |

問8で、4～6を選択した方に伺います。

問9-2 「住み続けたい」「戻ってきたい」と思わない理由について、あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 買い物が不便             | 2 市内の移動（市電・バス）が不便 |
| 3 市外への移動（飛行機・鉄道等）が不便 |                   |
| 4 まち並みが悪い            | 5 魅力的な職場がない       |
| 6 魅力的な進学先がない         | 7 娯楽・レジャーが楽しめない   |
| 8 愛着がない              | 9 治安が悪い           |
| 10 気候が悪い             | 11 実家のある地元に戻りたい   |
| 12 その他（              | ）                 |

次のページへ続きます。

◆ 「函館市の魅力」について伺います。

問10 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか。  
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 医療・福祉が充実していること
- 10 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 11 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 12 海と山が身近にある自然環境
- 13 気候による過ごしやすさ
- 14 その他 ( )

◆ 「函館市の今後のまちづくり」について伺います。

問11 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJターン等の拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他 ( )

問12 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。  
(自由記述)

- 1 特に満足と思うこと ( )
- 2 特に不満と思うこと ( )

◆ 「結婚・出産・子育てに対する考え方」について伺います。

問13 将来の結婚について、どのように考えていますか。  
あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1 既に結婚している      | 2 結婚するつもりである |
| 3 必ずしも結婚にこだわらない | 4 結婚したくない    |
| 5 わからない         | 6 その他 ( )    |

問14 子育てについてどのようなイメージを持っていますか。  
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1 楽しい     | 2 充実感がある | 3 お金がかかる |
| 4 時間がとられる | 5 不安がある  |          |
| 6 その他 ( ) |          |          |

問15 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。  
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |      |            |      |
|------|------------|------|
| 1 0人 | 2 1人       | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 ( ) |      |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

地域の幸福度・満足度に関する調査にもご協力いただける方は、次のページにお進みください。

それ以外の方は、以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



## **第3部 地域幸福度(Well-Being)指標に関するアンケート調査**

### **調査結果**



## 1 地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

各種統計データを用いた「客観指標」と、アンケート調査を行う「主観指標」のデータをバランス良く活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標で偏差値化・可視化したものです。またの特徴を俯瞰で捉え、地域の政策立案に活用することを目的として、デジタル庁で公開しています。今回のアンケート調査では、1,487名から回答がありました。

【客観指標と主観指標について】 ※ デジタル庁ホームページより

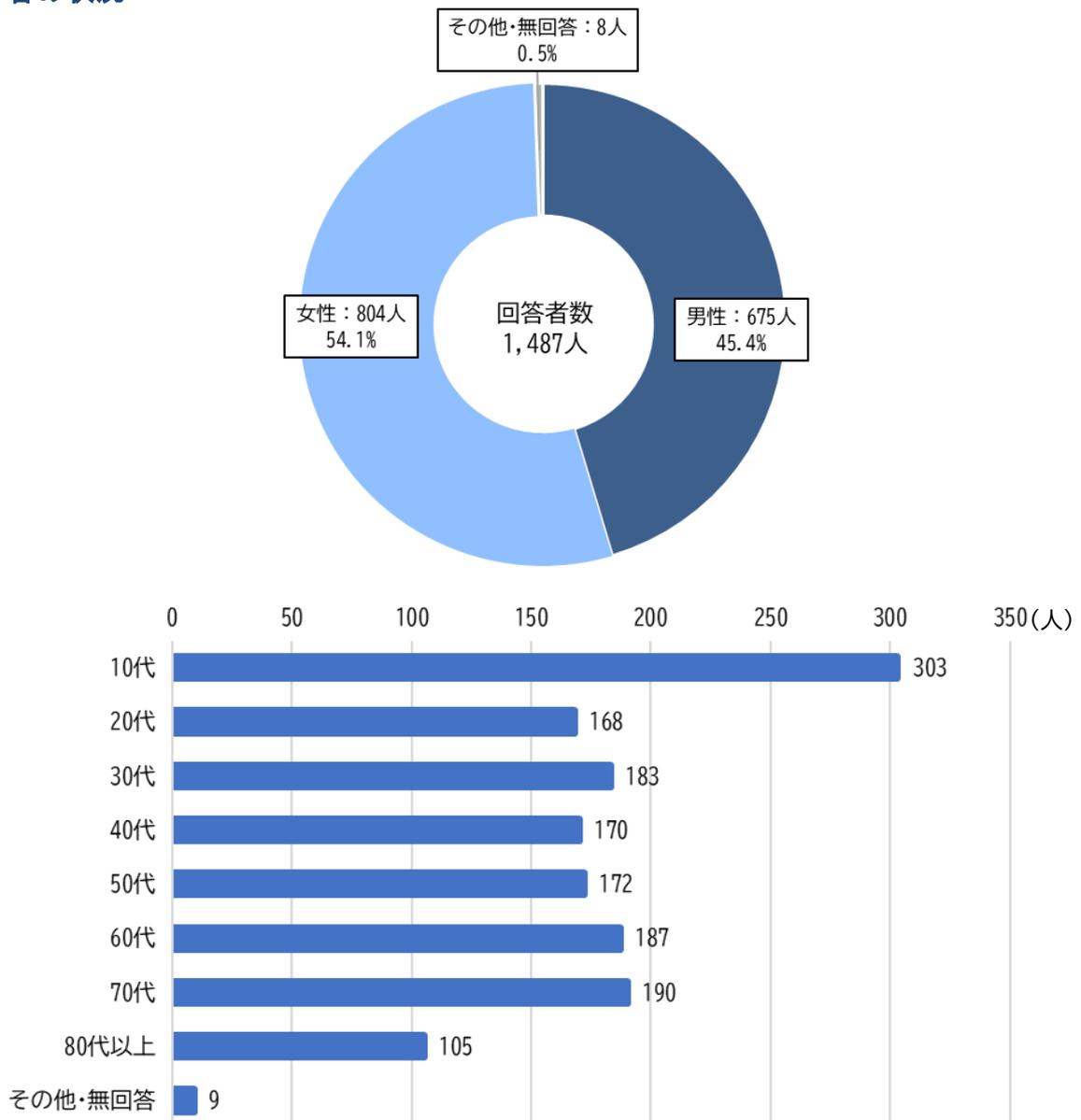
客観指標：オープンデータによる客観データ

- ・各種オープンデータ等をもとにしている
- ・「暮らしやすさ」を測定したもの
- ・分野間などの比較に用いる

主観指標：アンケートによる主観データ

- ・各自治体が集めたアンケートデータをもとにしている
- ・「幸福感 (Well-being)」を算出したもの
- ・時系列での比較に強い

## 2 回答者の状況



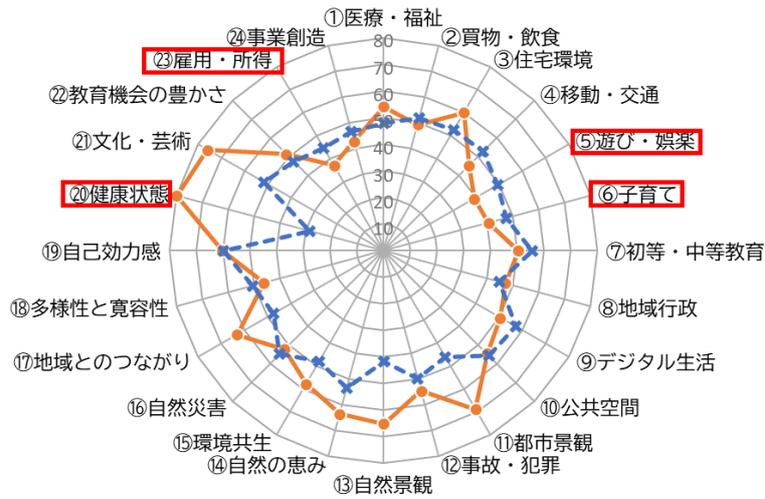
### 3 カテゴリー別 函館市に関する主観・客観評価

年代別グラフ一覧

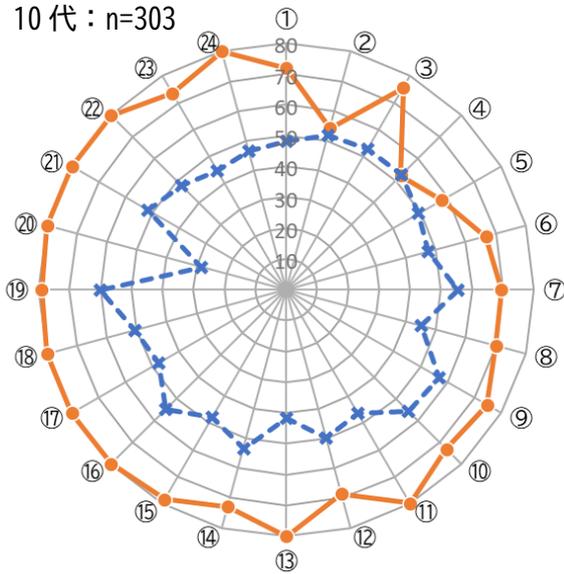
※ グラフの数値は、全国における本市の偏差値を表します。

全体：n=1,487

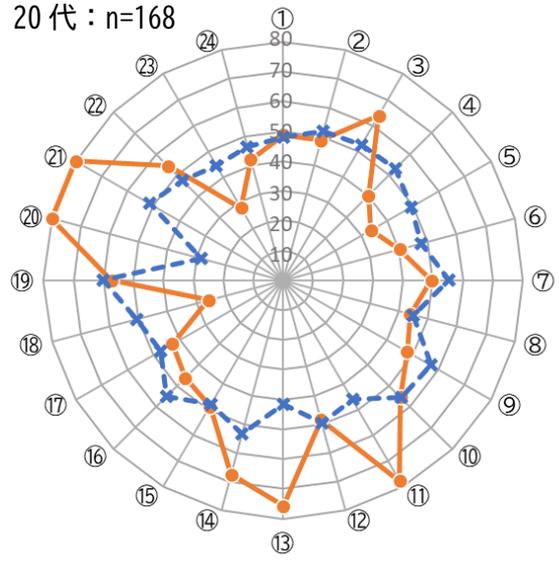
—●— 主観データ    -x- 客観データ



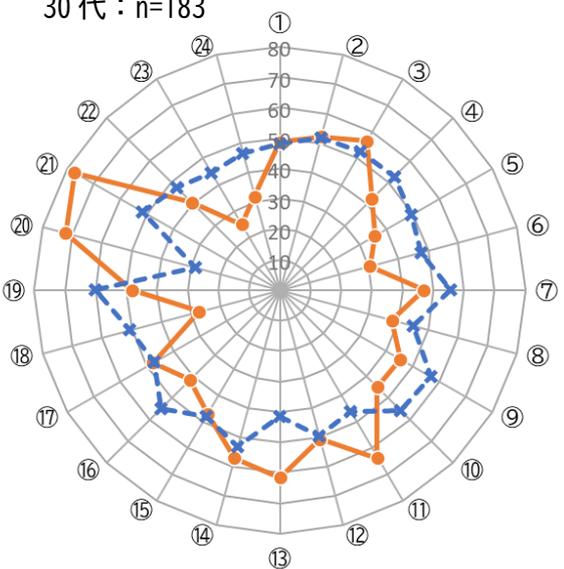
10代：n=303



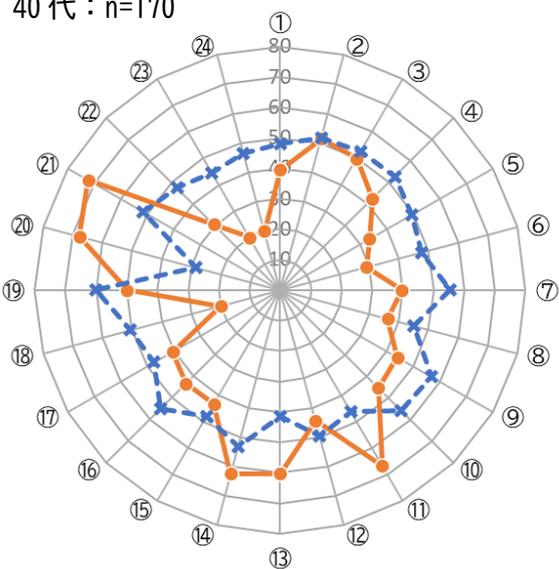
20代：n=168



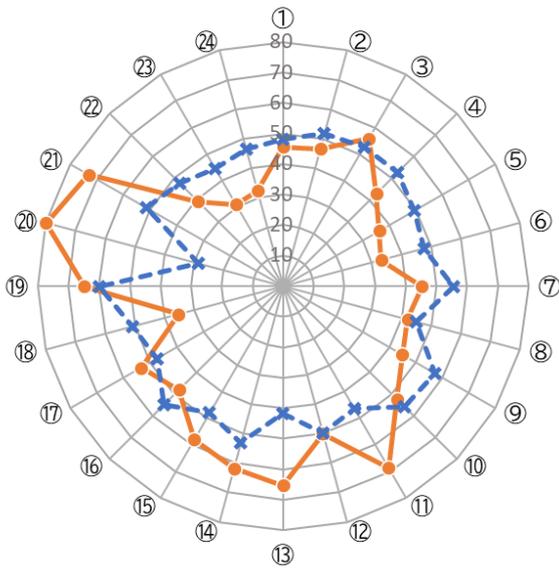
30代：n=183



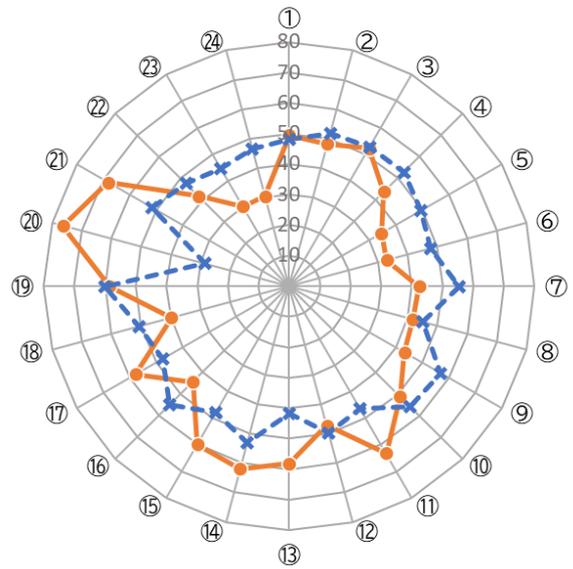
40代：n=170



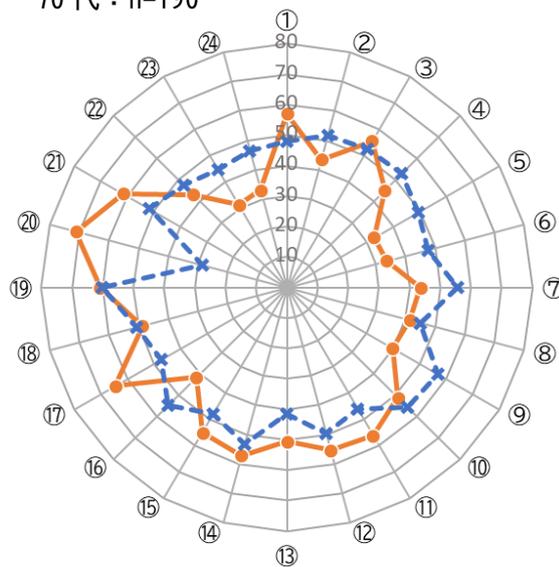
50代：n=172



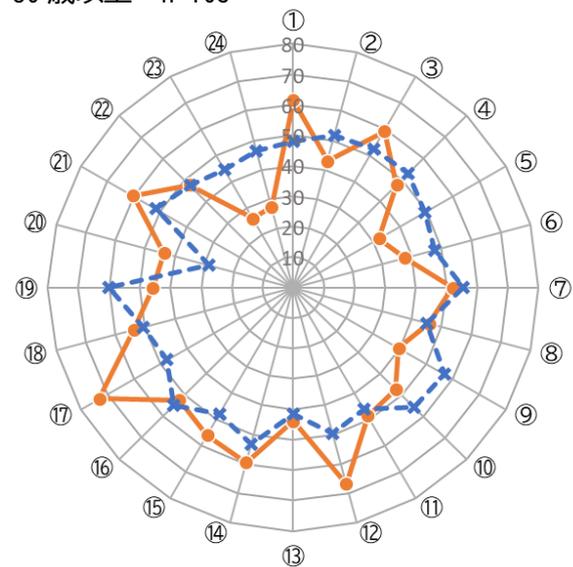
60代：n=187



70代：n=190



80歳以上：n=105



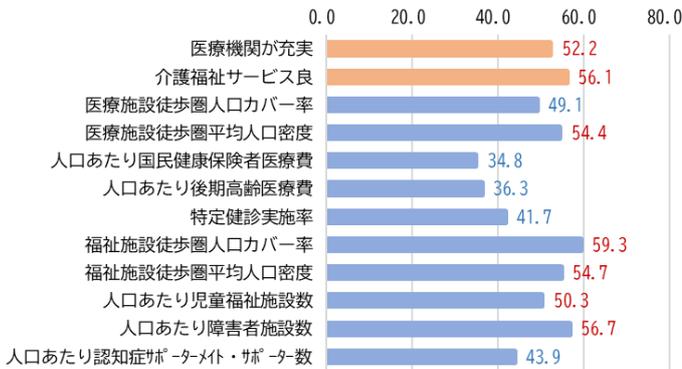
- 主観指標で見ると、10代では全ての項目の偏差値が高くなっています。
- 「⑤遊び・娯楽」、「⑥子育て」、「③雇用・所得」では、主観指標の偏差値が客観指標の偏差値を下回り、乖離が見られます。
- 「⑩健康状態」では、客観指標の偏差値を主観指標の偏差値が大幅に上回っています。

## 4 函館市に関する主観・客観評価の詳細

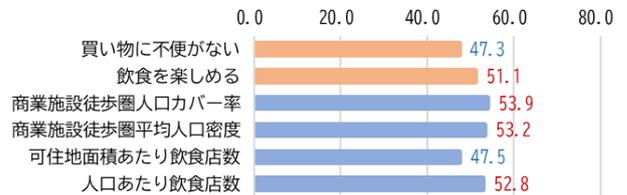
※ グラフの数値は、全国における本市の偏差値を表します。

■ : 主観指標  
■ : 客観指標

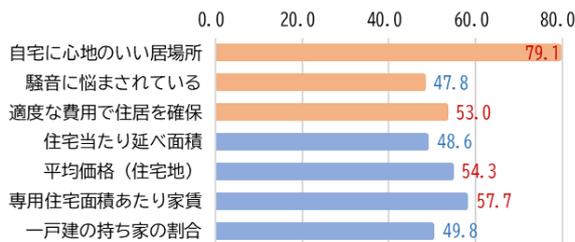
### 4-① 医療・福祉



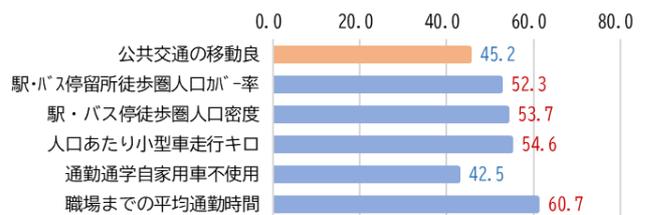
### 4-② 買物・飲食



### 4-③ 住宅環境



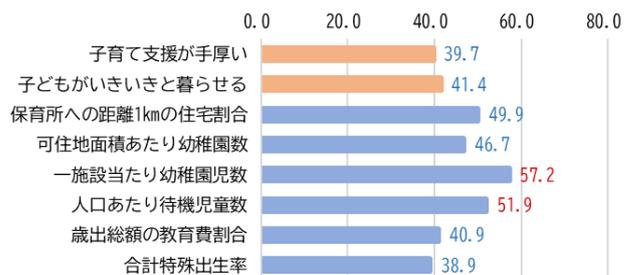
### 4-④ 移動・交通



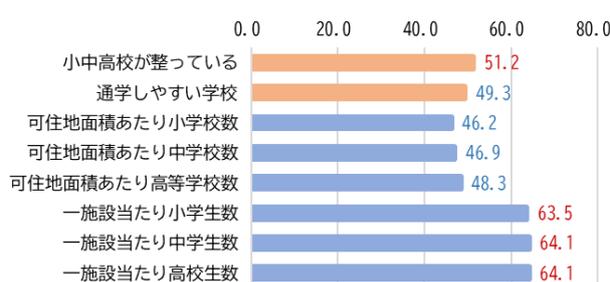
### 4-⑤ 遊び・娯楽



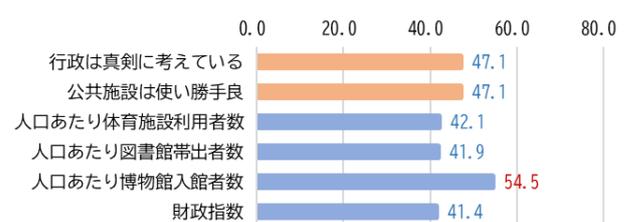
### 4-⑥ 子育て



### 4-⑦ 初等・中等教育



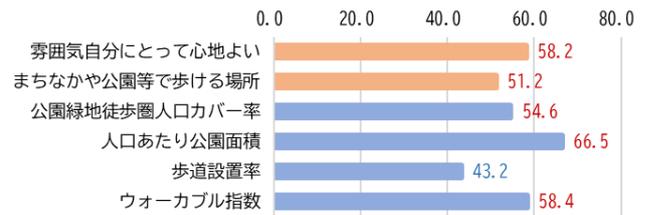
### 4-⑧ 地域行政



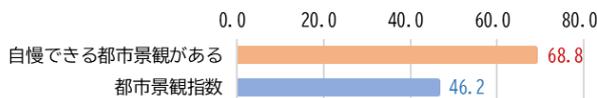
#### 4-9 デジタル生活



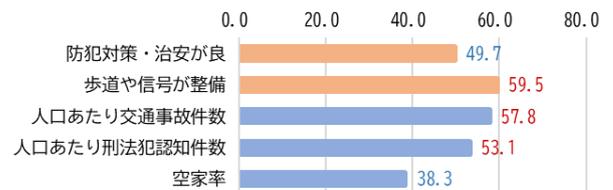
#### 4-10 公共空間



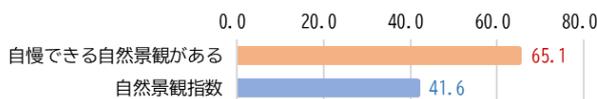
#### 4-11 都市景観



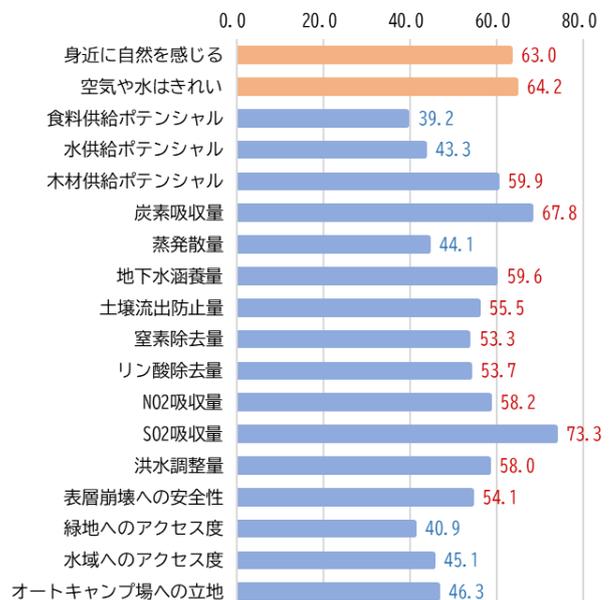
#### 4-12 事故・犯罪



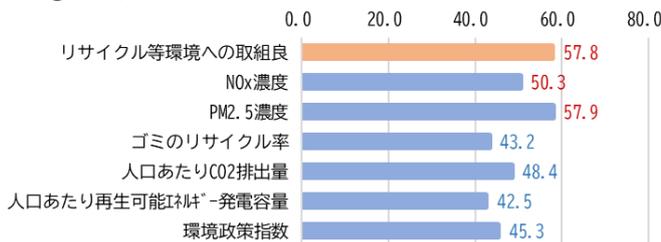
#### 4-13 自然景観



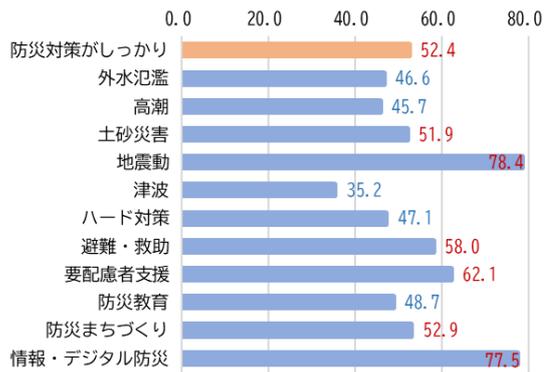
#### 4-14 自然の恵み



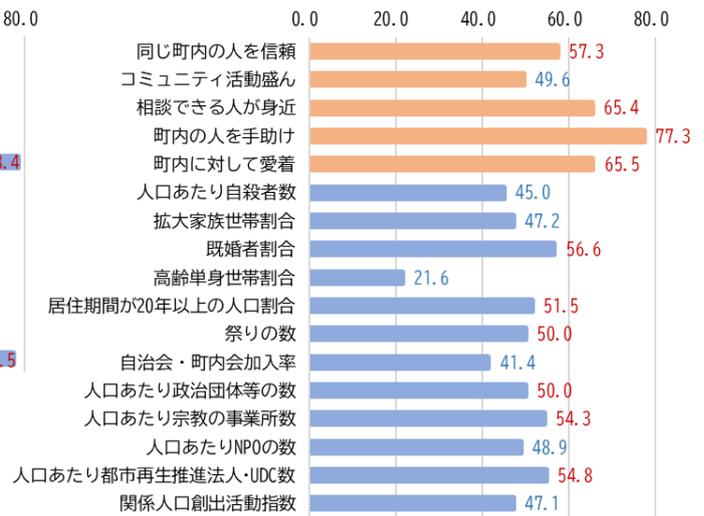
#### 4-15 環境共生



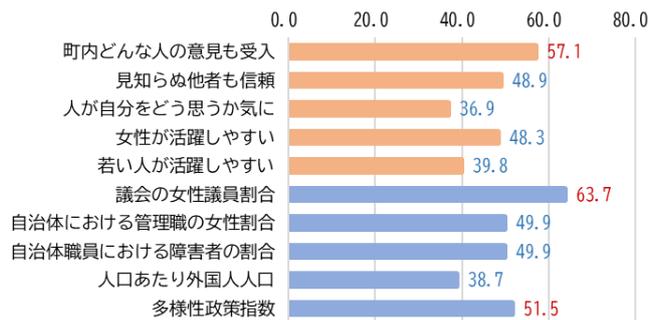
#### 4-16 自然災害



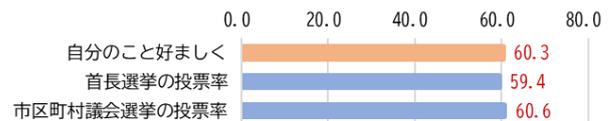
#### 4-17 地域とのつながり



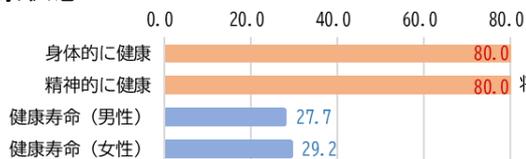
#### 4-18 多様性と寛容性



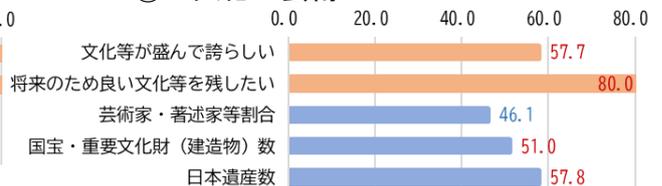
#### 4-19 自己効力感



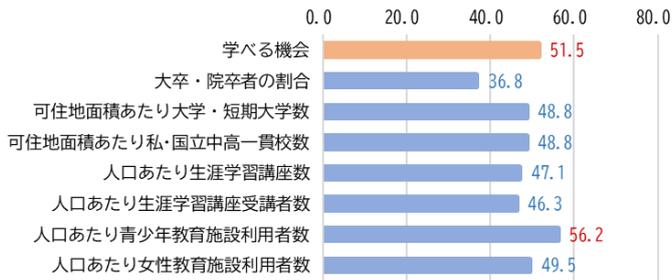
#### 4-20 健康状態



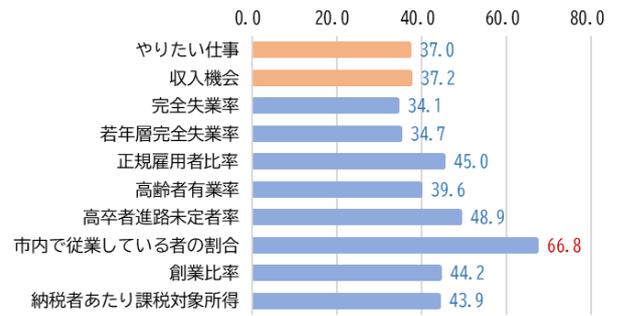
#### 4-21 文化・芸術



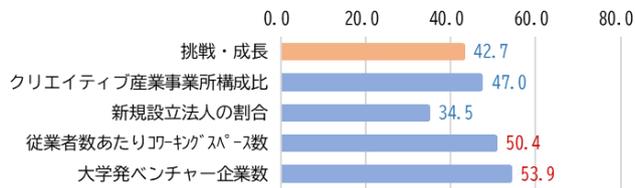
#### 4-⑳ 教育機会の豊かさ



#### 4-㉑ 雇用・所得



#### 4-㉒ 事業創造



## 5 主観・客観評価に関する年代別分析

- ① 客観指標と主観指標がともに 50 未満の分野
- ② 客観指標が 50 以上、主観指標が 50 未満の分野
- ③ 客観指標が 50 未満、主観指標が 50 以上の分野
- ④ 客観指標と主観指標がともに 50 以上の分野

全体：n=1,487

	客観50未満	客観50以上
主観指標 50 以上(強み)	③ ・医療・福祉 ・都市景観 ・事故・犯罪 ・自然景観 ・環境共生 ・地域とのつながり ・健康状態 ・教育機会の豊かさ	④ ・住宅環境 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・公共空間 ・自然の恵み ・自然災害 ・自己効力感 ・文化・芸術
主観指標 50 未満(弱み)	① ・遊び・娯楽 ・子育て ・地域行政 ・雇用・所得 ・事業創造	② ・買物・飲食 ・移動・交通 ・多様性と寛容性

10代：n=303

	客観50未満	客観50以上
主観指標 50 以上(強み)	③ ・医療・福祉 ・遊び・娯楽 ・子育て ・地域行政 ・都市景観 ・事故・犯罪 ・自然景観 ・環境共生 ・地域とのつながり ・健康状態 ・教育機会の豊かさ ・雇用・所得 ・事業創造	④ ・買物・飲食 ・住宅環境 ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・公共空間 ・自然の恵み ・自然災害 ・多様性と寛容性 ・自己効力感 ・文化・芸術
主観 50 未満	①	②

20代：n=168

	客観50未満	客観50以上
主観指標 50 以上(強み)	③ ・都市景観 ・自然景観 ・健康状態 ・教育機会の豊かさ	④ ・住宅環境 ・公共空間 ・自然の恵み ・自己効力感 ・文化・芸術
主観指標 50 未満(弱み)	① ・医療・福祉 ・遊び・娯楽 ・子育て ・地域行政 ・事故・犯罪 ・環境共生 ・地域とのつながり ・雇用・所得 ・事業創造	② ・買物・飲食 ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・自然災害 ・多様性と寛容性

30代：n=183

	客観50未満	客観50以上
主観指標 50 以上(強み)	③ ・都市景観 ・事故・犯罪 ・自然景観 ・健康状態	④ ・買物・飲食 ・住宅環境 ・自然の恵み ・文化・芸術
主観指標 50 未満(弱み)	① ・医療・福祉 ・遊び・娯楽 ・子育て ・地域行政 ・環境共生 ・地域とのつながり ・教育機会の豊かさ ・雇用・所得 ・事業創造	② ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・公共空間 ・自然災害 ・多様性と寛容性 ・自己効力感

40代：n=170

	客観50未満	客観50以上
主観指標50以上(強み)	③ ・都市景観 ・自然景観 ・健康状態	④ ・買物・飲食 ・ <u>自然の恵み</u> ・ <u>文化・芸術</u>
主観指標50未満(弱み)	① ・医療・福祉 ・ <u>遊び・娯楽</u> ・ <u>子育て</u> ・ <u>地域行政</u> ・事故・犯罪 ・環境共生 ・地域とのつながり ・教育機会の豊かさ ・ <u>雇用・所得</u> ・ <u>事業創造</u>	② ・住宅環境 ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・公共空間 ・自然災害 ・多様性と寛容性 ・自己効力感

50代・60代：n=359

	客観50未満	客観50以上
主観指標50以上(強み)	③ ・都市景観 ・自然景観 ・環境共生 ・地域とのつながり ・健康状態	④ ・住宅環境 ・公共空間 ・ <u>自然の恵み</u> ・自己効力感 ・ <u>文化・芸術</u>
主観指標50未満(弱み)	① ・医療・福祉 ・ <u>遊び・娯楽</u> ・ <u>子育て</u> ・ <u>地域行政</u> ・事故・犯罪 ・教育機会の豊かさ ・ <u>雇用・所得</u> ・ <u>事業創造</u>	② ・買物・飲食 ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・自然災害 ・多様性と寛容性

70代：n=190

	客観50未満	客観50以上
主観指標50以上(強み)	③ ・医療・福祉 ・都市景観 ・事故・犯罪 ・自然景観 ・環境共生 ・地域とのつながり ・健康状態	④ ・住宅環境 ・公共空間 ・ <u>自然の恵み</u> ・自己効力感 ・ <u>文化・芸術</u>
主観指標50未満(弱み)	① ・ <u>遊び・娯楽</u> ・ <u>子育て</u> ・ <u>地域行政</u> ・教育機会の豊かさ ・ <u>雇用・所得</u> ・ <u>事業創造</u>	② ・買物・飲食 ・移動・交通 ・初等・中等教育 ・デジタル生活 ・自然災害 ・多様性と寛容性

80歳以上：n=105

	客観50未満	客観50以上
主観指標50以上(強み)	③ ・医療・福祉 ・事故・犯罪 ・環境共生 ・地域とのつながり	④ ・住宅環境 ・初等・中等教育 ・ <u>自然の恵み</u> ・自然災害 ・多様性と寛容性 ・ <u>文化・芸術</u>
主観指標50未満(弱み)	① ・ <u>遊び・娯楽</u> ・ <u>子育て</u> ・ <u>地域行政</u> ・都市景観 ・自然景観 ・健康状態 ・教育機会の豊かさ ・ <u>雇用・所得</u> ・ <u>事業創造</u>	② ・買物・飲食 ・移動・交通 ・デジタル生活 ・公共空間 ・自己効力感

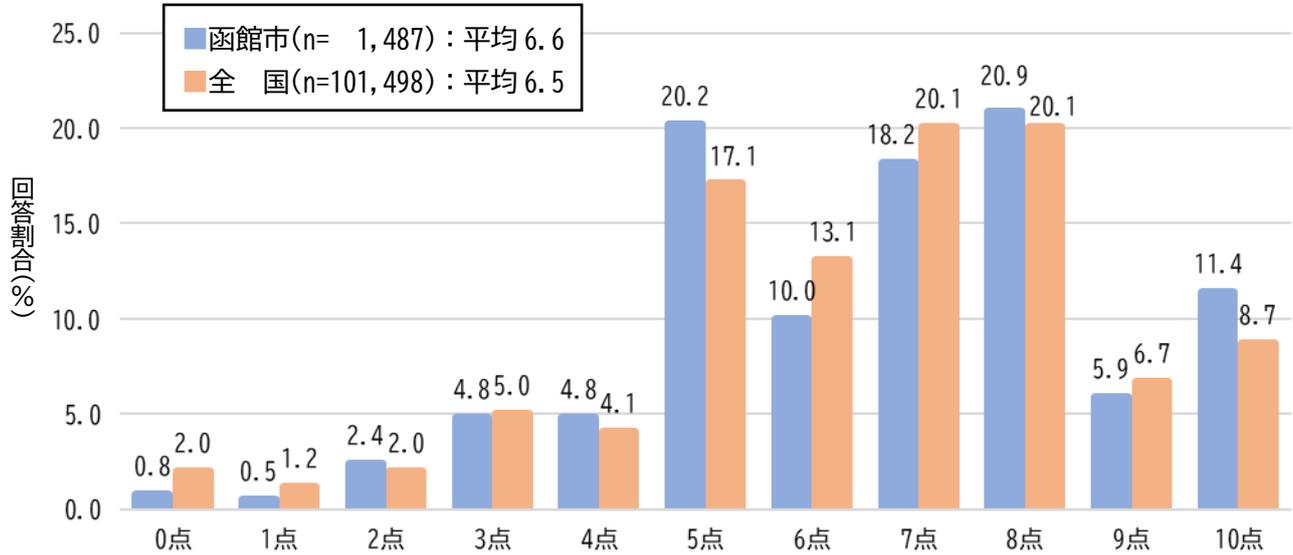
- 10代を除くすべての年代で「遊び・娯楽」、「子育て」、「地域行政」、「雇用・所得」、「事業創造」の偏差値が主観、客観ともに50未満となっています。
- すべての年代で「自然の恵み」、「文化芸術」の偏差値が主観、客観50以上となっています。
- 80歳以上を除くすべての年代で「都市景観」、「自然景観」、「健康状態」の主観指標の偏差値が50以上、客観指標の偏差値が50未満となっています。
- 10代、80歳以上を除くすべての年代で「移動・交通」、「初等・中等教育」、「デジタル生活」、「自然災害」、「多様性と寛容性」の主観指標の偏差値が50未満となっています。
- 10代、20代では「教育機会の豊かさ」の主観指標の偏差値が50以上となっています。(その他年代は50未満)
- 40代以外のすべての世代で「住宅環境」の主観と客観指標の偏差値が50以上となっています。

## 6 函館市民の幸福度・満足度（主観指標詳細）

### 6-① 幸福度

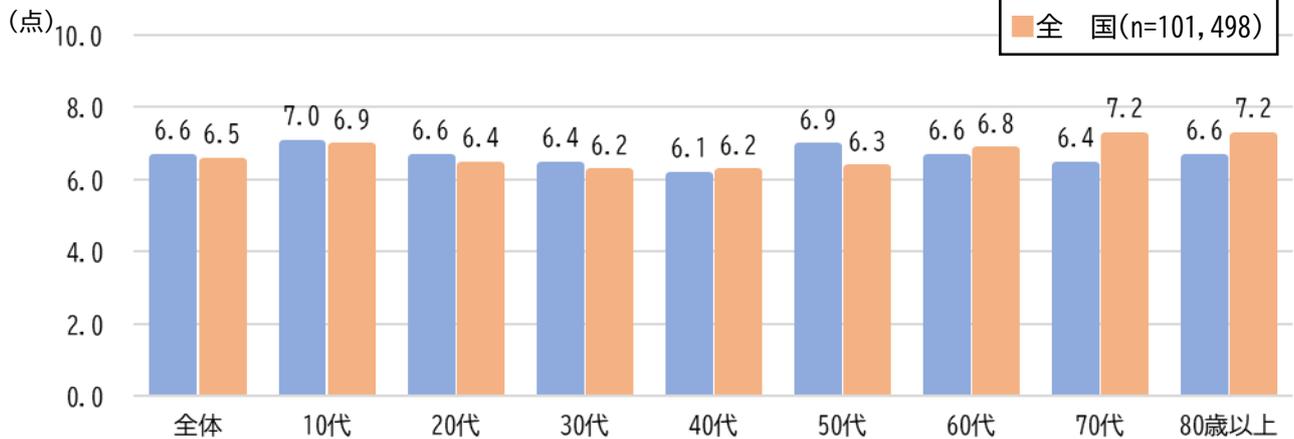
現在、あなたはどの程度幸せですか。

とても不幸：0点 ～ とても幸せ：10点



- ・ 函館市では8点の選択が最も多くなっています。
- ・ 全国と比較して、5点、10点を選択する割合が高くなっています。

#### 【年代別平均値】

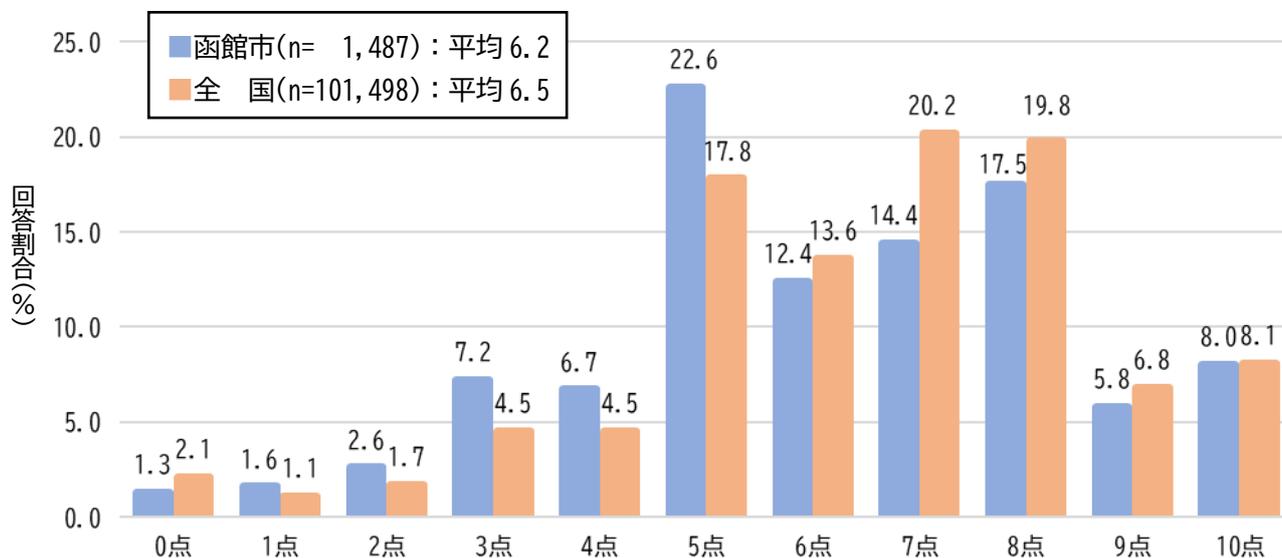


- ・ 10代、20代、30代、50代では、全国平均を上回っています。

## 6-② 生活満足度

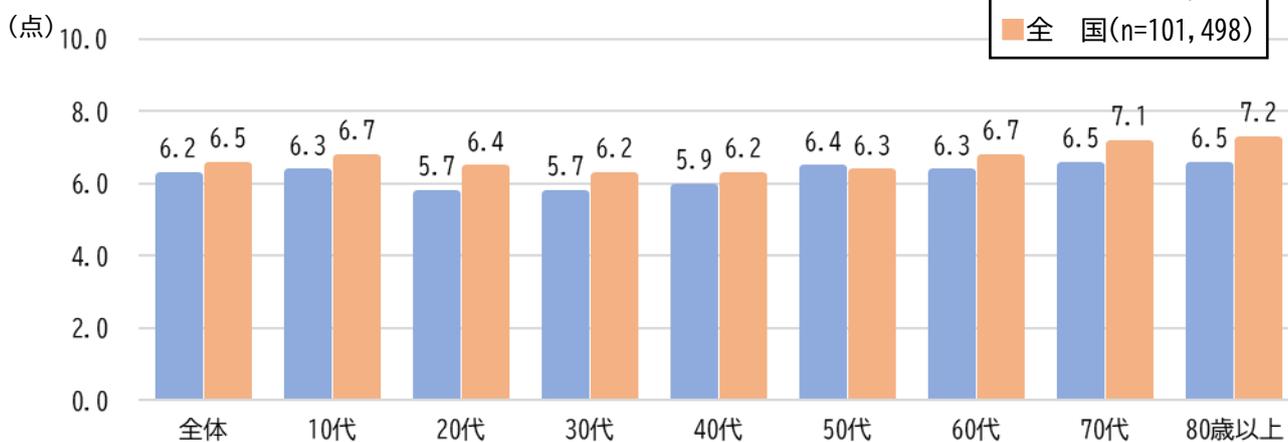
現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

とても不満足：0点 ～ とても満足：10点



- ・ 函館市では5点の選択が最も多くなっています。
- ・ 全国と比較して、1点～5点を選択する割合が高くなっています。

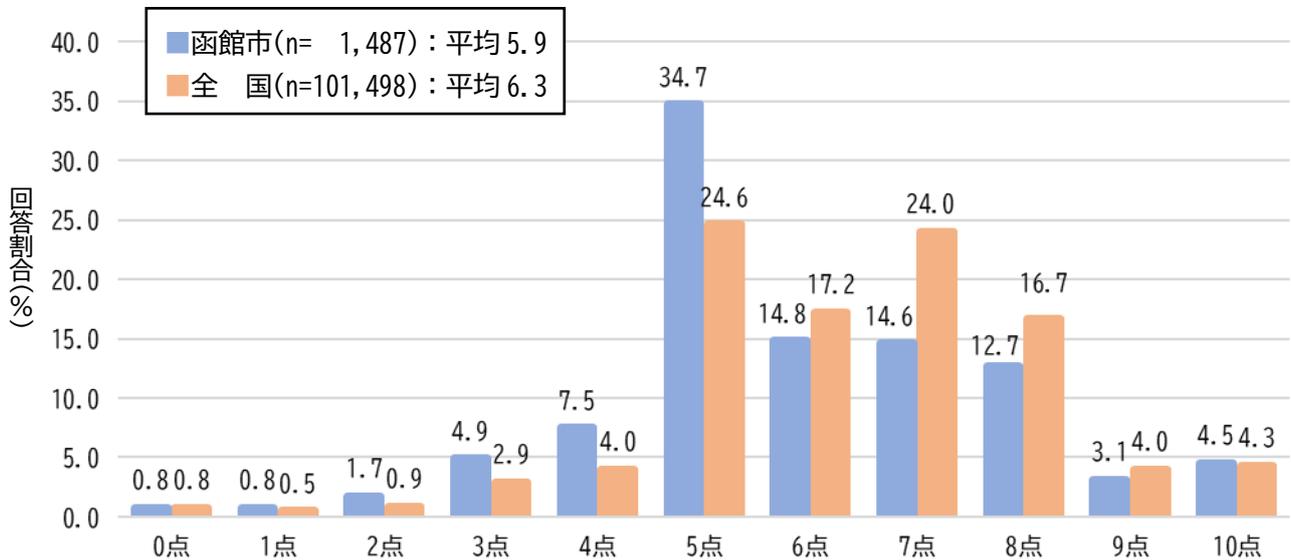
### 【年代別平均値】



- ・ 50代を除き、全国平均を下回っています。

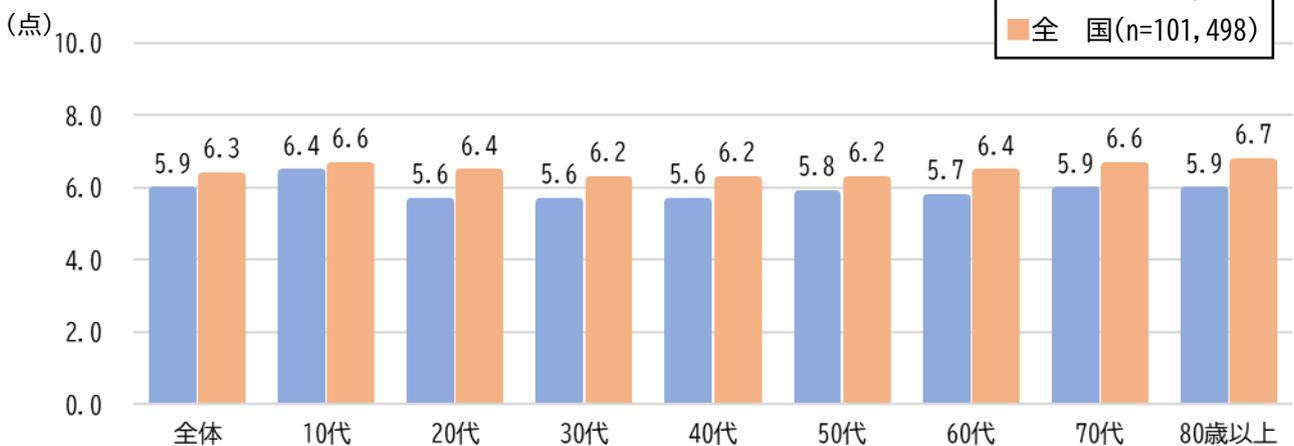
### 6-③ 町内の幸福度

あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。  
 とても不幸：0点 ～ とても幸せ：10点



- ・ 函館市では5点の選択が最も多くなっています。
- ・ 全国と比較して、1点～5点、10点を選択する割合が高くなっています。

#### 【年代別平均値】



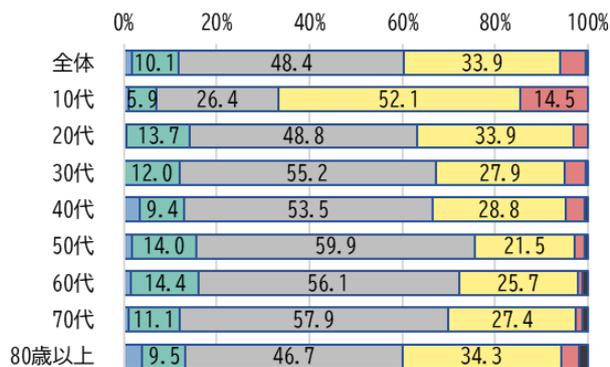
- ・ すべての年代で全国平均を下回っています。

## 6-④ 個別項目

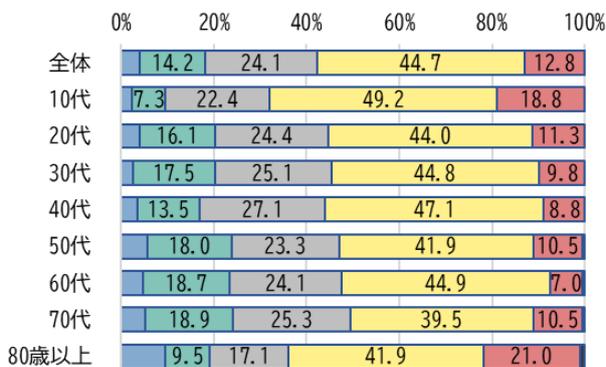
以下の(1)～(47)について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。



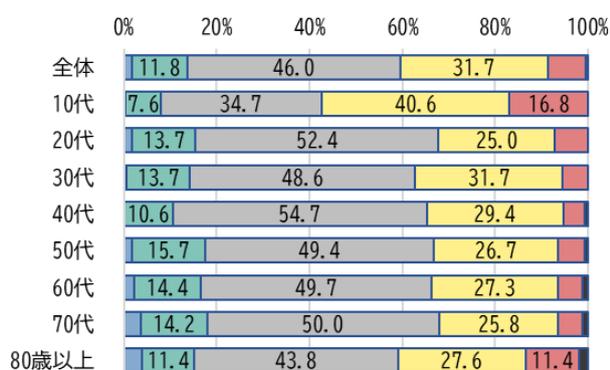
(1) 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う



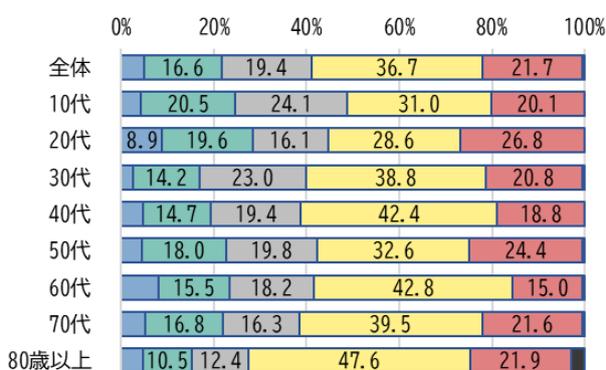
(2) 暮らしている地域は、医療機関が充実している



(3) 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい



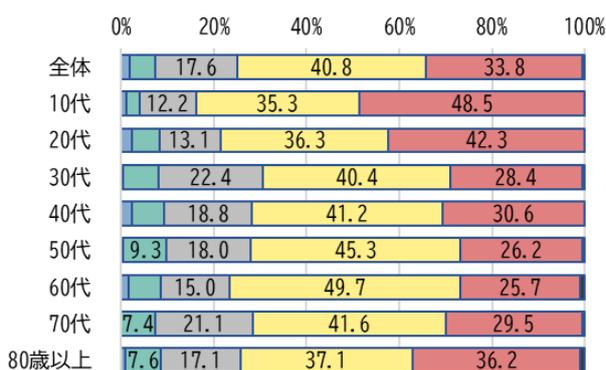
(4) 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない



(5) 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している



(6) 自宅には、心地のいい居場所がある

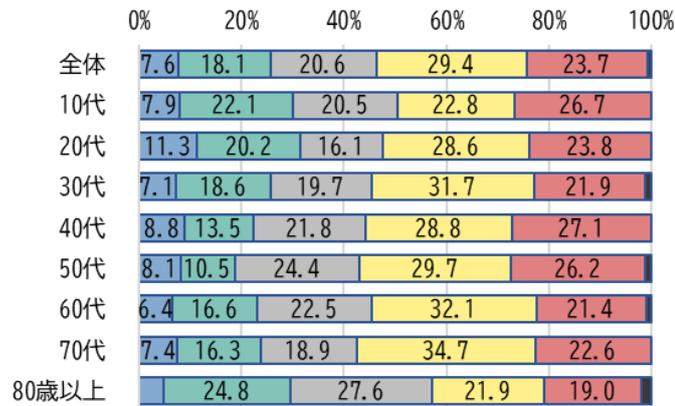




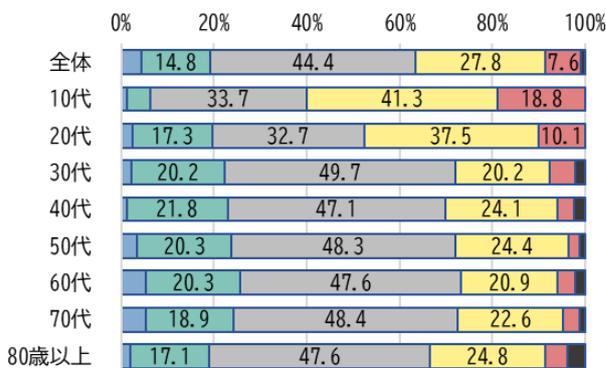
(7) 自宅の近辺では、騒音に悩まされている

※ この設問のみ、評価が逆転

(非常にあてはまる：1点～全くあてはまらない：5点)



(8) 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる



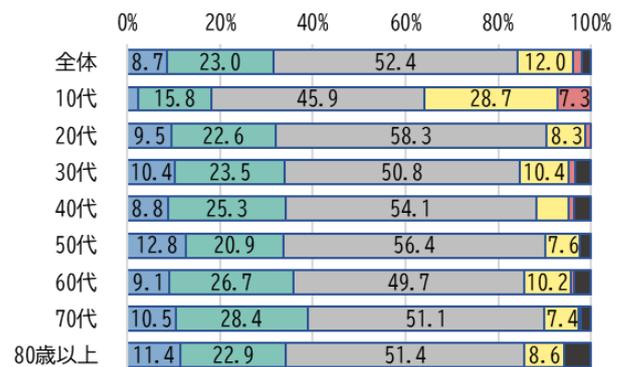
(9) 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる



(10) 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

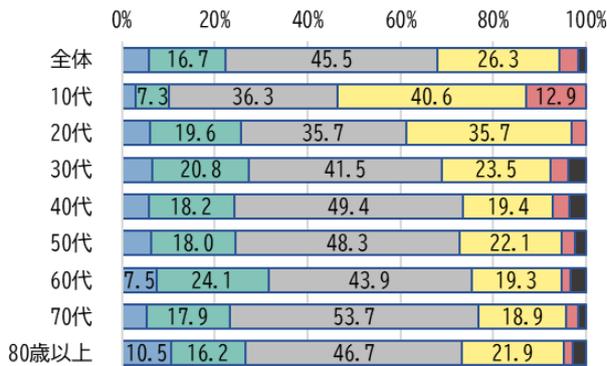


(11) 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い

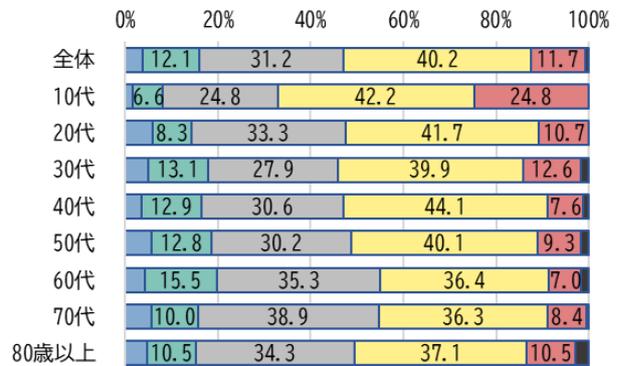




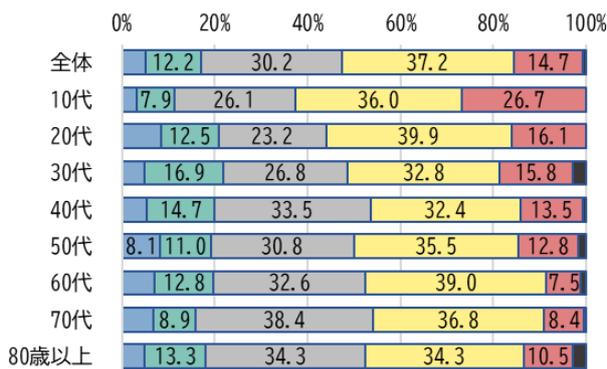
(12) 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる



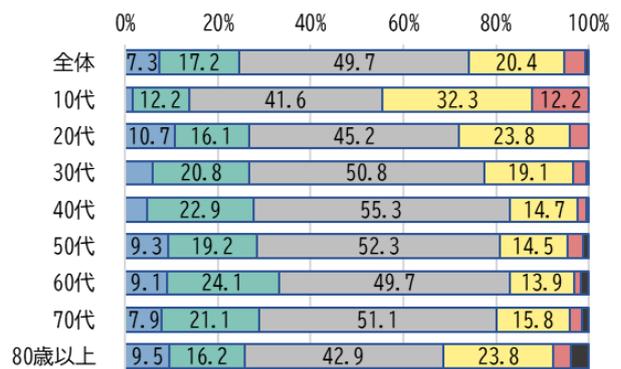
(13) 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている



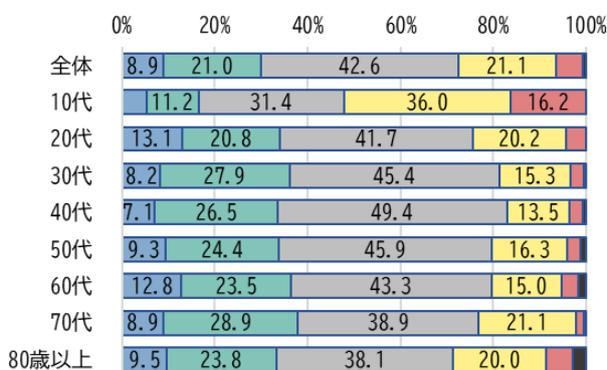
(14) 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある



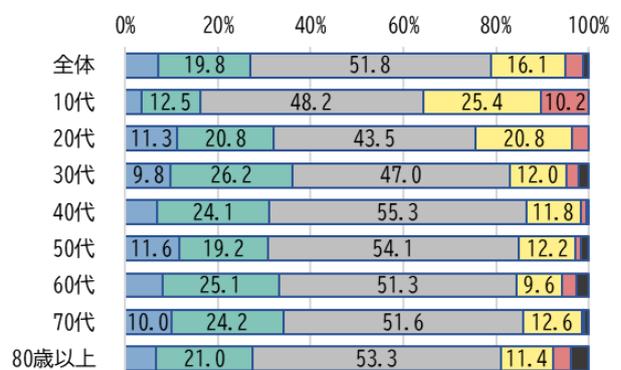
(15) 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う



(16) 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である

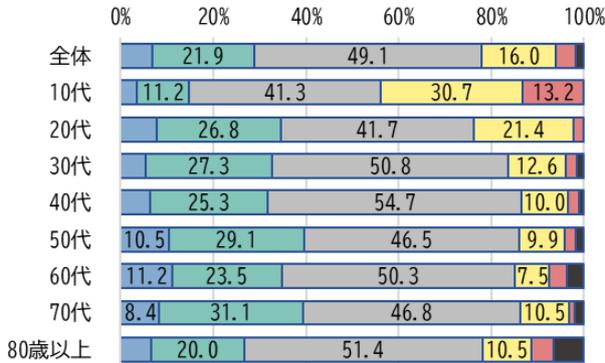


(17) 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる

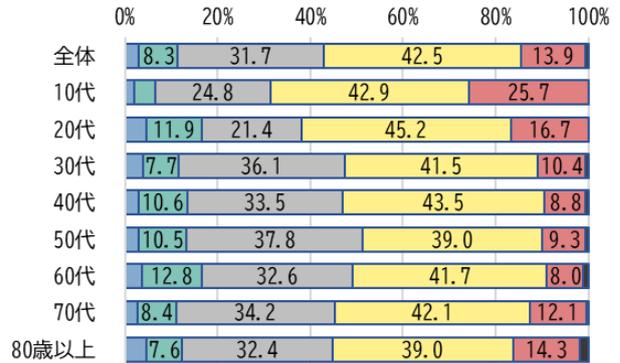




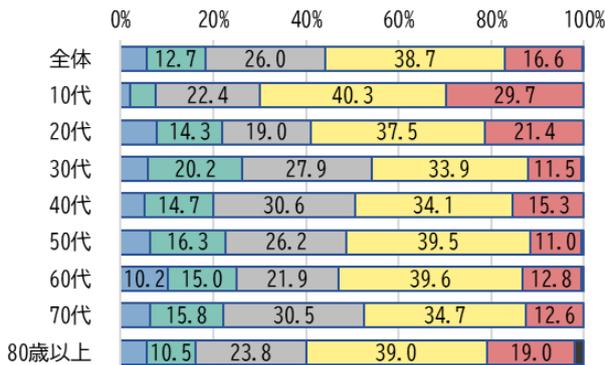
(18) 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい



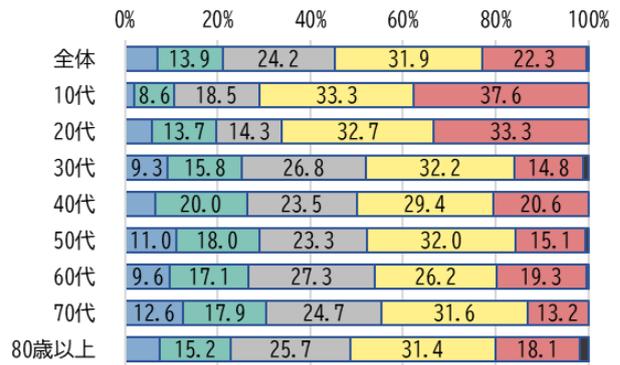
(19) 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい



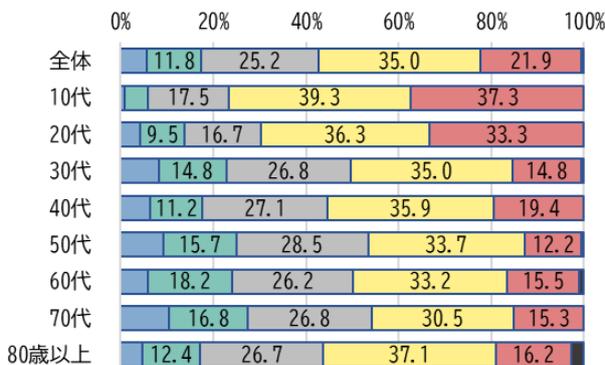
(20) 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある



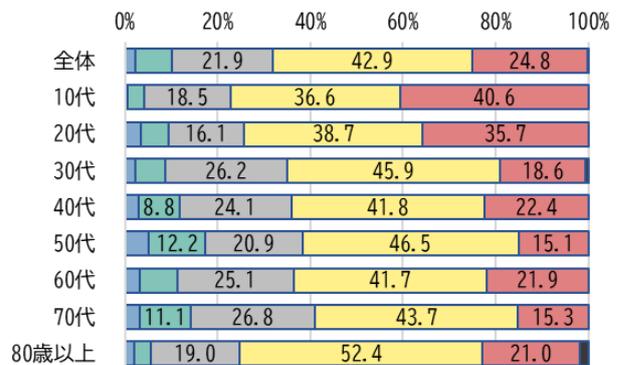
(21) 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある



(22) 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある

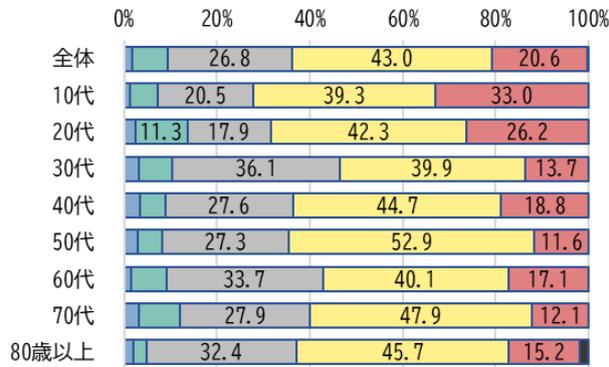


(23) 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる

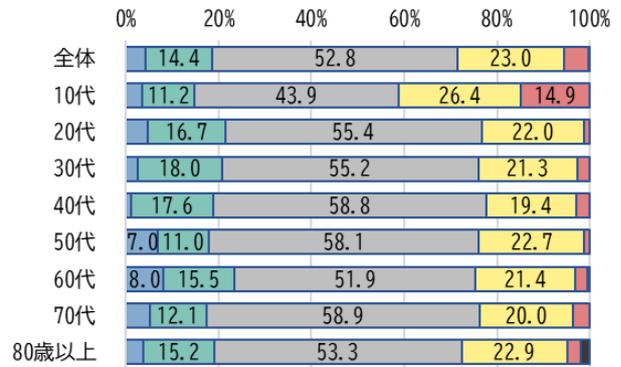




(24) 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる



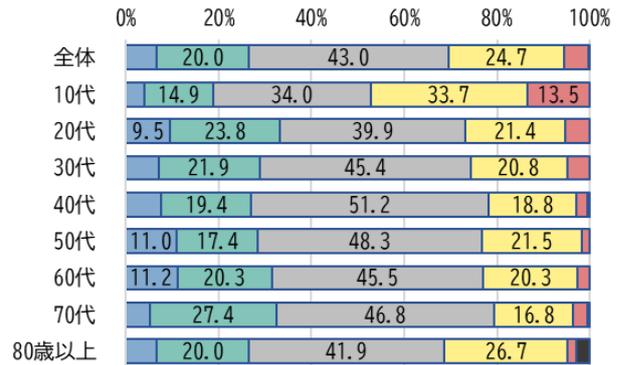
(25) 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである



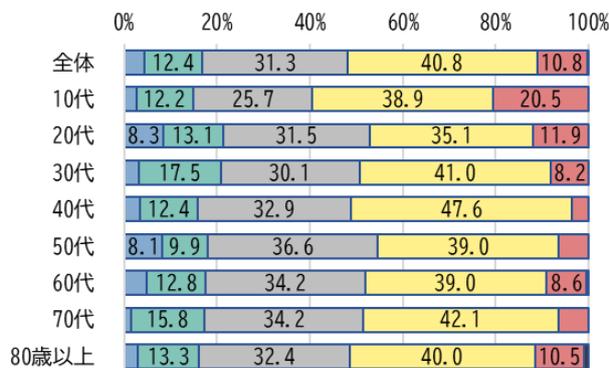
(26) 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている



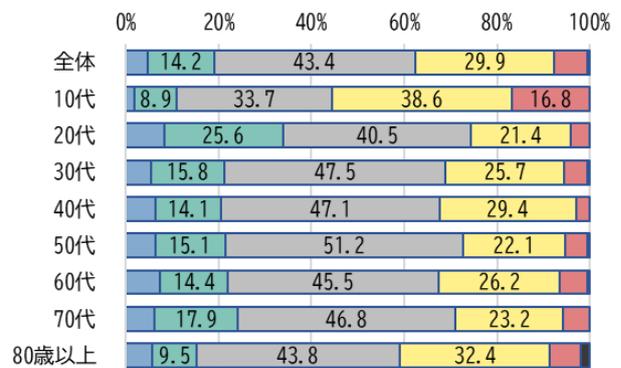
(27) 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい



(28) 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である

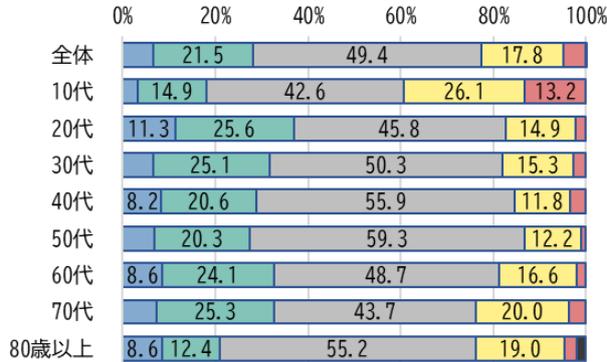


(29) 私は、同じ町内(集落)に住む人々を信頼している

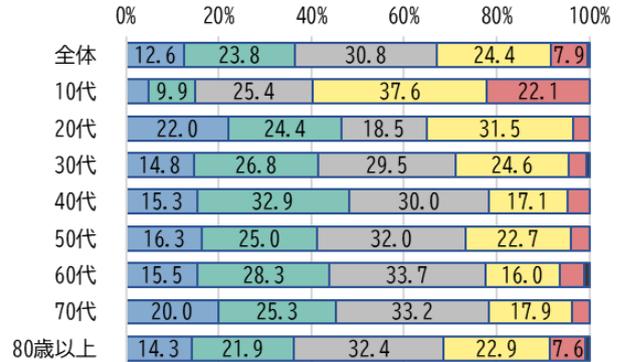




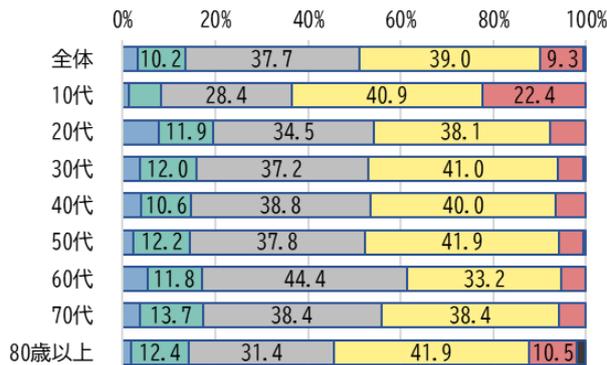
(30) 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである



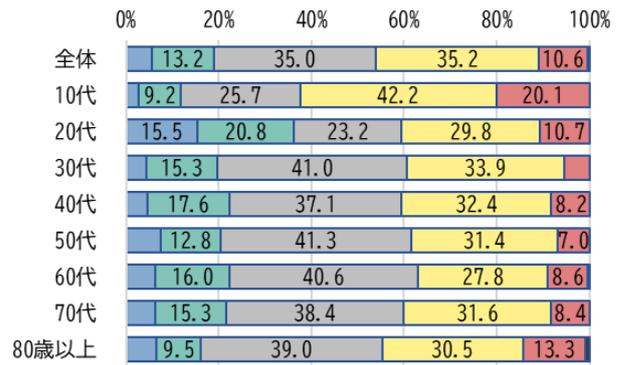
(31) 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる



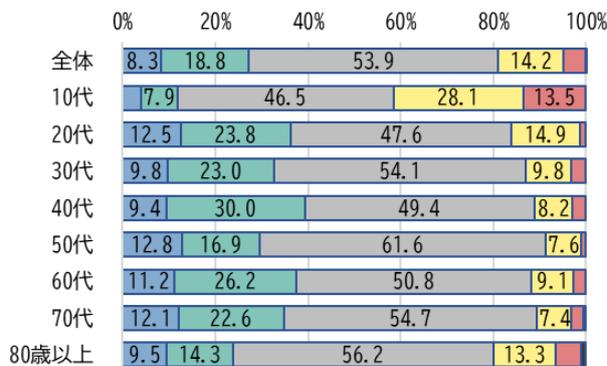
(32) 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする



(33) 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている



(34) この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

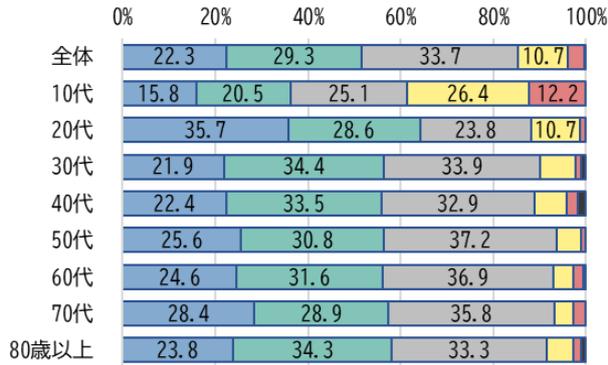


(35) 私は、見知らぬ他者であっても信頼する





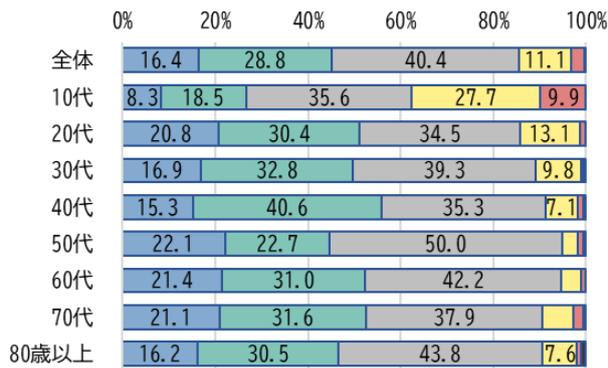
(36) 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる



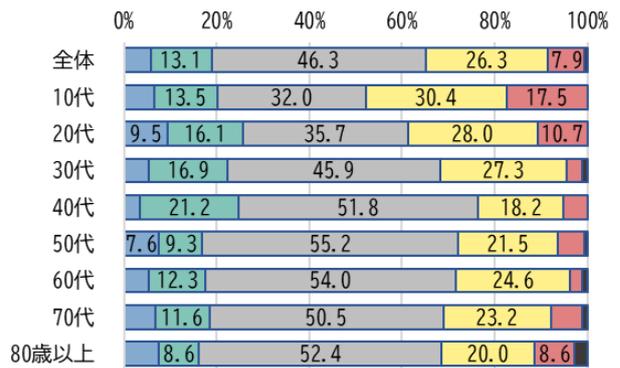
(37) 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある



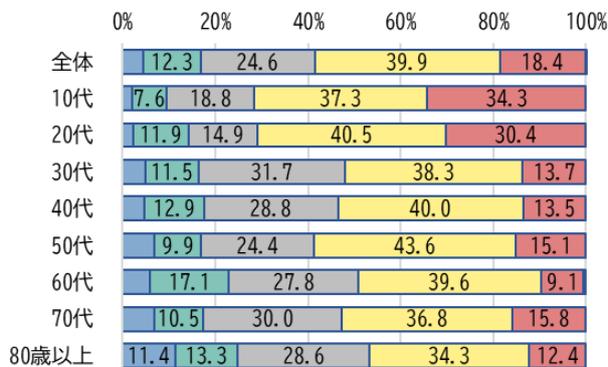
(38) 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある



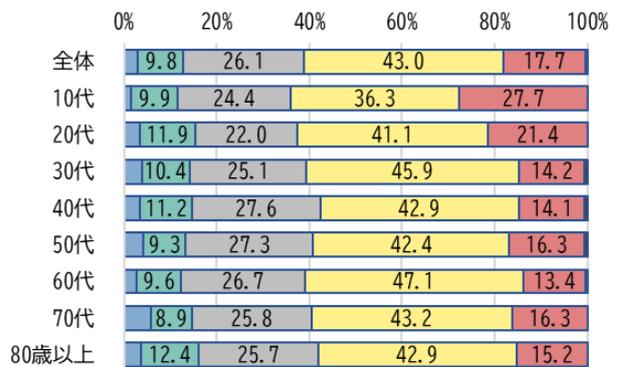
(39) 自分のことを好ましく感じる



(40) 私は、身体的に健康な状態である

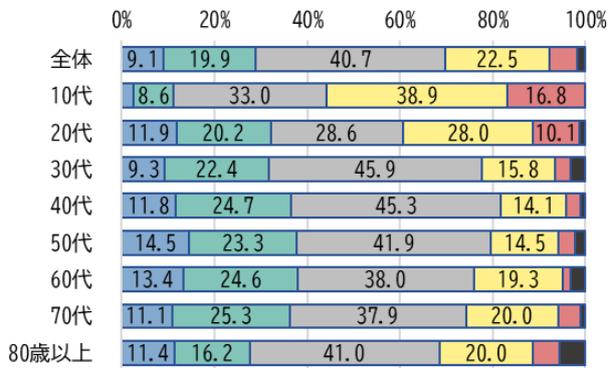


(41) 私は、精神的に健康な状態である

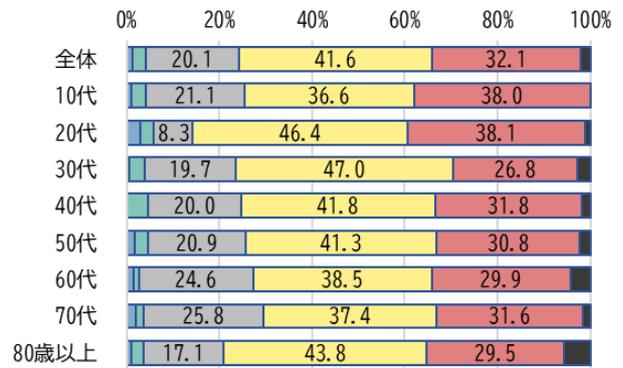




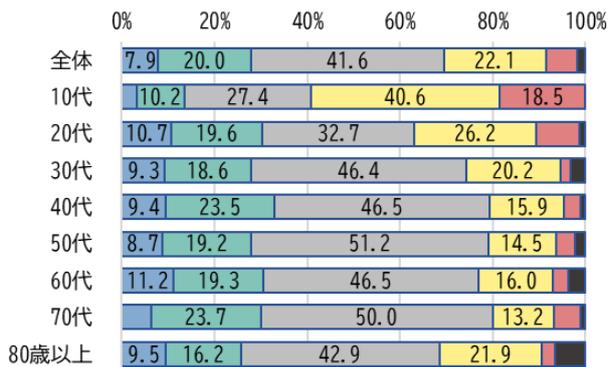
(42) 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい



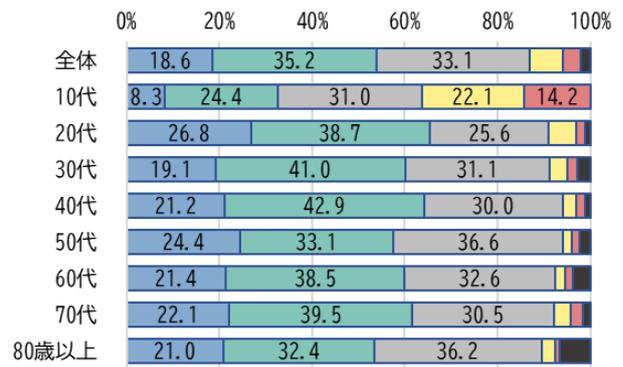
(43) 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい



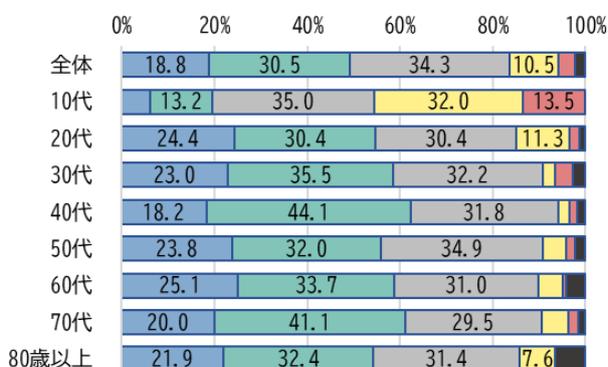
(44) 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある



(45) 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい



(46) 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある



(47) 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある



## 7 調査票

ここからは、『地域幸福度（Well-Being）指標』に関するアンケートです。

この調査は、市民の皆様の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化し、まちづくりの参考にする全国共通の指標として、国が自治体での活用を推進しているものです。

設問は全部で50問です。ぜひご協力をお願いいたします。

問1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0とするとどのくらいになると思うか あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

とても不幸	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても幸せ
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-------

問2 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10、「とても不満足」を0として あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

とても不満足	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても満足
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-------

問3 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0として あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。

とても不幸	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても幸せ
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-------

問4 以下の(1)～(47)について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	選択肢				
	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
(1) 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	5	4	3	2	1
(2) 暮らしている地域は、医療機関が充実している	5	4	3	2	1
(3) 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	5	4	3	2	1

問5 以下の(1)～(47)について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	選択肢				
	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
(4) 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	5	4	3	2	1
(5) 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	5	4	3	2	1
(6) 自宅には、心地のいい居場所がある	5	4	3	2	1
(7) 自宅の近辺では、騒音に悩まされている	1	2	3	4	5
(8) 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	5	4	3	2	1
(9) 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	5	4	3	2	1
(10) 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	5	4	3	2	1
(11) 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	5	4	3	2	1
(12) 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	5	4	3	2	1
(13) 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	5	4	3	2	1
(14) 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	5	4	3	2	1
(15) 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	5	4	3	2	1
(16) 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	5	4	3	2	1
(17) 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	5	4	3	2	1
(18) 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	5	4	3	2	1
(19) 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	5	4	3	2	1
(20) 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	5	4	3	2	1
(21) 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	5	4	3	2	1
(22) 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	5	4	3	2	1

	選択肢				
	非常に あてはまる	ある 程度あて はまる	ど ちらとも 言えない	あ まりあて はまらな い	全 くあては まらな い
(23) 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	5	4	3	2	1
(24) 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5	4	3	2	1
(25) 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	5	4	3	2	1
(26) 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	5	4	3	2	1
(27) 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	5	4	3	2	1
(28) 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	5	4	3	2	1
(29) 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	5	4	3	2	1
(30) 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	5	4	3	2	1
(31) 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	5	4	3	2	1
(32) 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	5	4	3	2	1
(33) 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	5	4	3	2	1
(34) この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	5	4	3	2	1
(35) 私は、見知らぬ他者であっても信頼する	5	4	3	2	1
(36) 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	5	4	3	2	1
(37) 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1
(38) 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1
(39) 自分のことを好ましく感じる	5	4	3	2	1
(40) 私は、身体的に健康な状態である	5	4	3	2	1
(41) 私は、精神的に健康な状態である	5	4	3	2	1

	選択肢				
	非常に あてはまる	ある 程度あて はまる	ど ちらとも 言えない	あ まりあて はまらな い	全 くあて はまらな い
(42) 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	5	4	3	2	1
(43) 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	5	4	3	2	1
(44) 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	5	4	3	2	1
(45) 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	5	4	3	2	1
(46) 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	5	4	3	2	1
(47) 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	5	4	3	2	1

以上でアンケートはすべて終了です。ご協力ありがとうございました。